

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和5年度第3・四半期

(令和5年10～12月)

目 次



品川区ものづくり・IT商談会
(令和5年11月14日)

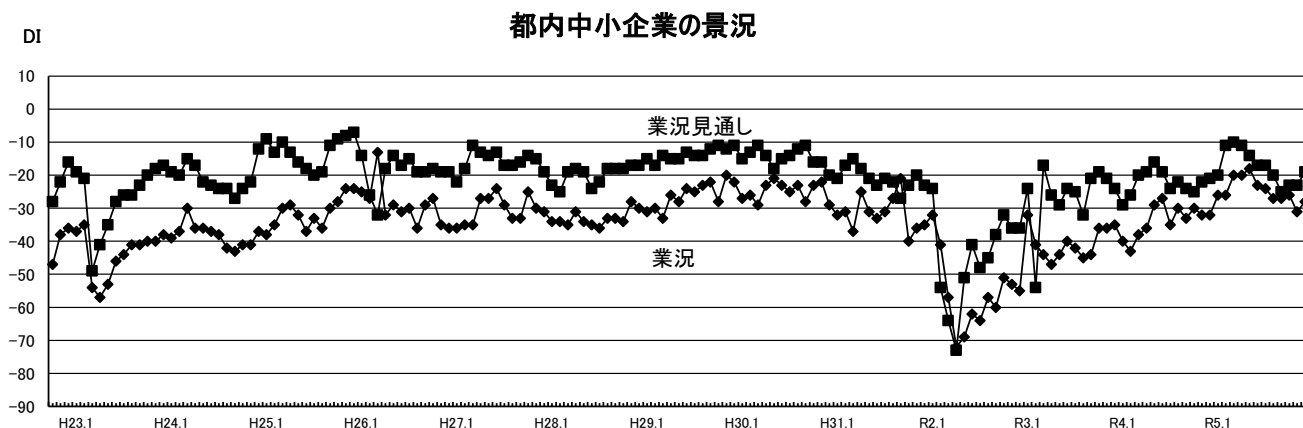
都内中小企業の景況(令和5年10～12月期).....	1
品川区内中小企業の景況(令和5年10～12月期).....	2
品川区の今期の特徴点.....	3
製 造 業.....	4
卸 売 業.....	9
小 売 業.....	13
サービス業.....	18
建 設 業.....	22
情報通信業.....	26
日銀短観.....	30
東京都と品川区の企業倒産動向.....	30
特別調査「インボイス制度に対する現況および円安・物価高騰等の影響について」..	31
中小企業景況調査 比較表・転記表.....	36

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和5年10～12月期）

業況：全体は前期並。サービス業はやや改善した。
見通し：小売業で極端に改善、卸売業で大幅に改善する見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲28（前期は▲27）と、前期並となった。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比9ポイント増の▲19と、大幅に改善する見通し。

	前期 (R5.9)	今期 (R5.12)	増減	今後3ヶ月間の 見通し
製造業	▲26	▲31	▲5	▲28
卸売業	▲25	▲25	0	▲14
小売業	▲39	▲41	▲2	▲19
サービス業	▲20	▲18	2	▲13
全体	▲27	▲28	▲1	▲19

令和5年12月の都内中小企業の業況 DI は、前期から1ポイント減の▲28と、前期並となった。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比9ポイント増の▲19と、大幅に改善する見通し。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、小売業（▲41）は2ポイント減とやや悪化した。製造業（▲31）は5ポイント減とやや悪化した。サービス業（▲18）は2ポイント増とやや改善した。卸売業（▲25）は増減なく前期並となった。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（19）は14ポイント減、小売業（25）は7ポイント減と大幅に下降した。卸売業（17）は5ポイント減とやや下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（10）は6ポイント減と大幅に下降した。サービス業（1）は増減なく前期並となった。製造業（1）は3ポイント減、卸売業（10）は2ポイント減とともにやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、小売業（▲19）は22ポイント増と極端に改善すると見込まれている。卸売業（▲14）は11ポイント増と大幅に改善する見込み。サービス業（▲13）は5ポイント増、製造業（▲28）は3ポイント増とともにやや改善する見込み。

【注】

○D. I ^{ディフュージョン インデックス} (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和5年10～12月期）

業況：全体の景況感はやや悪化。小売業は悪化に転じ、建設業は低調感がかなり強まった。
見通し：小売業はかなり改善、サービス業は悪化に転じる。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和5年10～12月期）の業況DIは▲17とやや悪化し、今後3か月後の見通しもやや悪化する見込みとなっている。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R5.4～6)	前期 (R5.7～9)	今期 (R5.10～12)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲31	▲38	▲41	▲46
卸売業	▲23	▲28	▲19	▲19
小売業	9	7	▲8	0
サービス業	4	▲1	2	▲6
建設業	▲20	▲12	▲27	▲34
情報通信業	0	▲10	▲2	▲9
全体	▲10	▲13	▲17	▲20

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや悪化した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においてもやや悪化する見通しとなっている。業種別にみると、今期は小売業で悪化に転じ、建設業で低調感がかなり強まり、卸売業、情報通信業はかなり改善した。製造業は低調感がやや強まり、サービス業は好転した。

来期は小売業でかなり改善、サービス業で悪化に転じ、建設業、情報通信業では低調感がかなり強まり、製造業は低調感がやや強まり、卸売業は今期並みの見込み。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、12月は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下となった。製造工業生産予測調査では、1月は前月比-6.2%の低下、2月は同2.2%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている12月の消費者物価指数（2020年=100）は106.8（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.1%上昇した。

品川区の今期の特徴点

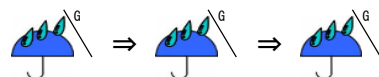
景 気 予 報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

製 造 業



業況は低調感がやや強まった。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格、原材料価格、在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

卸 売 業



業況はかなり改善した。売上額は前期並となり、収益は減少幅がかなり拡大した。販売価格、仕入価格はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

小 売 業



業況は悪化に転じた。売上額は増加幅がやや縮小し、収益は減少幅がやや縮小した。販売価格は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

サ ー ビ ス 業



業況は好転した。売上額、収益はともに増加から減少に転じた。料金価格は上昇傾向がかなり強まり、材料価格は上昇傾向がやや弱まった。資金繰りは前期並となった。

建 設 業



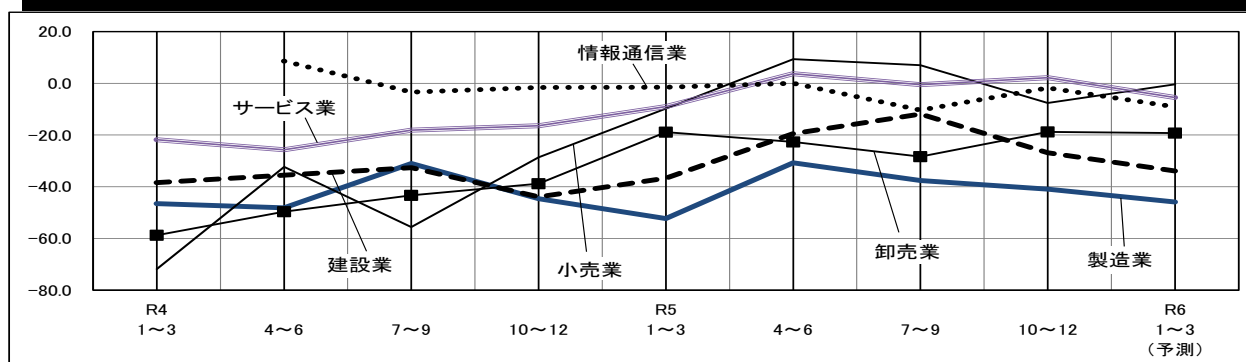
業況は低調感がかなり強まった。売上額は減少幅がかなり拡大し、施工高は減少幅が極端に拡大し、収益は減少幅がかなり拡大した。請負価格は前期並となり、材料価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は不足感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

情報通信業

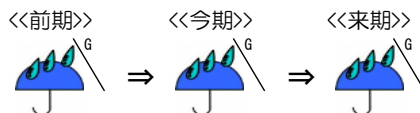


業況はかなり改善した。売上額は増加幅がかなり拡大し、収益は減少幅がかなり拡大した。システム提供価格は上昇傾向がやや強まり、人件費は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△38→△41)は低調感がやや強まった。売上額(△26→△32)は減少幅がかなり拡大し、収益(△35→△38)は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は10ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(6→7)、原材料価格(59→59)はともに前期並となり、在庫(11→13)は前期並の過剰感が続いた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△29→△20)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△2→2)は好転した。今期借入れをした企業は29%で前期の19%から10ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

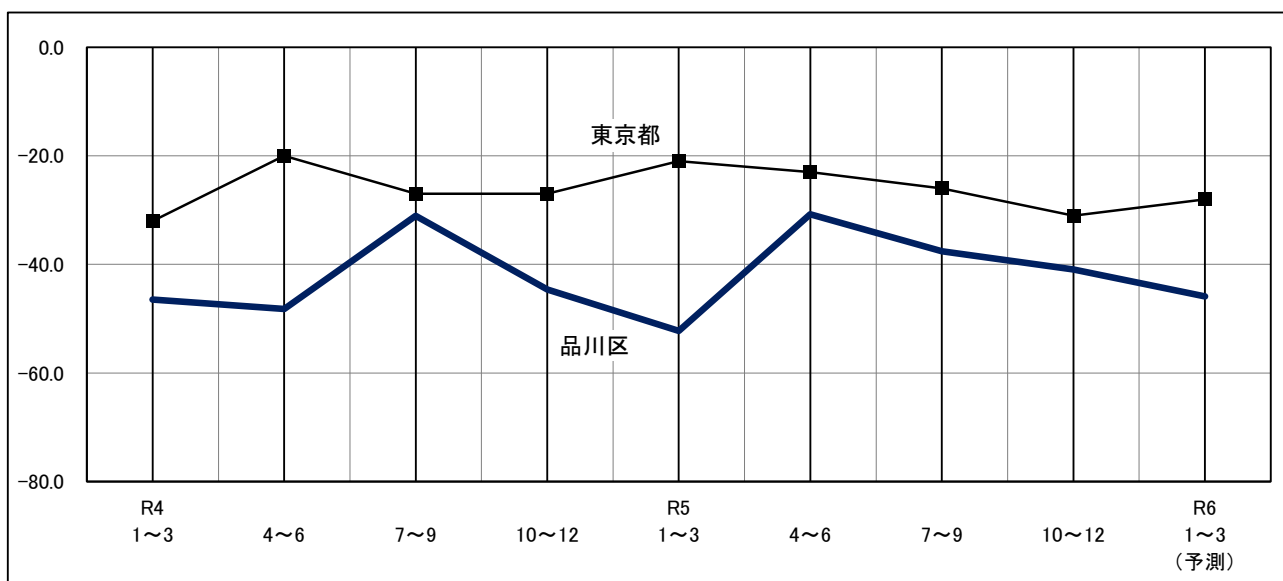
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が59%、2位は「原材料高」が41%、3位は「人手不足」が24%となった。4位は「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」がともに20%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が46%、2位は「販路を広げる」が39%、3位は「人材を確保する」が34%となった。3位の「人材を確保する」は前期の24%から10ポイント増加した。

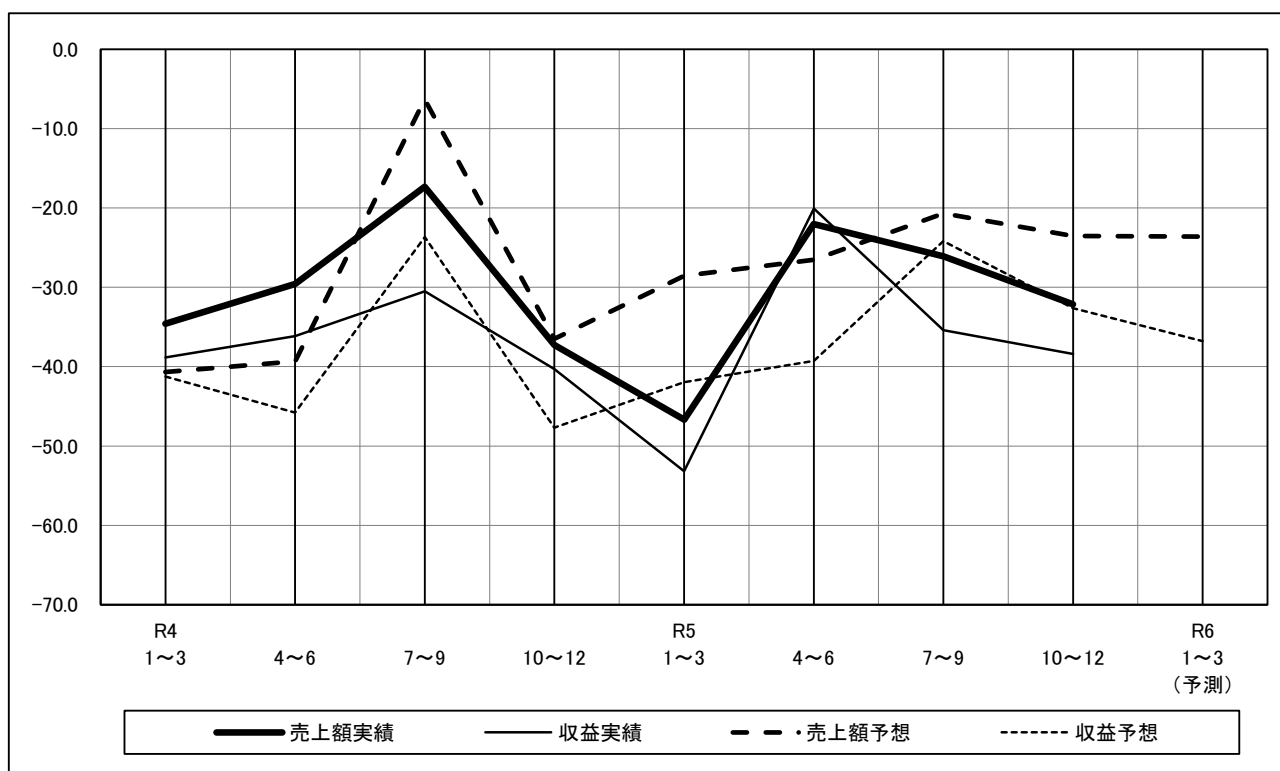
来期の見通し

業況(△41→△46)は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

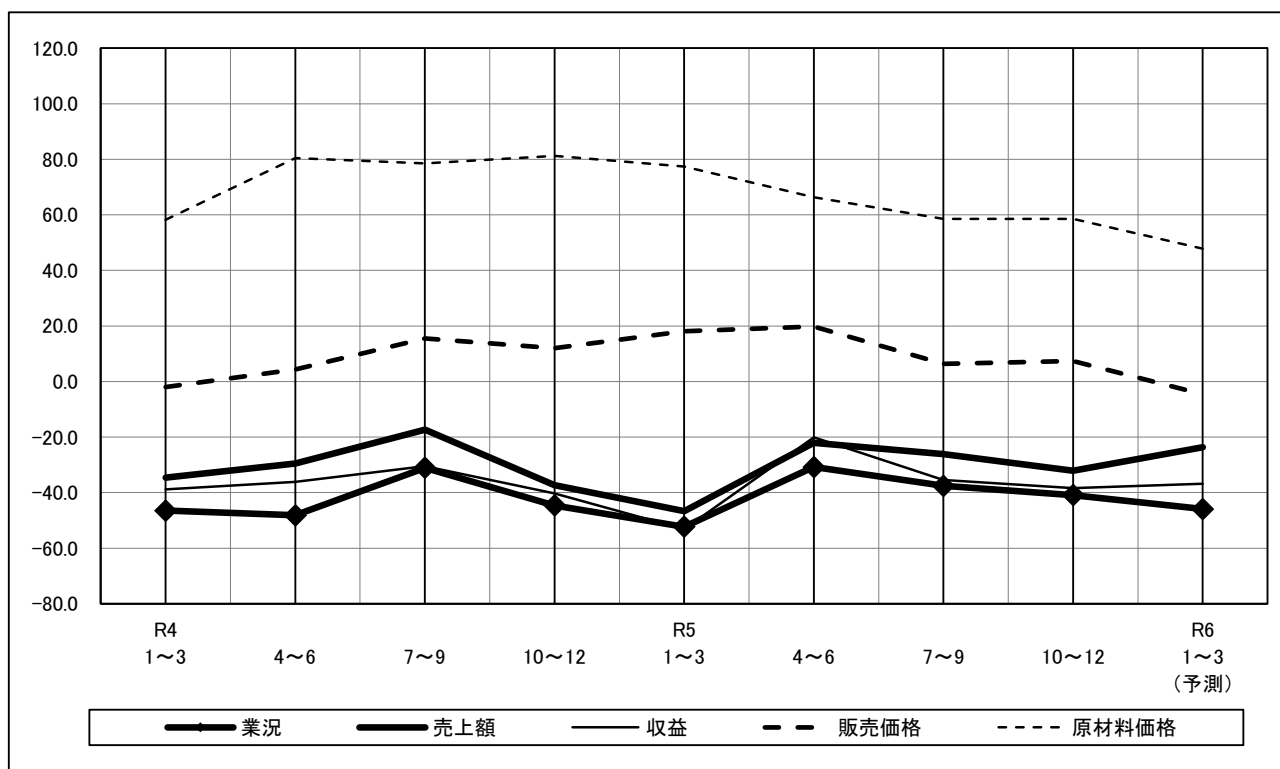
〈製造業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



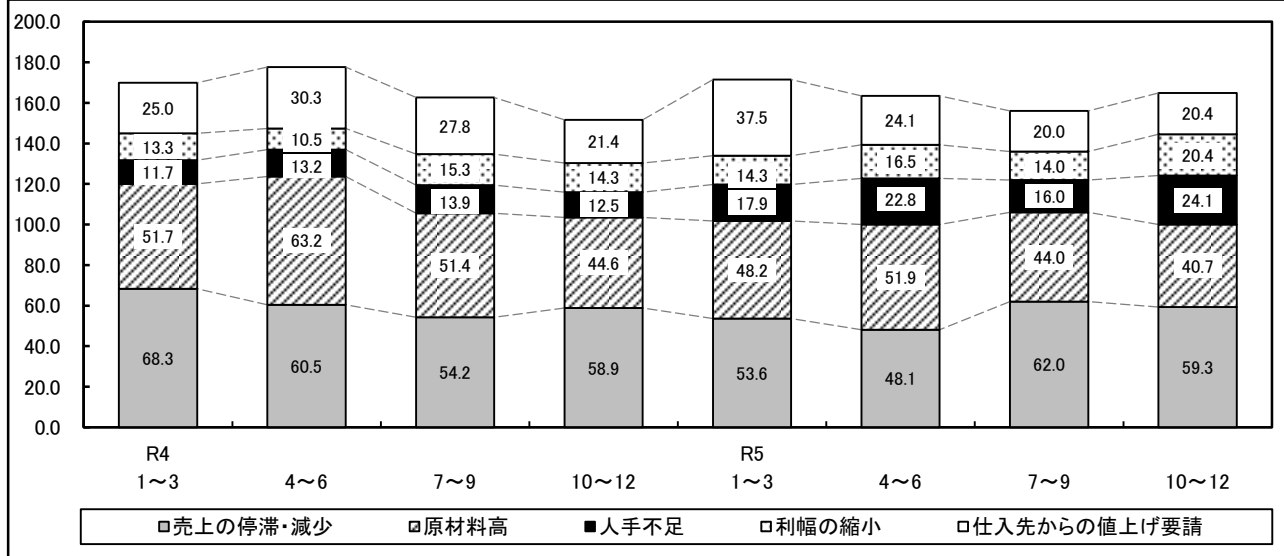
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

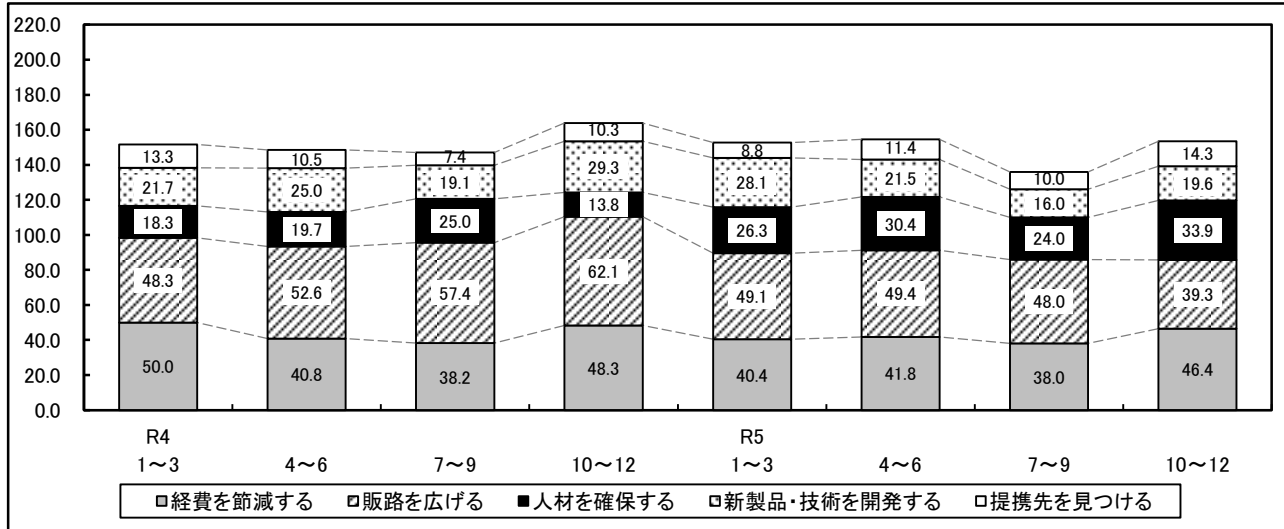


〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	53.6 %	原材料高	51.9 %	売上の停滞・減少	62.0 %	売上の停滞・減少	59.3 %
第2位	原材料高	48.2 %	売上の停滞・減少	48.1 %	原材料高	44.0 %	原材料高	40.7 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	37.5 %	仕入先からの値上げ要請	24.1 %	仕入先からの値上げ要請	20.0 %	人手不足	24.1 %
第4位	人手不足	17.9 %	人手不足	22.8 %	人件費の増加	18.0 %	利幅の縮小	20.4 %
第5位	利幅の縮小	14.3 %	工場・機械の狭小・老朽化	20.3 %	人手不足	16.0 %	仕入先からの値上げ要請	20.4 %
					工場・機械の狭小・老朽化	16.0 %	人件費以外の経費増加	18.5 %
							工場・機械の狭小・老朽化	18.5 %

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期		R5.10~12月期	
第1位	販路を広げる	49.1 %	販路を広げる	49.4 %	販路を広げる	48.0 %	経費を節減する	46.4 %
第2位	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	41.8 %	経費を節減する	38.0 %	販路を広げる	39.3 %
第3位	新製品・技術を開発する	28.1 %	人材を確保する	30.4 %	人材を確保する	24.0 %	人材を確保する	33.9 %
第4位	人材を確保する	26.3 %	情報力を強化する	21.5 %	情報力を強化する	20.0 %	新製品・技術を開発する	19.6 %
第5位	情報力を強化する	21.1 %	新製品・技術を開発する	21.5 %	情報力を強化する	16.0 %	提携先を見つける	14.3 %
			教育訓練を強化する	12.7 %	新製品・技術を開発する	16.0 %		

(1) 電気機械器具

業況(△48→△17)は極端に改善した。売上額(△28→△31)は減少幅がやや拡大し、収益(△7→△14)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(33→14)は上昇傾向がかなり弱まり、原材料価格(39→42)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△23→△7)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△20→△52)は低調感が極端に強まった。売上額(△8→△27)は減少幅がかなり拡大し、収益(△50→△45)は減少幅がやや縮小した。販売価格(△22→0)は下降傾向が極端に弱まり、原材料価格(64→55)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△11→△13)は厳しさがやや増した。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△13→△20)は低調感がかなり強まった。売上額(△20→△25)は減少幅がやや拡大し、収益(△28→△36)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(9→9)、原材料価格(56→55)はともに前期並となった。資金繰り(△40→△20)は厳しさが極端に和らいだ。来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

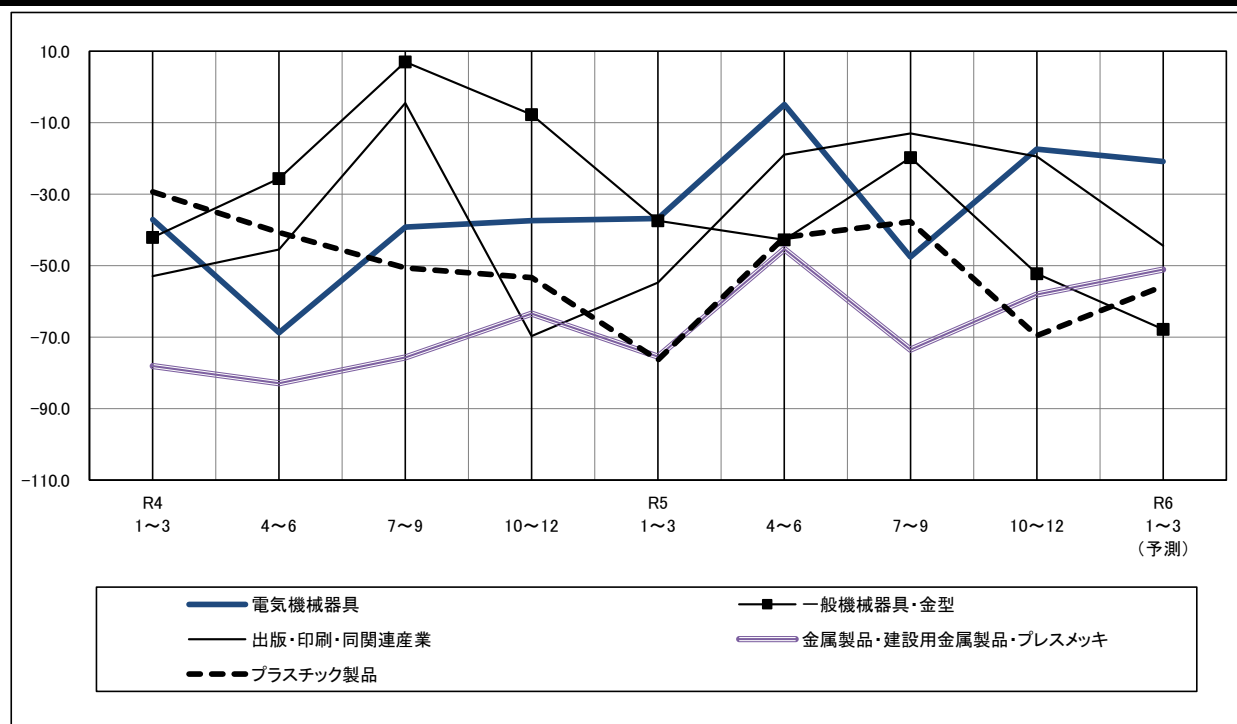
(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△74→△58)はかなり改善した。売上額(△62→△46)は減少幅がかなり縮小し、収益(△53→△48)は減少幅がやや縮小した。販売価格(22→28)、原材料価格(79→95)はともに上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△58→△41)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△38→△70)は低調感が極端に強まった。売上額(△23→△39)は減少幅がかなり拡大し、収益(△31→△61)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(0→△22)は上昇から下降に転じ、原材料価格(60→42)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△17→△21)は厳しさがやや増した。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

1. 人手不足が一番の問題である。
2. 世界相場の銅建値が高止まりで且つ円安なので、下がる気配がない。銅線、マグネットワイヤーを使う企業は利益が出ない。
3. 季節商品の時季で年末まで忙しい。人手が集まらない（このままでは労務倒産）。
4. 受注はあるが利益がなかなか取れず、また人手不足（募集しても人が来ず）。

<一般機械器具・金型>

1. 売上は上がっている（もしくは現状維持）が、利益率が減っている。注文はあるが、割引・短納期を強いられ、物価高が影響している。まともに見積りを出すと価格競争で負ける。
2. 現状では大きなマイナスではないが、販路を少し広げたい。
3. 昨年末にかけて半導体不足の影響により、取引先より先行受注を得られ業況は良かったが、先行受注の反動減で引合は大きく減少し、受注高は最低水準となり、当面受注環境の好転が見通せない状況。
4. 売上、受注共に減少している。
5. 人手不足。
6. 社員の退職があり、人材不足が続いている。補填が出来たが即戦力は難しく、生産性の低下、受注減が生じている。
7. 後継者問題が重要課題と考えている。
8. 業界全体に不況感が漂い、忙しい会社が見当たらない。

<出版・印刷・同関連産業>

1. 仕入価格の値上がり分を販売価格へ上乗せできない。また、資料等提出しても値上げを認めてもらえない。
2. 世間では概ねコロナ禍が終わった様子だが、仕事の受注量は変わらず依然厳しい状況が続いている。
3. 紙の需要が減少。
印刷関連は縮小が続いています。先細りは目に見えています。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

1. 仕入部材の確保を行うため、大量仕入を行っている。売上よりもペースが早いので来期は抑制する。
2. 人材の確保ができず、先行きは先細り。
3. 減収・減益が続いている。
4. しばらく値上げができなかったが、材料の値上げとともに値上げが認められはじめた。
5. 需要があるが、人手不足と機械化の遅れで取りこぼす案件での生産力の低下、単価の高い物にシフトがしにくい状況。
6. 売上の減少が続いている（得意先の減少と外注先の減少による）。

<プラスチック製品>

1. 大企業の発注数量の減少により、売上が減少。
2. 人手不足、人材の確保が難しい。
3. 売上停滞。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 19$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 11$) は前期並となり、収益 ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 24$) は減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 6 ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (17→34)、仕入価格 (48→60) はともに上昇傾向がかなり強まり、在庫 (15→15) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 15$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 ($\Delta 4 \rightarrow \Delta 6$) はやや悪化した。今期借入れをした企業は 32% で前期の 22% から 10 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

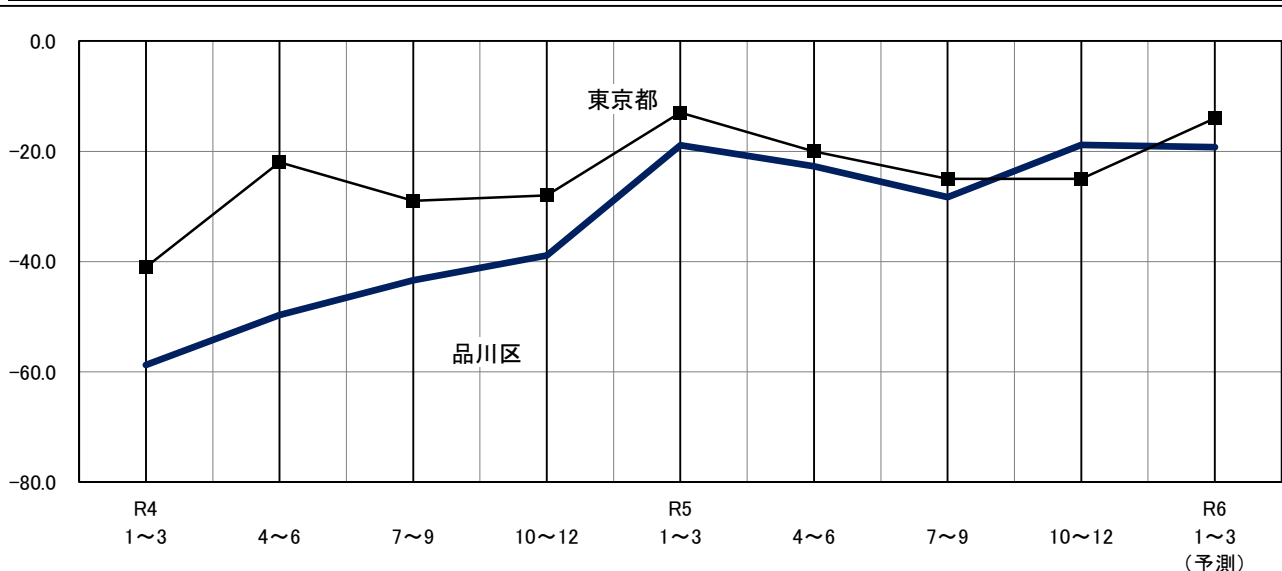
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 37%、2 位は「為替レートの変動」が 35%、3 位は「利幅の縮小」が 32% となった。前期 3 位だった「仕入先からの値上げ要請」は、今期 5 位と順位を下げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 48%、2 位は「経費を節減する」「情報力を強化する」がともに 34%、3 位は「人材を確保する」が 25% となった。1 位の「販路を広げる」は、前期の 57% から 9 ポイント減少した。

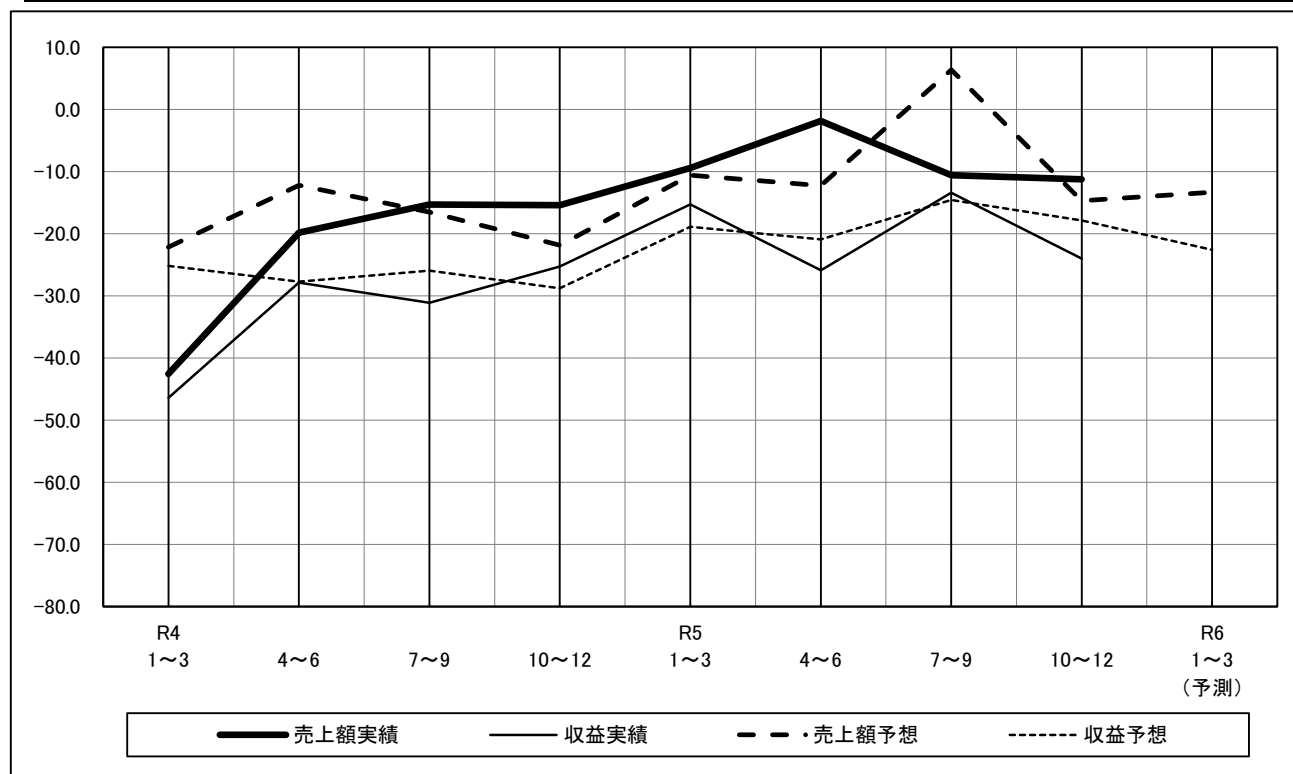
来期の見通し

業況 ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 19$) は前期並となる見込み。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は前期並と予想されている。

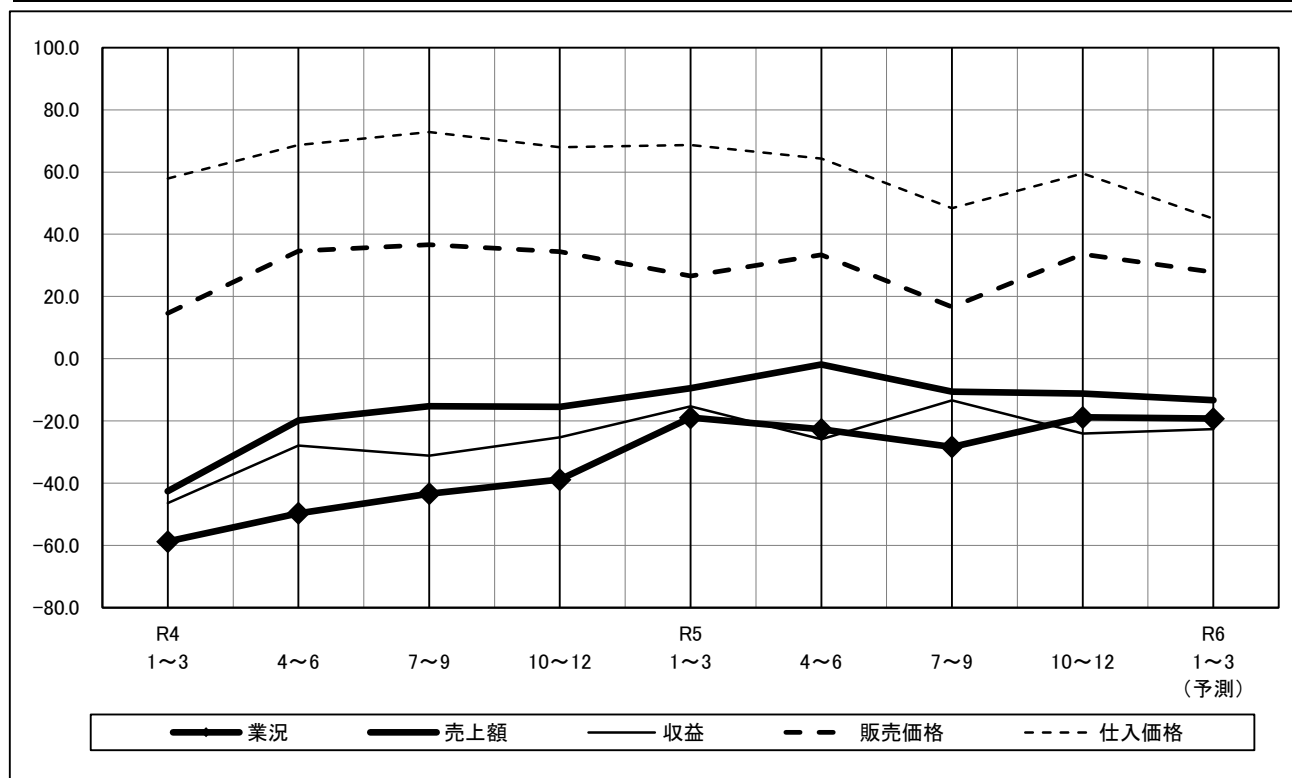
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



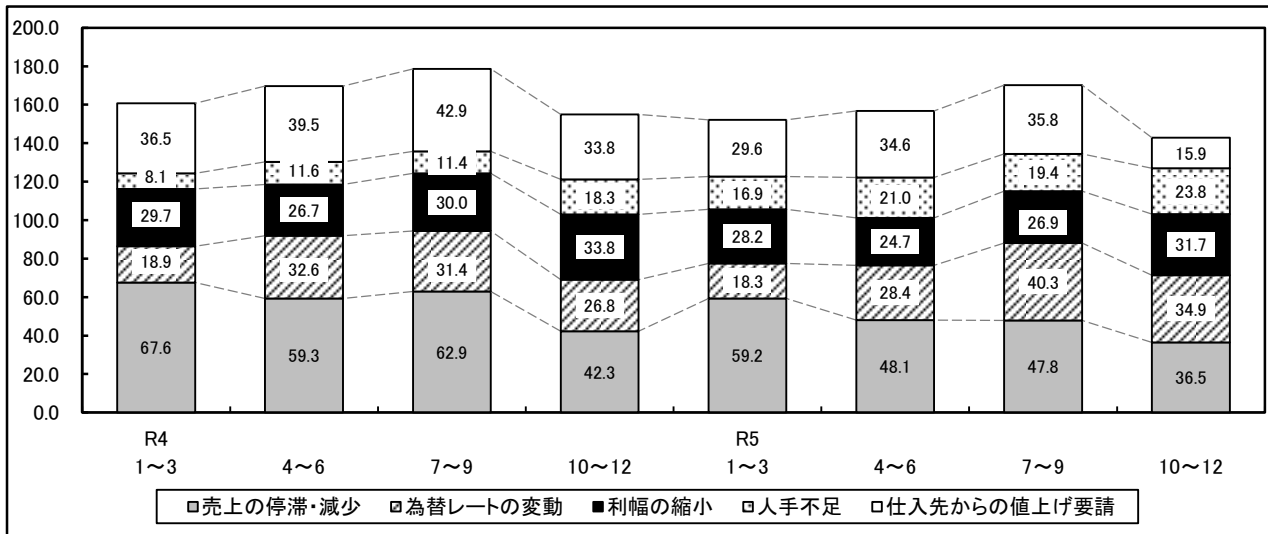
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

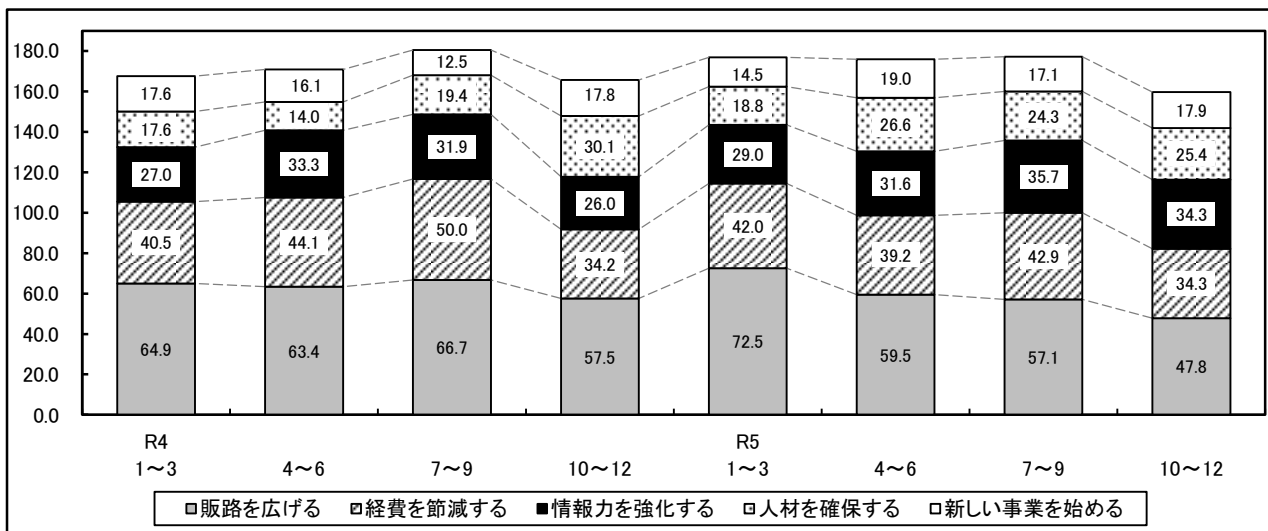


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	売上停滞・減少	59.2 %	売上停滞・減少	48.1 %	売上停滞・減少	47.8 %	売上停滞・減少	36.5 %
第2位	仕入先からの値上げ要請	29.6 %	仕入先からの値上げ要請	34.6 %	為替レートの変動	40.3 %	為替レートの変動	34.9 %
第3位	利幅の縮小	28.2 %	為替レートの変動	28.4 %	仕入先からの値上げ要請	35.8 %	利幅の縮小	31.7 %
第4位	取引先の減少	19.7 %	利幅の縮小	24.7 %	利幅の縮小	26.9 %	人手不足	23.8 %
第5位	為替レートの変動	18.3 %	人手不足	21.0 %	人手不足	19.4 %	仕入先からの値上げ要請	15.9 %

〈卸売業〉 重点経営施策（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	販路を広げる	72.5 %	販路を広げる	59.5 %	販路を広げる	57.1 %	販路を広げる	47.8 %
第2位	経費を節減する	42.0 %	経費を節減する	39.2 %	経費を節減する	42.9 %	経費を節減する	34.3 %
第3位	情報力を強化する	29.0 %	情報力を強化する	31.6 %	情報力を強化する	35.7 %	情報力を強化する	34.3 %
第4位	品揃えを充実する	20.3 %	人材を確保する	26.6 %	人材を確保する	24.3 %	新しい事業を始める	25.4 %
第5位	人材を確保する	18.8 %	新しい事業を始める	19.0 %	新しい事業を始める	17.1 %	品揃えを充実する	14.9 %
							教育訓練を強化する	14.9 %

卸売業 業種別コメント

1. ユーロ高による原価上昇。コロナ明けにより内需の減少。
2. 地価の高騰により仕入が難しい。
3. 婦人服専門店の景気の動向により、卸売販売は左右される。トレンドを注視しマーケットに合う商材を増やしながらか売上の拡大を図りたい。
4. 為替が円安になったため輸入コストの上昇で販売が難しくなっている。
5. 原材料価格の高騰（不漁による）。食料品の多様化、食料品・嗜好の変化。海藻類の不漁で品質低下、品不足、価格高騰。
6. 国内生産者の減少により仕入が難しい。
7. 販売競争が強くなり、そこに人手不足が重なった時、仕事を断る必要があるケースが多々あった。人手確保のため技術力のない人もそれ相当の給料を出す必要があり、売上を落とさざるを得なかった。
8. 円安の影響で仕入値が上昇しているが、販売価格に反映できないことが問題。
9. 現状はあまり動いていない。
10. 短期より中長期での予測が全くたたない。売上の減少が不安である。短期での準備はできているので、それ程大きな変化はない。
11. ユーザーの買い控えが進み、売上が低迷している。
12. 円安が続いてメーカーへの支払いが大変である。メーカーからの値上げと納品までの船代などが円安で圧迫している。
13. 主要取引先の好調により、受注・売上が伸長し安定しているため、粗利率も改善でき、利益が伸びている。21、22年と過去最高業績を更新した。
14. 製造業は国内での需要が減り、町工場は仕事が減り、納入業者も注文が減っている状況です。
15. 消防施設工事業の受注案件が多く、来期は新規案件の受注は辞退方向の状況です。ネジ部門は低レベルにて安定した状況が続いております。
16. 弊社は空調機器販売を主業としております。現在の景況感並びに省エネ環境また機器の経年劣化に伴う更新需要もあり、業績は順調に推移しています。仕入原価をカバーする販売価格への転嫁が課題です。
17. 半導体製造業良好。
18. 売上減少。
19. 金額の多い取引の減少（工務店等）。
20. 需要が増え、増収・増益が続いているが、人材の育成などで問題があります。
21. 経営は安定しているが、人材とスペースが不足している。
22. 当社の取扱う商材の需要の割合に変化がこの後起きる可能性があるため、人材の対応をしていくことが重要になる。
23. 受注は安定している。
24. 人手が充足して売上が期待出来る。
25. 輸入品取扱い多く、円高がコストアップになっている。上代価格は上げられず、収益が減少している。
26. 円安による仕入原価高騰による利益の減少。価格転嫁はできない。
27. 主要取引先から受注が増加している。
28. 為替レートが安定していないため、利益に大きく影響している。
29. サービサーへの一括弁済を打診中。経営破綻の可能性があるため、むしろ好機と見ている。交渉が進めばメインバンクの支援も得られる可能性が広がる。
30. 輸入元ですが、電子部品の値上げと品薄で注残がかなりあります。仕入価格も増加しています。為替レートの円安によりかなり利益が減少。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(7→△8)は悪化に転じた。売上額(6→5)は増加幅がやや縮小し、収益(△16→△14)は減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は33ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格(43→40)は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格(82→72)は上昇傾向がかなり弱まった。在庫(11→6)は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△18→△16)は厳しさがやや和らぎ、借入難易度(△18→△21)はやや悪化した。今期借入れをした企業は21%で前期の18%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

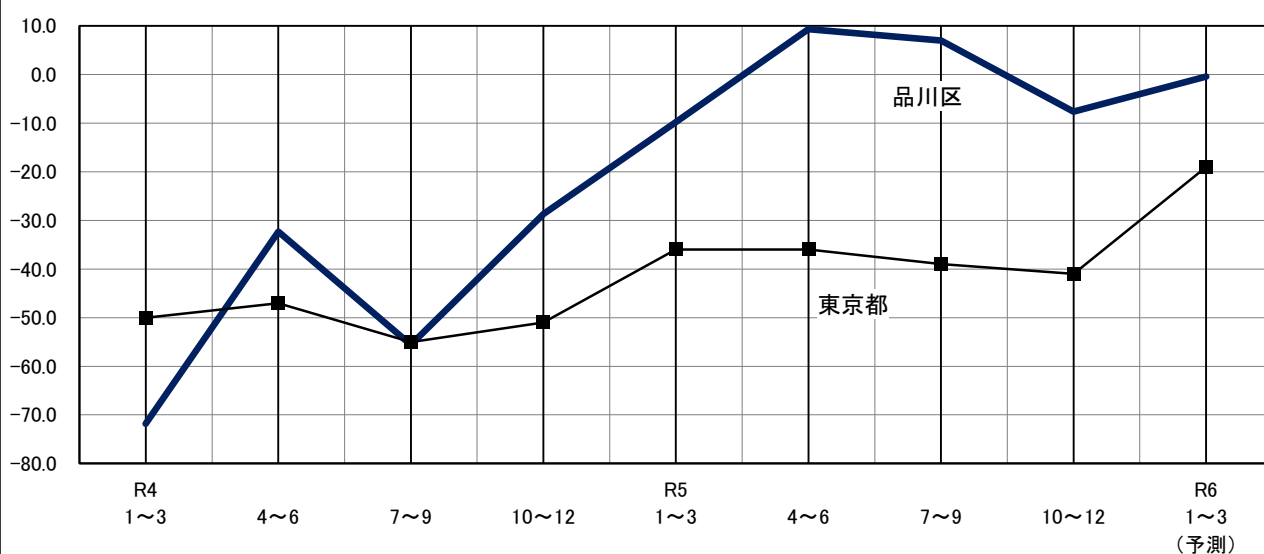
経営上の問題点は、1位は「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」がともに40%、2位は「人手不足」が37%、3位は「売上の停滞・減少」が32%となった。前期3位だった「天候の不順」が今期は圏外となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が47%、2位は「人材を確保する」が44%、3位は「品揃えを改善する」が28%となった。3位の「品揃えを改善する」は前期の18%から10ポイント増加した。

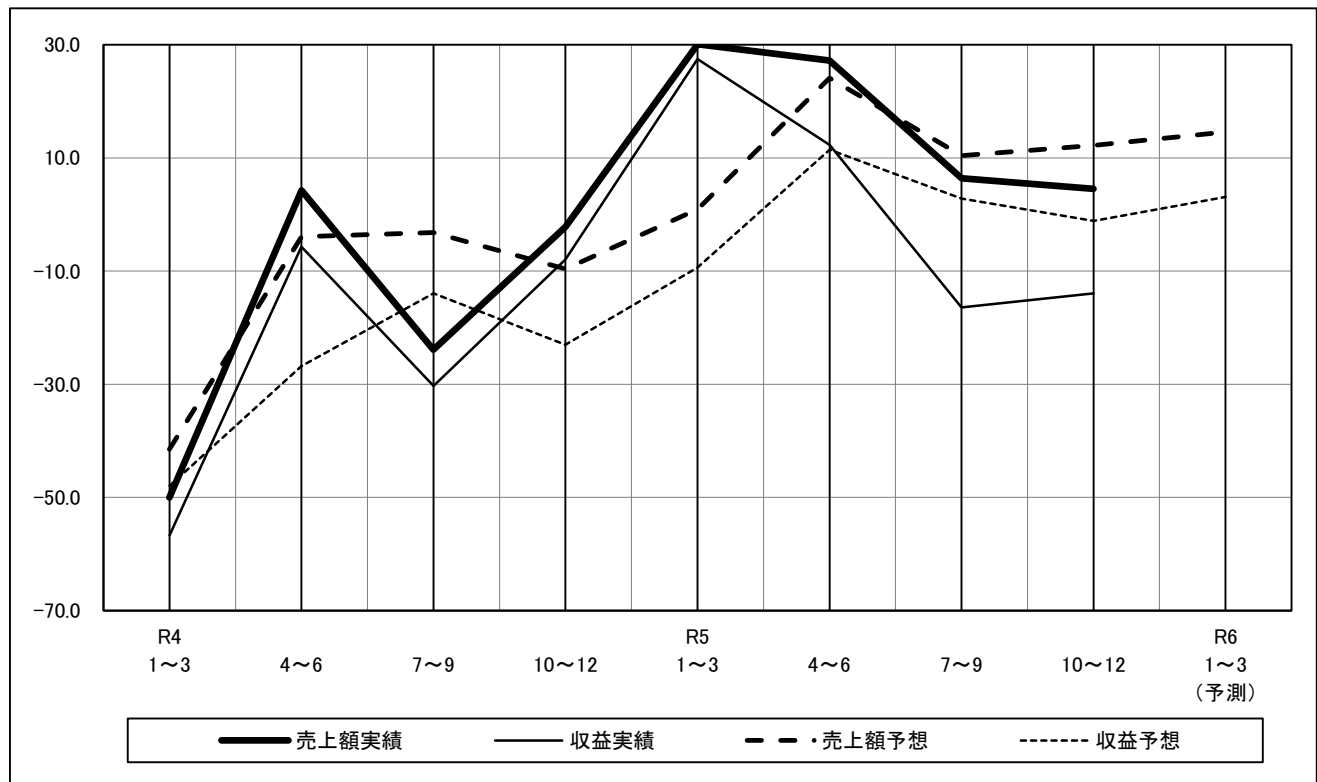
来期の見通し

業況(△8→0)はかなり改善する見込み。売上額は増加幅がかなり拡大し、収益は増加に転じると予想されている。

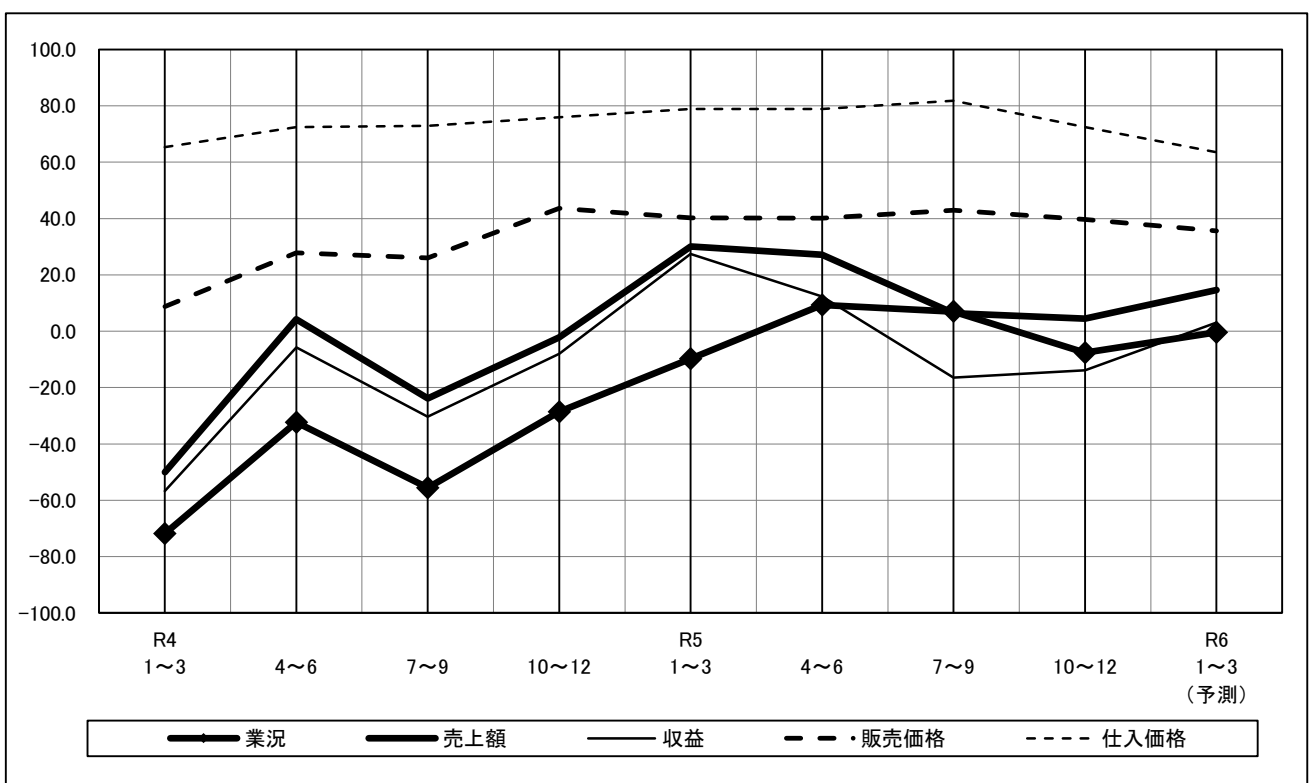
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



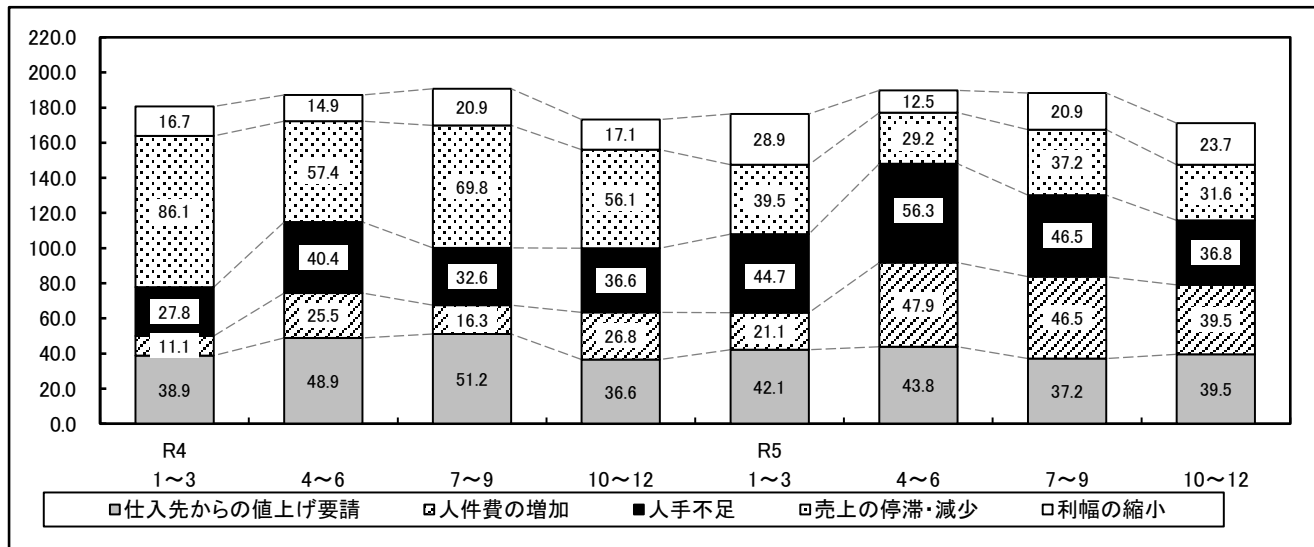
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

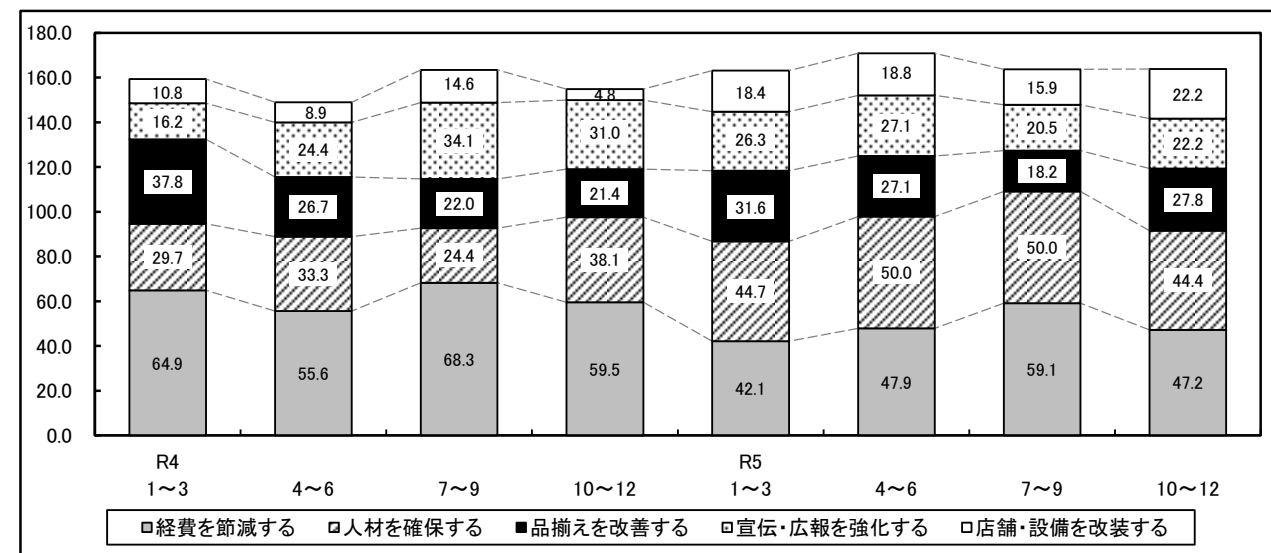


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人手不足	44.7 %	人手不足	56.3 %	人手不足 人件費の増加	46.5 % 46.5 %	仕入先からの値上げ要請 人件費の増加	39.5 % 39.5 %
第2位	仕入先からの値上げ要請	42.1 %	人件費の増加	47.9 %	売上の停滞・減少 仕入先からの値上げ要請	37.2 % 37.2 %	人手不足	36.8 %
第3位	売上の停滞・減少	39.5 %	仕入先からの値上げ要請	43.8 %	天候の不順	27.9 %	売上の停滞・減少	31.6 %
第4位	利幅の縮小	28.9 %	売上の停滞・減少	29.2 %	利幅の縮小	20.9 %	利幅の縮小	23.7 %
第5位	人件費以外の経費の増加	23.7 %	人件費以外の経費の増加	27.1 %	人件費以外の経費の増加 取引先の減少	11.6 % 11.6 %	人件費以外の経費の増加	21.1 %

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人材を確保する	44.7 %	人材を確保する	50.0 %	経費を節減する	59.1 %	経費を節減する	47.2 %
第2位	経費を節減する	42.1 %	経費を節減する	47.9 %	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	44.4 %
第3位	品揃えを改善する	31.6 %	品揃えを改善する 宣伝・広報を強化する	27.1 % 27.1 %	宣伝・広報を強化する	20.5 %	品揃えを改善する	27.8 %
第4位	宣伝・広報を強化する	26.3 %	新しい事業を始める	20.8 %	品揃えを改善する	18.2 %	宣伝・広報を強化する 店舗・設備を改装する	22.2 % 22.2 %
第5位	仕入先を開拓・選別する	21.1 %	店舗・設備を改装する	18.8 %	店舗・設備を改装する 仕入先を開拓・選別する 売れ筋商品を取扱う 機械化を推進する	15.9 % 15.9 % 15.9 % 15.9 %	仕入先を開拓・選別する	19.4 %

(1) 飲食料品

業況(△28→△29)は前期並となった。売上額(△39→△49)は減少幅がかなり拡大し、収益(△51→△41)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(39→21)は上昇傾向がかなり弱まり、仕入価格(84→91)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△19→△24)は厳しさがやや増した。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

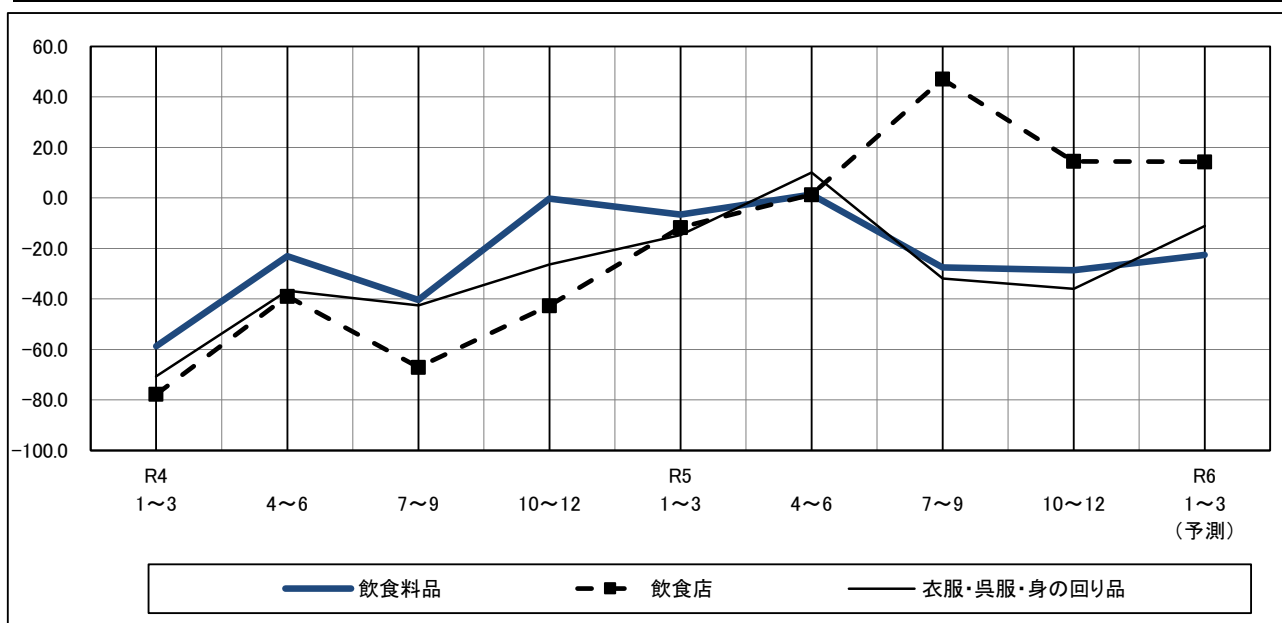
(2) 飲食店

業況(47→15)は好調感が極端に後退した。売上額(29→42)は増加幅がかなり拡大し、収益(8→13)は増加幅がやや拡大した。販売価格(56→61)は上昇傾向がやや強まり、仕入価格(93→76)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△18→2)は容易となった。来期の業況は前期並と予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△32→△36)は低調感がやや強まった。売上額(△6→△11)は減少幅がやや拡大し、収益(△45→△35)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(0→18)は上昇に転じ、仕入価格(45→54)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△27→△45)は厳しさがかなり増した。来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

＜飲食料品＞

1. 仕入費用、人件費、送料コストの増加に売上増加が追いつかない。
2. 仕入価格が上昇したからといって販売価格を上げると客数3割ほど減少したので現在は販売価格を戻しています。そのぶん利益減少の現状です。
3. 仕入が高い。
4. 売上等減少している。

＜飲食店＞

1. 売上は増収、人件費・食材費の上昇で利益減。値上げによる単価上昇の売上増のため意味なし。
2. 平日の来店客が増加しているが（新規客）逆に常連客の減少が見られる。
3. 受注増の中、採用が出来ずに人手不足になっている。
4. 年末の忘年会で客足は伸びているが、光熱費や原材料費の高騰により、以前と比べて収益が減っている傾向にある。
5. 人手不足により売上（利益）確保が厳しい。
6. 仕入価格の高騰、円安。
7. 値上げで客単価が上昇し、客数は減少。客単価の上昇のおかげで売上は維持もしくは微増。
8. 最低賃金増加に伴うパート従業員の労働時間減少、仕入先からの値上げ要求等からの収益力弱体化、労働量の低下。
9. 11月より気温が下がり来客数が増加した。
10. 食材、食品の値上げ、光熱費の値上げが更に利益を圧縮しています。それに伴い人材不足も深刻な問題です。
11. 来場者は増えたが、働く人がいない。

＜衣服・呉服・身の回り品＞

1. 食料品、日用品価格の高騰により家計を圧迫している影響で衣食住の内、衣料品への消費が減少していると考えられる。
2. 大型店との競合激化がある。今後は特色ある方向に考えている。
3. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっていることが大きい。仕入用品の値上がり、賃料の値上り。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△1→2)は好転した。売上額(13→△6)、収益(1→△6)はともに増加から減少に転じた。なお、全都と比較した当区の業況は20ポイント上回っている。

価格・在庫動向

料金価格(16→29)は上昇傾向がかなり強まり、材料価格(56→54)は上昇傾向がやや弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△2→△3)、借入難易度(12→13)は前期並となった。今期借入れをした企業は18%で前期の20%から2ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

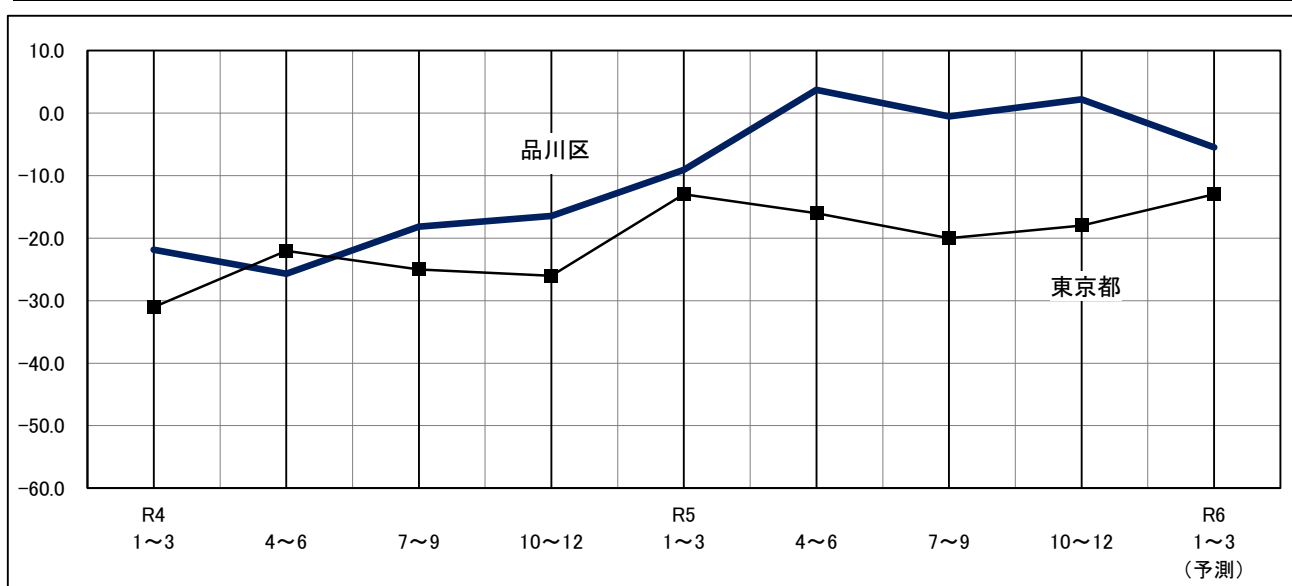
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が55%、2位は「人件費の増加」が39%、3位は「売上の停滞・減少」が28%となった。前期2位だった「材料価格の上昇」が今期は圏外となっている。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が57%、2位は「経費を節減する」が45%、3位は「販路を広げる」が35%となった。「人材を確保する」は令和4年10～12月期から5期連続で1位となっている。

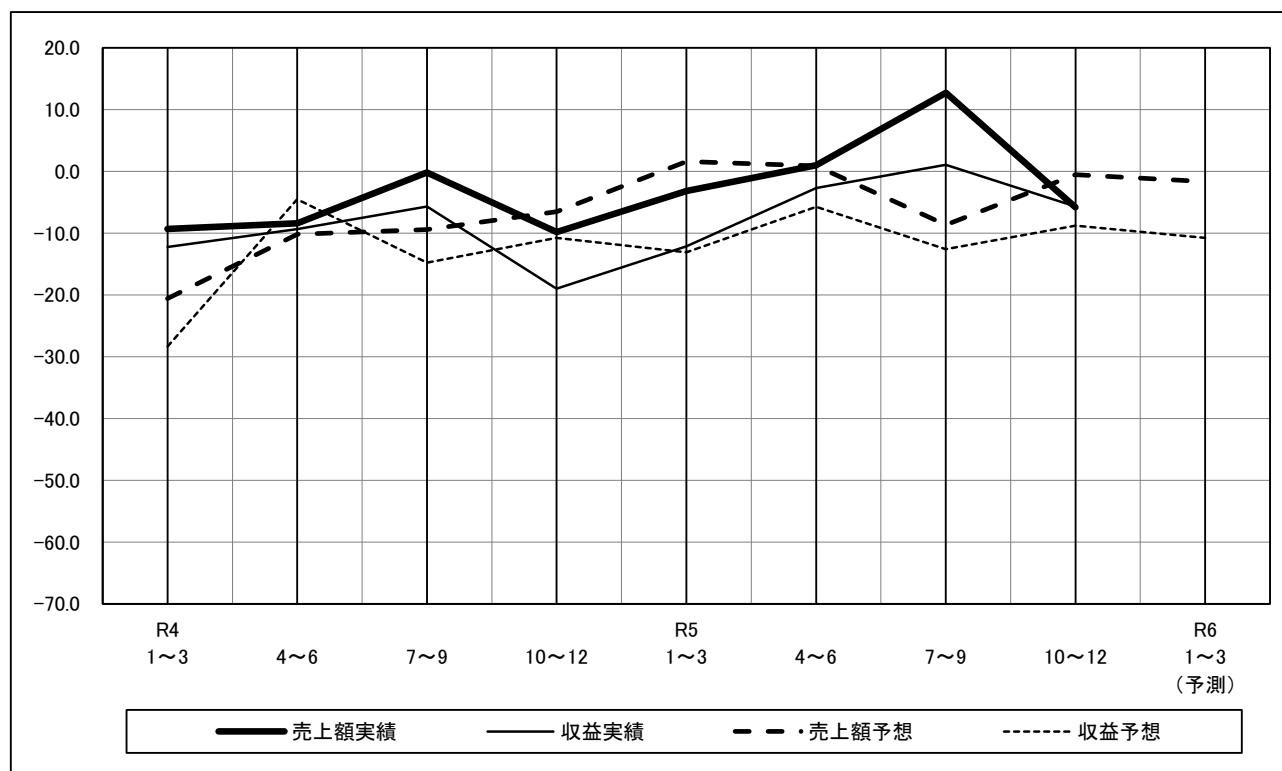
来期の見通し

業況(2→△6)は悪化に転じる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

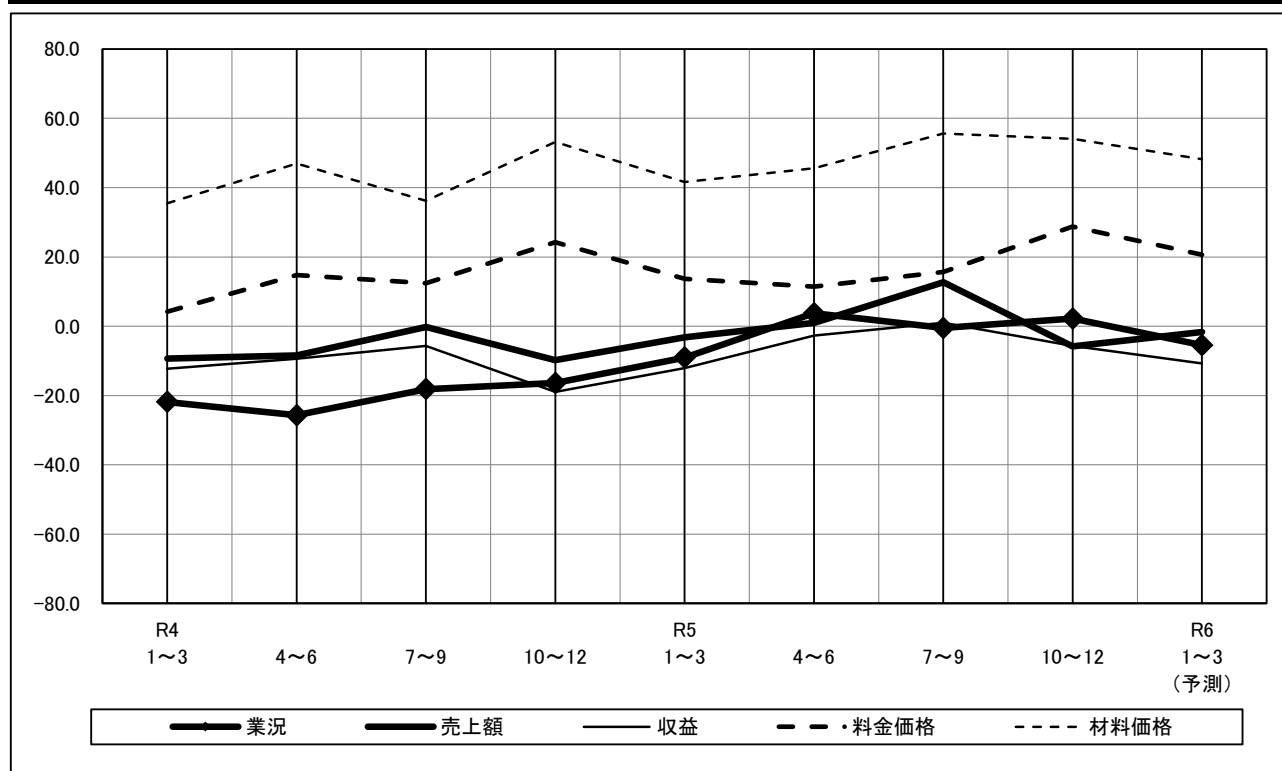
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



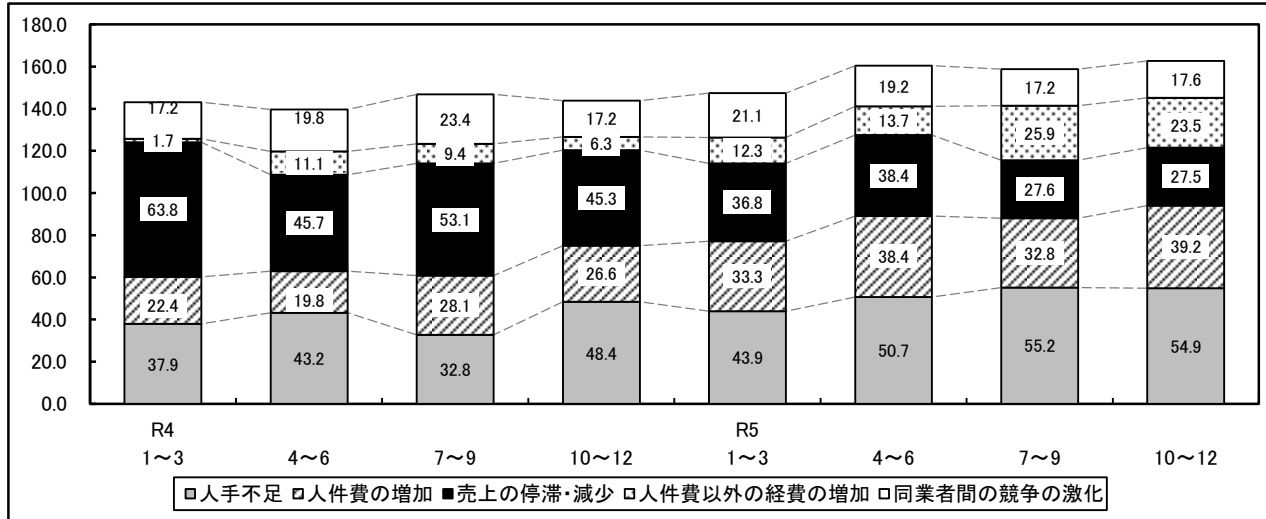
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

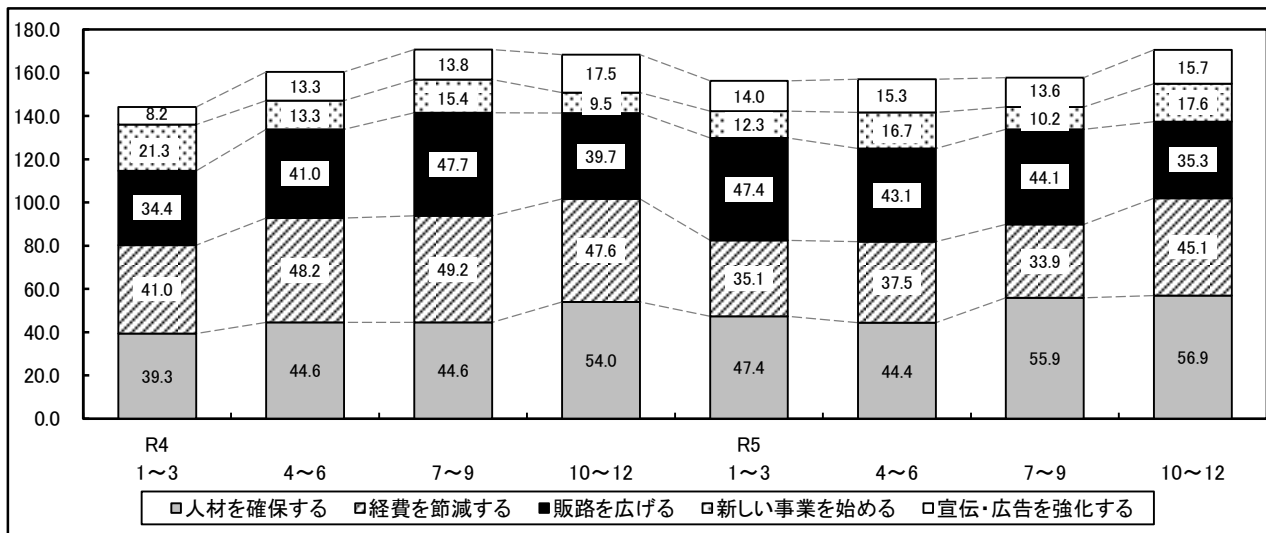


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人手不足	43.9 %	人手不足	50.7 %	人手不足	55.2 %	人手不足	54.9 %
第2位	売上の停滞・減少	36.8 %	売上の停滞・減少 人件費の増加	38.4 % 38.4 %	材料価格の上昇	36.2 %	人件費の増加	39.2 %
第3位	人件費の増加	33.3 %	材料価格の上昇	26.0 %	人件費の増加	32.8 %	売上の停滞・減少	27.5 %
第4位	材料価格の上昇	31.6 %	同業者間の競争の激化	19.2 %	売上の停滞・減少	27.6 %	人件費以外の経費の増加	23.5 %
第5位	利幅の縮小	22.8 %	利幅の縮小	17.8 %	人件費以外の経費の増加	25.9 %	同業者間の競争の激化	17.6 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	販路を広げる	47.4 %	人材を確保する	44.4 %	人材を確保する	55.9 %	人材を確保する	56.9 %
	人材を確保する	47.4 %						
第2位	経費を節減する	35.1 %	販路を広げる	43.1 %	販路を広げる	44.1 %	経費を節減する	45.1 %
第3位	教育訓練を強化する	26.3 %	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	33.9 %	販路を広げる	35.3 %
第4位	提携先を見つける	15.8 %	提携先を見つける 労働条件を改善する	20.8 % 20.8 %	教育訓練を強化する 労働条件を改善する	22.0 % 22.0 %	新しい事業を始める	17.6 %
第5位	宣伝・広告を強化する	14.0 %	新しい事業を始める	16.7 %	技術力を強化する	18.6 %	宣伝・広告を強化する 教育訓練を強化する	15.7 % 15.7 %

サービス業 業種別コメント

1. 需要が少しずつ回復しているので売上が増えていると思います。
2. 販路を広げて業績に繋げる。
3. 人材が確保できない。
4. 増収・増益が続いているが人件費の増加に伴い、安定成長が難しい。
5. 顧客数、売上額、収益、前年と変わらず順調である。
6. メーカーサービスのため、エンジニアの確保だけが当面の課題です。
7. コロナが明け、好転傾向。
8. 人手不足で採用するお客様が増えています。職種も増えています。特に東京ではレストラン、介護人材の紹介が増えています。
9. 物資の不足や高騰が未だ続いている様で、計画通り設備の更新等が進まず、足踏み状態である。
10. 案件が増え、増収・増益が続いている。
11. 人手不足（入社しない）。
12. コロナが収束してきたことで来客数が戻ってきている。食材費の値上がりがあるが、売価についても見直しがあった。
13. 新事業が良い結果を生んでいる。
14. 新規事業で販路拡大を行おうと金融機関の方にも援助頂いたのですが、拡大企業先へのマッチングができません。ただ継続して自社でアプローチをしているので、マッチングの努力を続けるつもりです。
15. 円安によると思われる売上増加。
16. 従業員の高齢化が進み、人件費が増えていく一方、売上は横ばい状態が続いている。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△12→△27)は低調感がかなり強まった。売上額(△12→△24)は減少幅がかなり拡大し、施工高(△4→△27)は減少幅が極端に拡大した。収益(△25→△31)は減少幅がかなり拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(△11→△11)は前期並となり、材料価格(67→62)は上昇傾向がやや弱まった。在庫(△5→△9)は不足感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△16→△22)は厳しさがかなり増し、借入難易度(5→△3)は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は30%で前期の31%から1ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

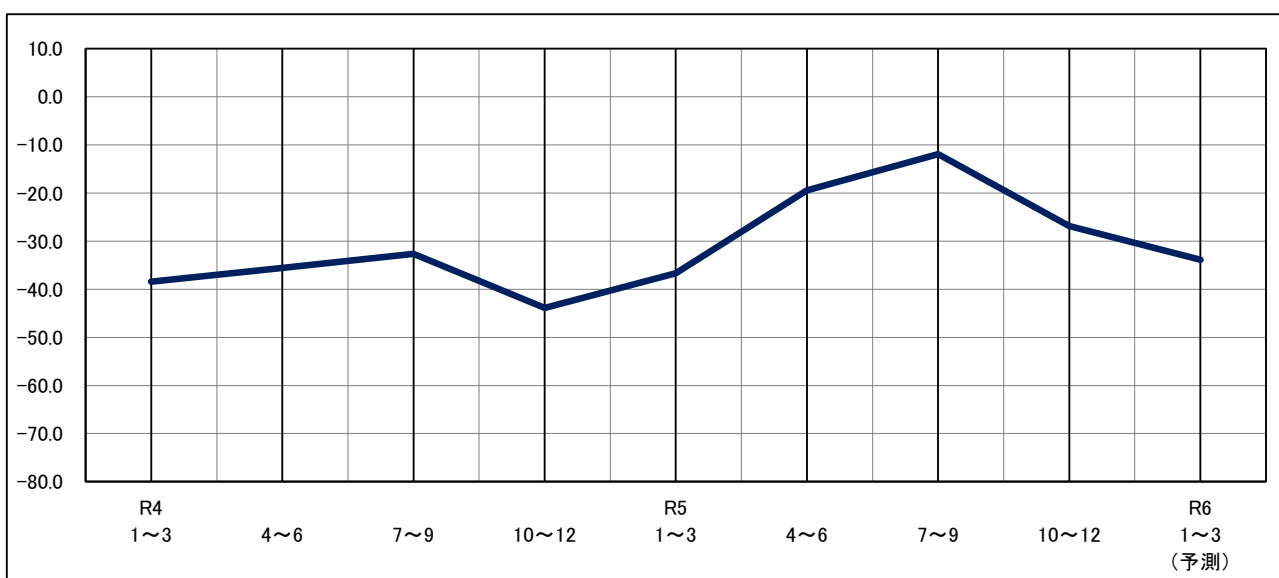
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が52%、2位は「材料価格の上昇」が48%、3位は「売上の停滞・減少」が34%となった。1位の「人手不足」は前期の63%から11ポイント減少した。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が59%、2位は「経費を節減する」が37%、3位は「技術力を高める」が27%となった。前期4位の「経費を節減する」が今期は2位と順位を上げた。

来期の見通し

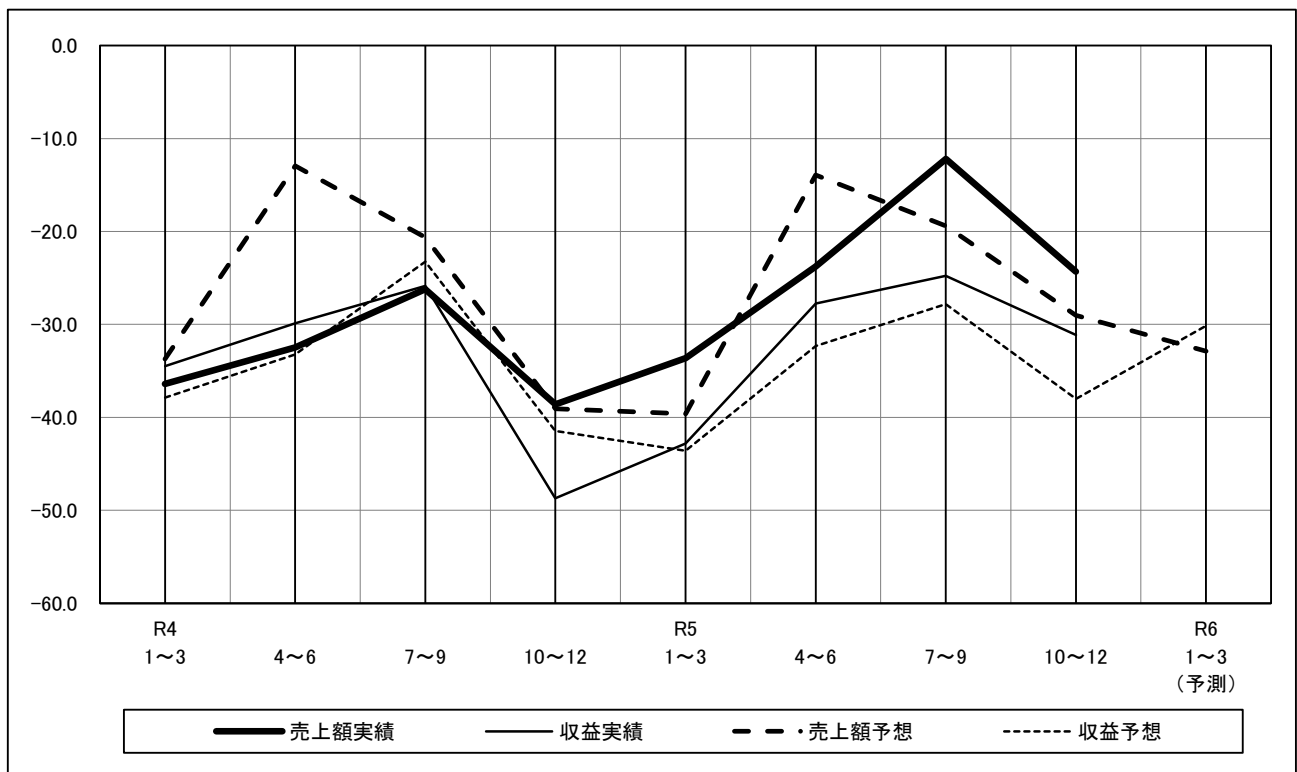
業況(△27→△34)は低調感がかなり強まる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は前期並と予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

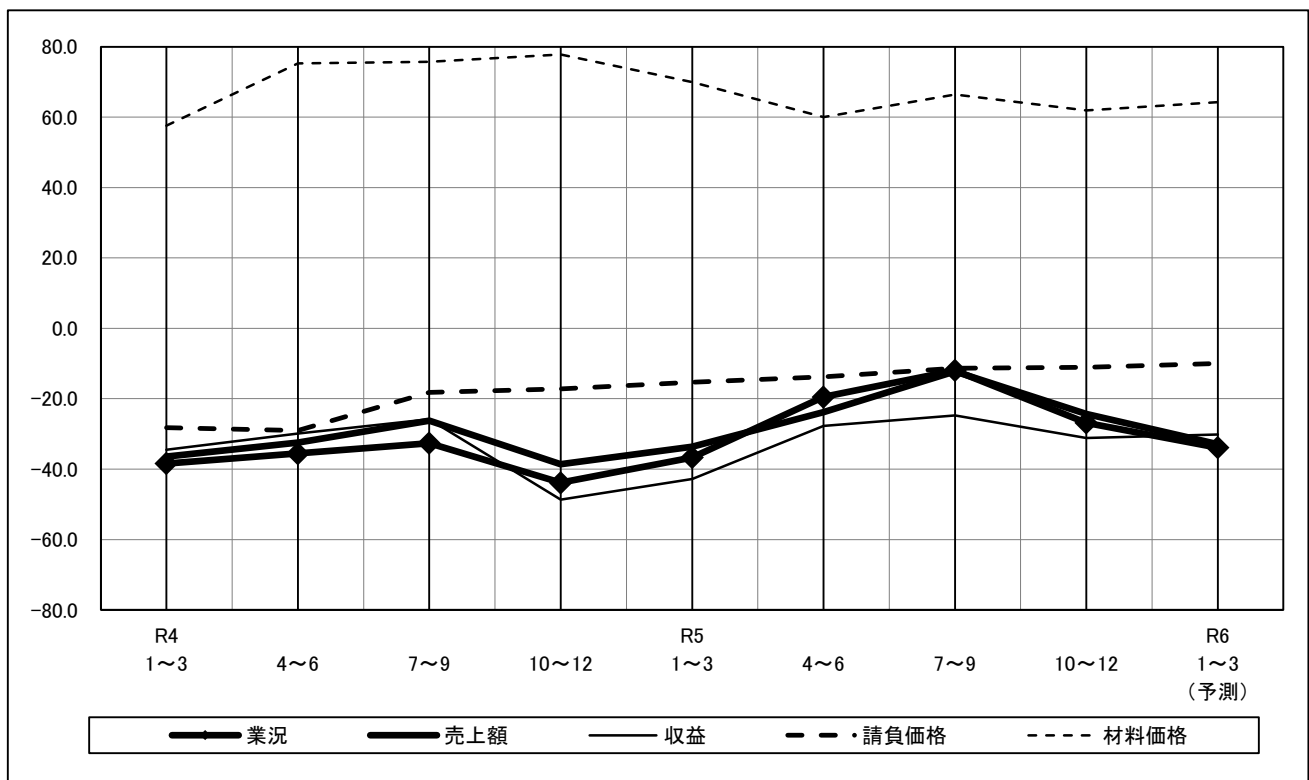


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

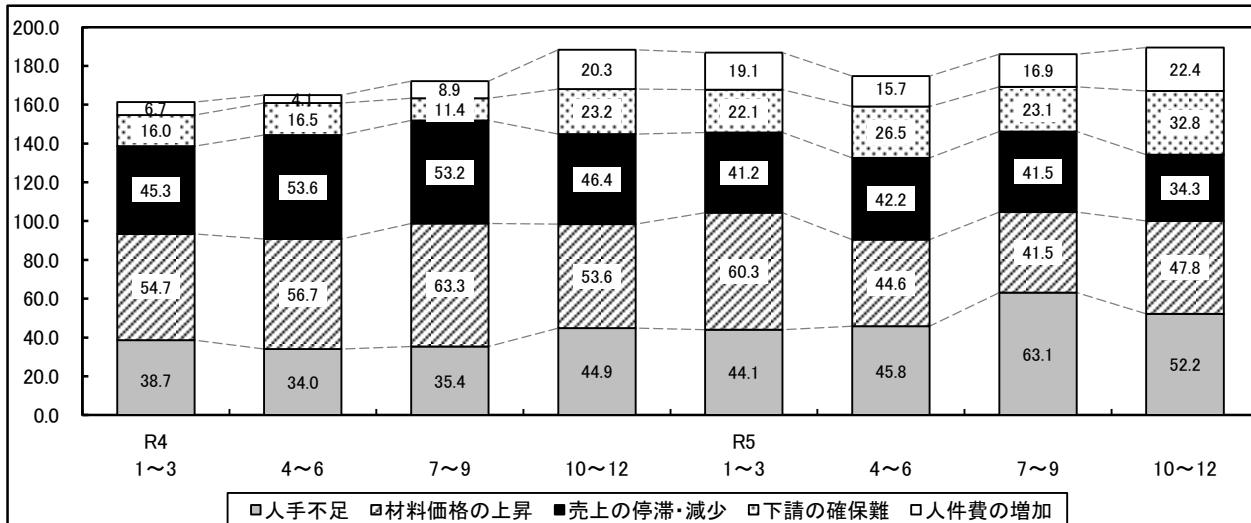
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

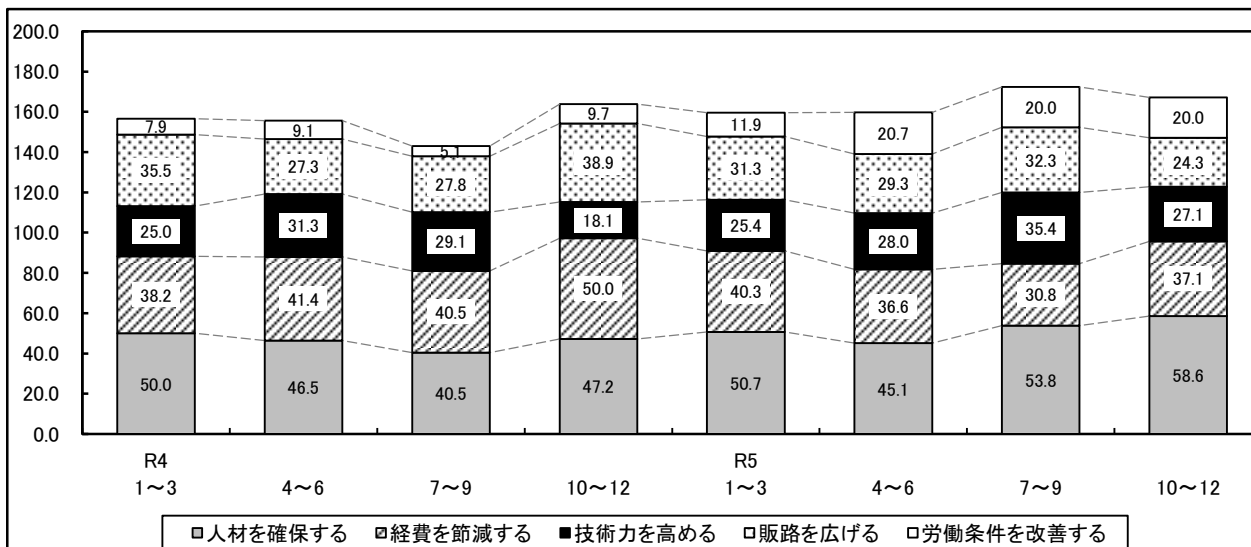


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	材料価格の上昇	60.3 %	人手不足	45.8 %	人手不足	63.1 %	人手不足	52.2 %
第2位	人手不足	44.1 %	材料価格の上昇	44.6 %	売上の停滞・減少 材料価格の上昇	41.5 % 41.5 %	材料価格の上昇	47.8 %
第3位	売上の停滞・減少	41.2 %	売上の停滞・減少	42.2 %	利幅の縮小	29.2 %	売上の停滞・減少	34.3 %
第4位	利幅の縮小	23.5 %	下請の確保難	26.5 %	下請の確保難	23.1 %	下請の確保難	32.8 %
第5位	下請の確保難	22.1 %	利幅の縮小	25.3 %	人件費の増加	16.9 %	人件費の増加	22.4 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人材を確保する	50.7 %	人材を確保する	45.1 %	人材を確保する	53.8 %	人材を確保する	58.6 %
第2位	経費を節減する	40.3 %	経費を節減する	36.6 %	技術力を高める	35.4 %	経費を節減する	37.1 %
第3位	販路を広げる	31.3 %	販路を広げる	29.3 %	販路を広げる	32.3 %	技術力を高める	27.1 %
第4位	技術力を高める	25.4 %	技術力を高める	28.0 %	経費を節減する	30.8 %	販路を広げる	24.3 %
第5位	情報力を強化する	17.9 %	情報力を強化する 労働条件を改善する	20.7 % 20.7 %	情報力を強化する 労働条件を改善する	20.0 % 20.0 %	労働条件を改善する	20.0 %

建設業 業種別コメント

1. 人材の確保はできたものの、人材教育と活用して増大した人件費をまかなっていくために安定した売上の確保が課題。
2. 人手不足。
3. 重機本体の価格が上がり、簡単には購入できない状況である。
4. 社員の高齢化に伴い、後継の若手技術者が不足しており、技術力向上に影響を与えている。
5. 材料、外注費の高騰により利益減少傾向。
6. 見積を出してもそれ以上に材料価格が上がっている。
7. 需要は増えるが原価コスト増に伴う利益減が続いている。
8. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている。
9. 売上が減少傾向。
10. コロナの影響で社員が退職、また復職出来ない状況が続く、出来高が減少し、また新たな受注が出来ず衰退の一途の状況です。新しい分野に備えて技術力を高めているが、発揮できるかどうか分からない。人手不足が解消すれば受注増に結びつけることができると思っています。
11. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている。
12. 人手不足。安定した需要がない。
13. 景気回復が感じられない状況が続いている。
14. 燃料費の大幅な上昇を受け、取引先との単価交渉を行っているが困難を要する。
15. 売上が一時期に集中してしまう。
16. 今のところ変わらない。
17. 大企業の進出により売上は太刀打ちできず減少傾向である。
18. 来年4月～労働法改正により労働時間、賃金等の変動がどのように建設業に影響が発生するか懸念する。通常年より、早い時期の物件、工事見積が多発していると感じる。
19. 仕事の減少のため、仕事以外の事もして売上を上げる。
20. 材料価格が上がり、多少の利幅縮小である。
21. 受注増の中、採用できず人手不足。
22. 発注先の不安定な発注や条件により入札、落札できず仕事量が減り、人材も増やせず売上も上がらない。
23. 材料費の上昇、材料の不足などで先の見通しが見つからない。
24. 小規模経営を心掛けます。
25. 減収・減益が続いている。
26. 取引先受注減に伴う売上減少傾向。
27. 仕事の受注が増えつつあり、去年よりはだいぶ良くなっている。
28. 常駐の現場が縮小のため、新規開拓の必要性が増している。
29. 今後受注増の予定。人手不足になる可能性がある。
30. 資材の大幅UP。
31. 材料の値上げに工事単価が追いついていない。
32. 人手不足が続いている。
33. 人手不足による受注不可。
34. 原価増に対して経費削減し、利幅を確保するしかない。
35. 人手不足。

情報通信業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△10→△2)はかなり改善した。売上額(0→9)は増加幅がかなり拡大し、収益(0→△6)は減少幅がかなり拡大した。

価格動向

システム提供価格(7→9)は上昇傾向がやや強まり、人件費(33→26)は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△14→△7)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△5→△3)はやや改善した。今期借入れをした企業は17%で前期の28%から11ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

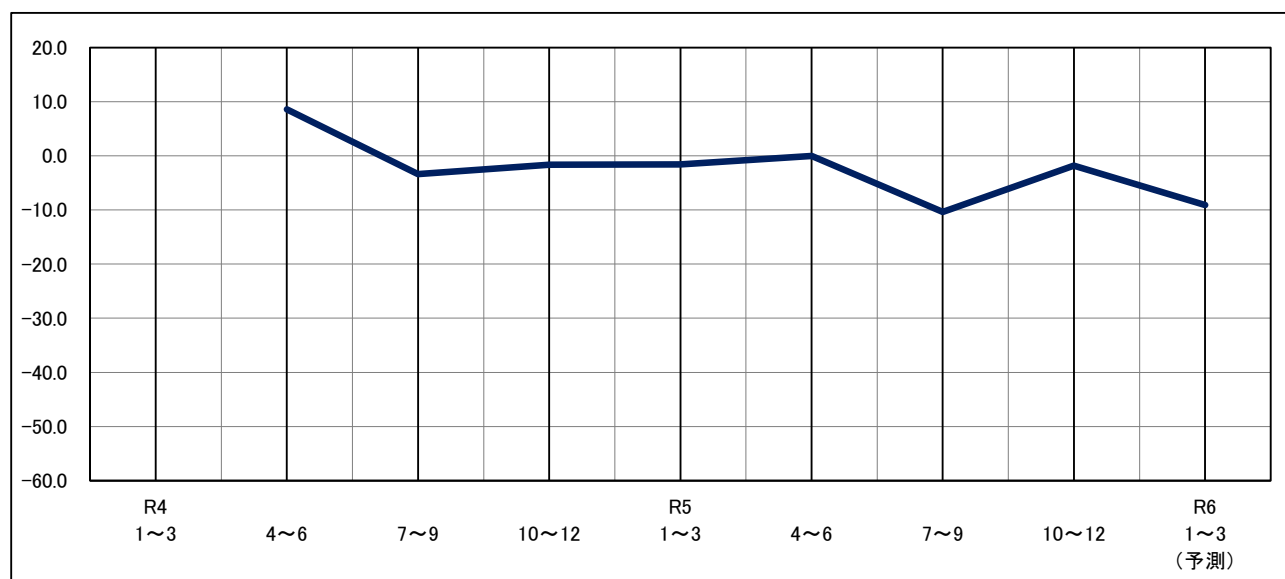
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が51%、2位は「人件費の増加」が43%、3位は「売上の停滞・減少」が31%となった。2位の「人件費の増加」は前期の29%から14ポイント増加した。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が71%、2位は「技術力を強化する」が40%、3位は「販路を広げる」が26%となった。1位の「人材を確保する」は前期の56%から15ポイント増加した。

来期の見通し

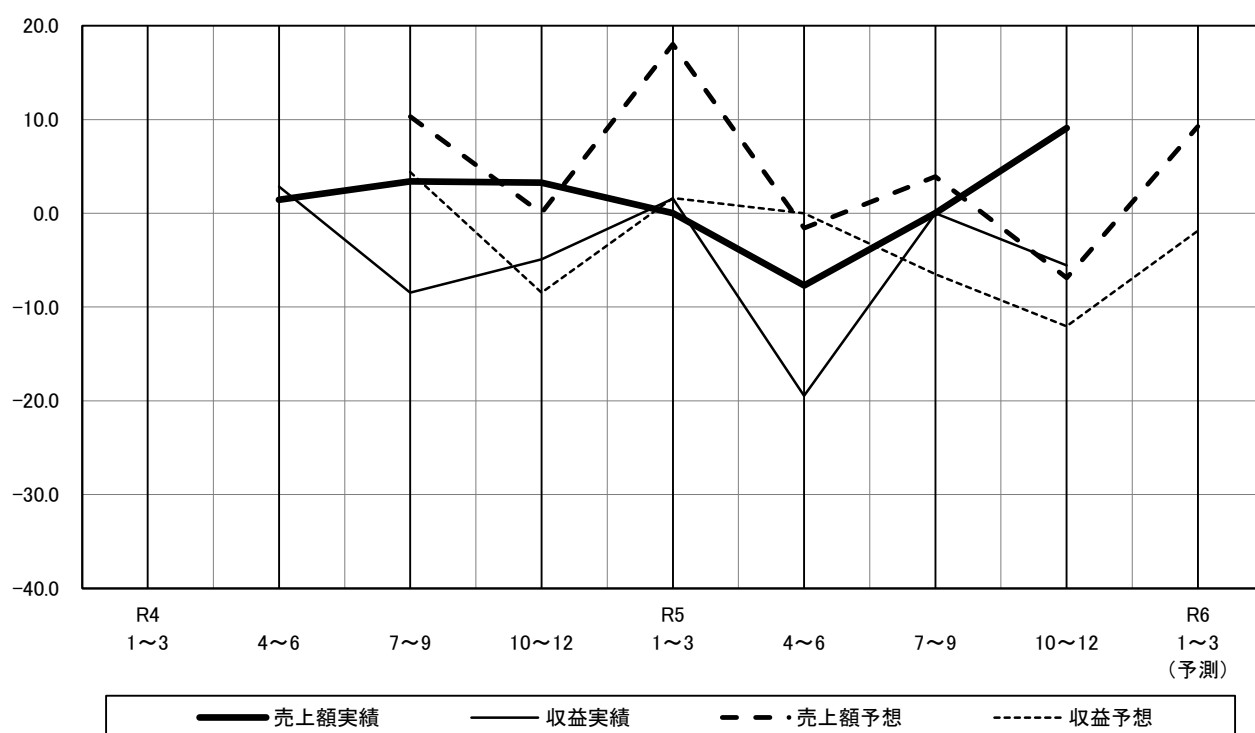
業況(△2→△9)は低調感がかなり強まる見込み。売上額は前期並となり、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

＜情報通信業＞ 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

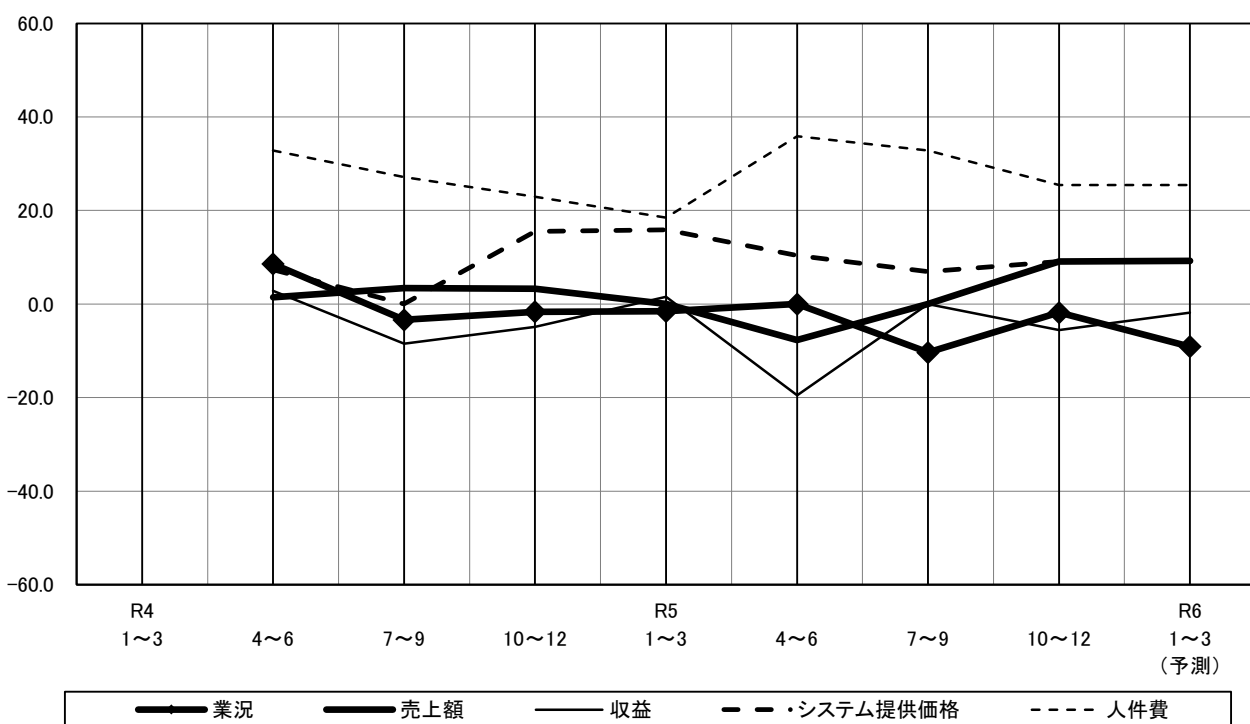


※ 東京都の景況調査では情報通信業の調査は実施されていないため、全都の情報通信業の業況は表示していない。

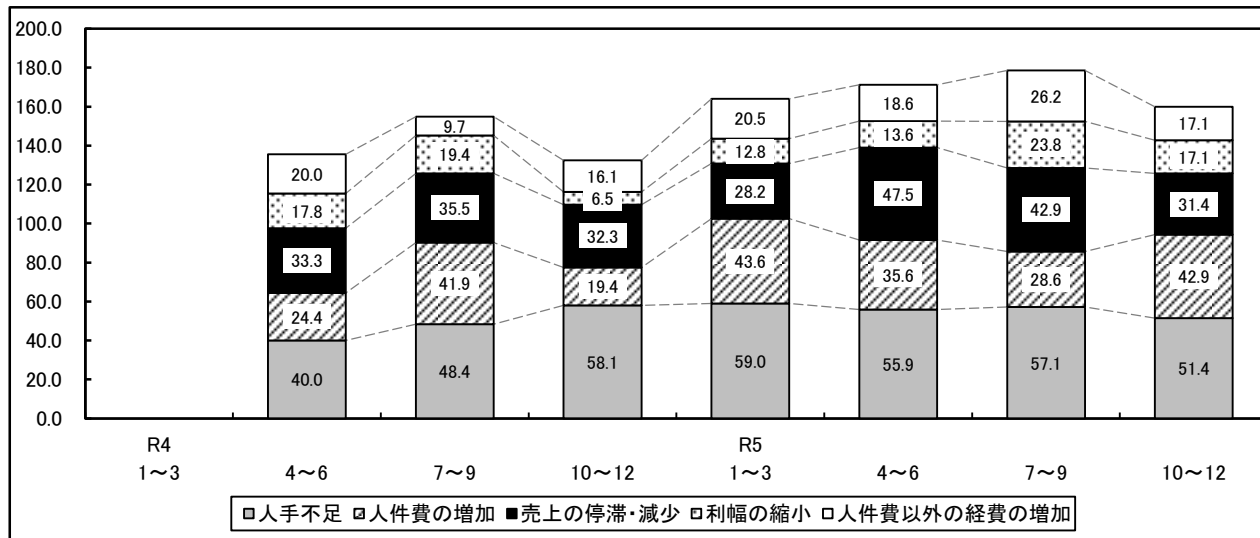
〈情報通信業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈情報通信業〉 業況と売上額、収益、システム提供価格、人件費の動き（実績）と来期の予測

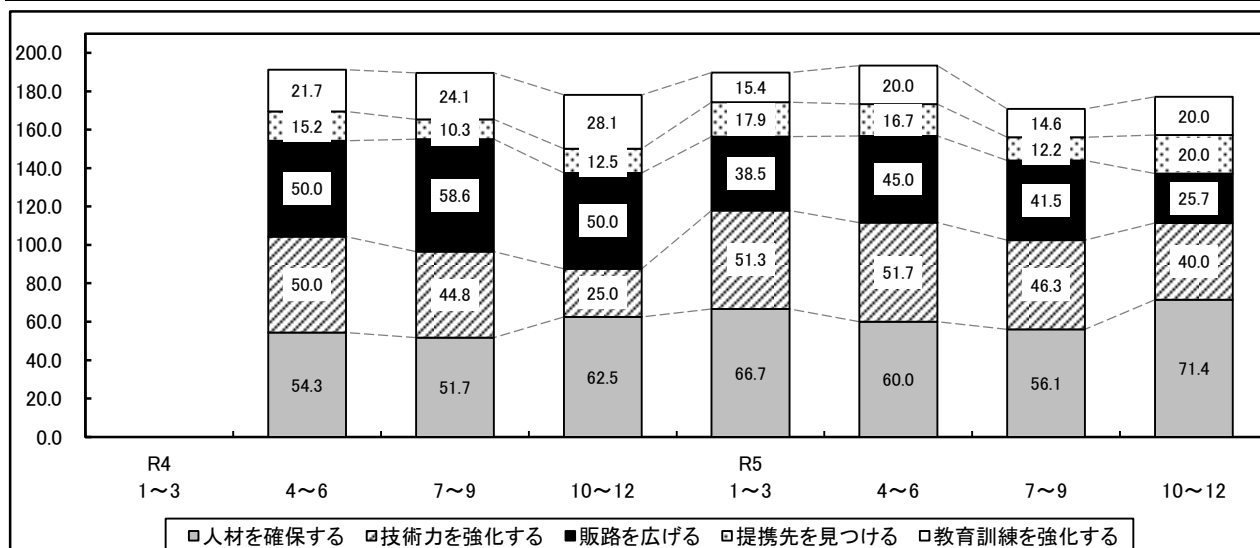


〈情報通信業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人手不足	59.0 %	人手不足	55.9 %	人手不足	57.1 %	人手不足	51.4 %
第2位	人件費の増加	43.6 %	売上の停滞・減少	47.5 %	売上の停滞・減少	42.9 %	人件費の増加	42.9 %
第3位	売上の停滞・減少	28.2 %	人件費の増加	35.6 %	人件費の増加	28.6 %	売上の停滞・減少	31.4 %
第4位	人件費以外の経費の増加	20.5 %	人件費以外の経費の増加	18.6 %	人件費以外の経費の増加	26.2 %	利幅の縮小	17.1 %
第5位	技術力の不足	15.4 %	利幅の縮小	13.6 %	利幅の縮小	23.8 %	人件費以外の経費の増加	17.1 %
			技術力の不足	13.6 %			合理化の不足	11.4 %
							技術力の不足	11.4 %
							取引先の減少	11.4 %
							為替レートの変動	11.4 %

〈情報通信業〉 重点経営施策 (%)



	R5.1～3月期		R5.4～6月期		R5.7～9月期		R5.10～12月期	
第1位	人材を確保する	66.7 %	人材を確保する	60.0 %	人材を確保する	56.1 %	人材を確保する	71.4 %
第2位	技術力を強化する	51.3 %	技術力を強化する	51.7 %	技術力を強化する	46.3 %	技術力を強化する	40.0 %
第3位	販路を広げる	38.5 %	販路を広げる	45.0 %	販路を広げる	41.5 %	販路を広げる	25.7 %
第4位	新しい事業を始める	25.6 %	新しい事業を始める	30.0 %	新しい事業を始める	22.0 %	提携先を見つける	20.0 %
第5位	提携先を見つける	17.9 %	教育訓練を強化する	20.0 %	経費を節減する	17.1 %	教育訓練を強化する	20.0 %
							経費を節減する	17.1 %

情報通信業 業種別コメント

1. 採用ができない。アウトソーシングの検討。
2. 売上は増えていますが利益が少ない。自社ソフトの値上げ率の失敗。また人手不足。
3. 取引先が固定されている。売上が増える予定はない。新しい事業を始めたいが何をやっていいかわからない。
4. 経費（人件費）の上昇を価格に反映できていない。取引先への説明力が弱い。
5. 資金繰りが苦しく、採用活動にも設備投資もできない。賃上げも苦しいため退職者が出てしまう。
6. 採用が困難なため拡大できない。技術の進化に追いつけず、今後に不安。
7. 慢性的な人手不足になっている。
8. 増収だが減益である。
9. 基本業種が輸入商社のため、円安と値上の影響が非常に大きく利益を圧迫している。
10. 需要は増えているが、慢性的な人手不足になっている。
11. 増収・減益になりそうだが、人件費増加が原因で明確化されており逼迫している状況ではない。
12. 採用難以外、特に問題はない。
13. 退職者の補充がなかなか出来ていない。
14. 吸収合併等により既存の顧客が減少している。
15. 書籍部門で雑誌の休刊が相次ぎ、売上が減少している。

日銀矢野見

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2023年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,738社	5,334社	9,072社	99.3%
うち大企業	956社	850社	1,806社	99.1%
中堅企業	995社	1,536社	2,531社	99.5%
中小企業	1,787社	2,948社	4,735社	99.3%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2022年度			2023年度		
		上期	下期		上期	下期	
円/	2023年9月調査	—	—	—	135.75	135.62	135.88
ドル	2023年12月調査	—	—	—	139.35	138.73	139.97
円/	2023年9月調査	—	—	—	144.62	144.58	144.66
ユーロ	2023年12月調査	—	—	—	148.80	148.57	149.03

[業況判断]

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	2023年9月調査		2023年12月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	9	10	12	3	8	-4
非製造業	27	21	30	3	24	-6
全産業	17	16	21	4	16	-5
中堅企業						
製造業	0	2	5	5	4	-1
非製造業	19	14	20	1	14	-6
全産業	12	9	14	2	10	-4
中小企業						
製造業	-5	-2	1	6	-1	-2
非製造業	12	8	14	2	7	-7
全産業	5	4	9	4	4	-5
全規模合計						
製造業	0	2	5	5	2	-3
非製造業	16	11	18	2	12	-6
全産業	10	8	13	3	8	-5

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2022年度		2023年度	
		修正率		(計画)	修正率
大企業	製造業	11.3	—	3.1	1.0
	国内	9.0	—	3.2	0.8
	輸出	16.1	—	2.9	1.3
	非製造業	10.1	—	1.5	0.0
全産業		10.6	—	2.2	0.4
中堅企業	製造業	8.0	—	2.0	-0.3
	非製造業	7.2	—	3.9	0.7
	全産業	7.4	—	3.4	0.4
中小企業	製造業	6.1	—	2.6	0.5
	非製造業	6.0	—	2.3	1.2
	全産業	6.0	—	2.3	1.1
全規模合計	製造業	9.8	—	2.8	0.7
	非製造業	8.1	—	2.3	0.5
	全産業	8.7	—	2.5	0.6

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2023年9月調査		2023年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」－「供給超過」)	製造業	-21	-20	-20	1	-20	0
	うち素材業種	-24	-24	-23	1	-24	-1
	加工業種	-18	-17	-17	1	-19	-2
	非製造業	-10	-11	-10	0	-11	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」－「供給超過」)	製造業	-15	-15	-17	-2	-17	0
	うち素材業種	-23	-22	-24	-1	-23	1
	加工業種	-11	-10	-13	-2	-13	0
製商品在庫水準判断 (「過大」－「不足」)	製造業	19		17	-2		
	うち素材業種	20		17	-3		
	加工業種	19		16	-3		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」－「不足」)	製造業	17		16	-1		
	うち素材業種	22		17	-5		
	加工業種	14		14	0		
販売価格判断 (「上昇」－「下落」)	製造業	30	30	26	-4	28	2
	うち素材業種	28	29	26	-2	27	1
	加工業種	31	30	25	-6	27	2
	非製造業	27	29	25	-2	29	4
仕入価格判断 (「上昇」－「下落」)	製造業	61	57	56	-5	53	-3
	うち素材業種	54	51	51	-3	49	-2
	加工業種	66	61	60	-6	57	-3
	非製造業	58	56	54	-4	55	1

東京都と品川区の企業倒産動向（令和5年12月）

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和4年12月	令和5年11月	令和5年12月	前月比	前年同月比
件数	90	148	140	▲8	50
金額	226	245	234	▲11	8

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既往のしわ寄せ		販売不振	
20	25.8	1	0.3	11	13.0	20	126.4	86	67.3
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.7

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	9	15	4	19	59	2
卸売業	15	13	22	12	18	12
小売業	11	17	11	145	15	12
サービス業	22	40	37	10	90	102
建設業	8	10	11	6	4	7
不動産業	6	4	6	2	15	8
情報通信業・運輸業	10	24	23	20	16	23
宿泊業・飲食サービス業	5	19	12	8	25	56
その他	4	6	14	5	3	13
合計	90	148	140	226	245	234

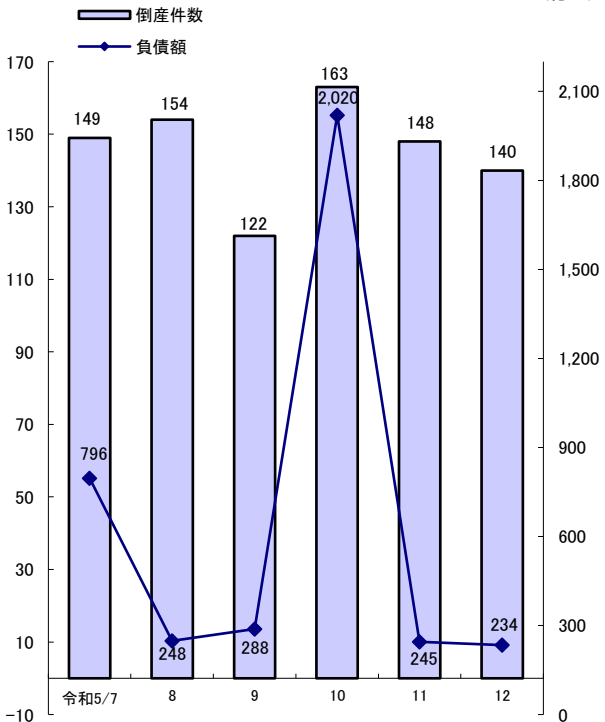
4. 品川区内の令和5年12月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	1件	150百万円
小売業	1件	102百万円
サービス業	1件	10百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	0件	0百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	2件	24百万円
合計	5件	286百万円

(件数)

東京都の倒産概況

(億円)



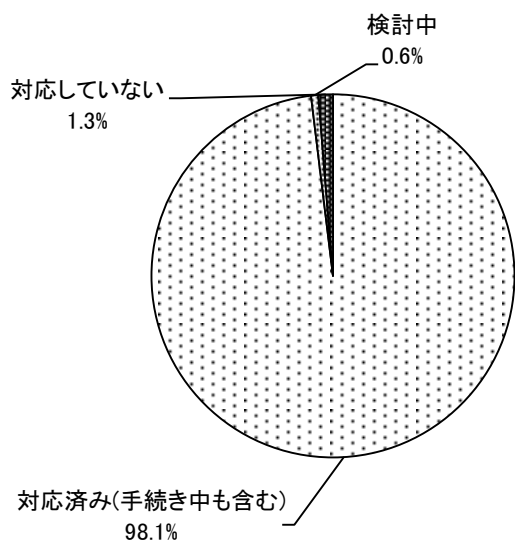
特別調査「インボイス制度に対する現況および円安・物価高騰等の影響について」

- ① インボイス制度への対応状況については、「対応済み(手続き中も含む)」が98.1%で最多
- ② インボイス制度への対応に伴う問題点や課題については、「対応のための業務負担が増えた」が69.8%で最多
- ③ 検討中もしくは対応していない理由や懸念点については、「対応の有無は、自社の事業や売上に影響がない」「取引先から要望がない」が40.0%で最多
- ④ 円安・物価高騰等の影響による貴社の収益の見込みについては、「変わらない」が46.1%で最多
- ⑤ 円安・物価高騰等への対策については、「販売価格への転嫁」が46.2%で最多

問1. インボイス制度への対応状況

インボイス制度への対応状況については、「対応済み(手続き中も含む)」が98.1%、「対応していない」が1.3%、「検討中」が0.6%となっている。

業種別にみると、すべての業種で「対応済み(手続き中も含む)」が9割を超えて最も高くなっている。



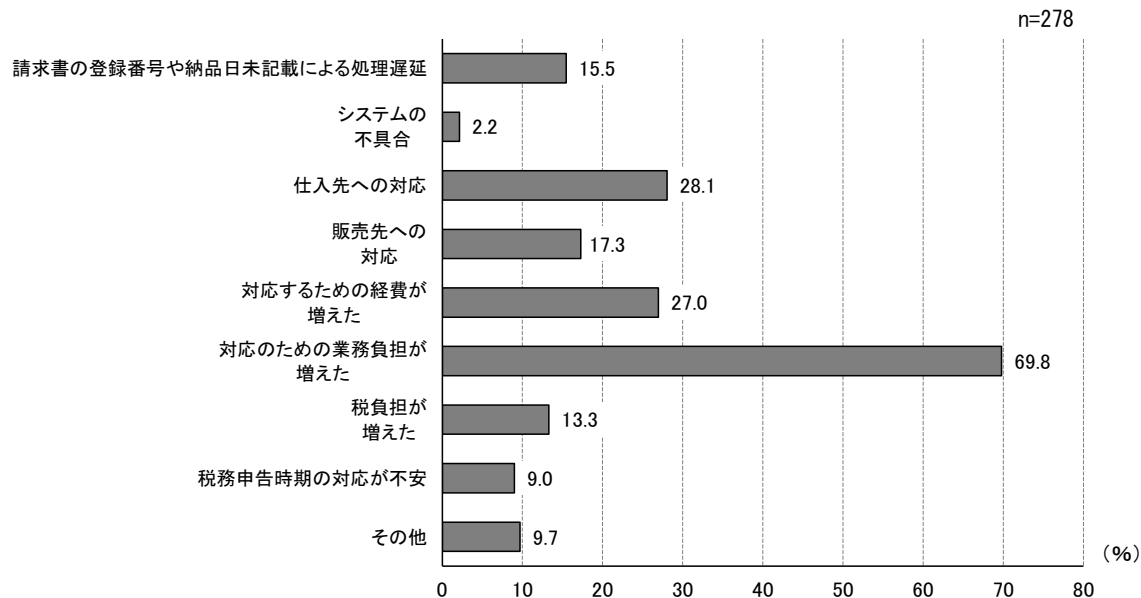
(単位: %)

	対応済み (手続き中も含む)	検討中	対応していない
全 体 (310) 件	98.1	0.6	1.3
製 造 業 (56) 件	100.0	0.0	0.0
卸 売 業 (63) 件	96.8	0.0	3.2
小 売 業 (33) 件	93.9	6.1	0.0
サービス業 (53) 件	100.0	0.0	0.0
建 設 業 (71) 件	100.0	0.0	0.0
情報通信業 (34) 件	94.1	0.0	5.9

問2. インボイス制度への対応に伴う問題点や課題

インボイス制度への対応に伴う問題点や課題については、「対応のための業務負担が増えた」が 69.8%、「仕入先への対応」が 28.1%、「対応するための経費が増えた」が 27.0%となっている。

業種別にみると、すべての業種で「対応のための業務負担が増えた」が5割を超えて最も高くなっている。



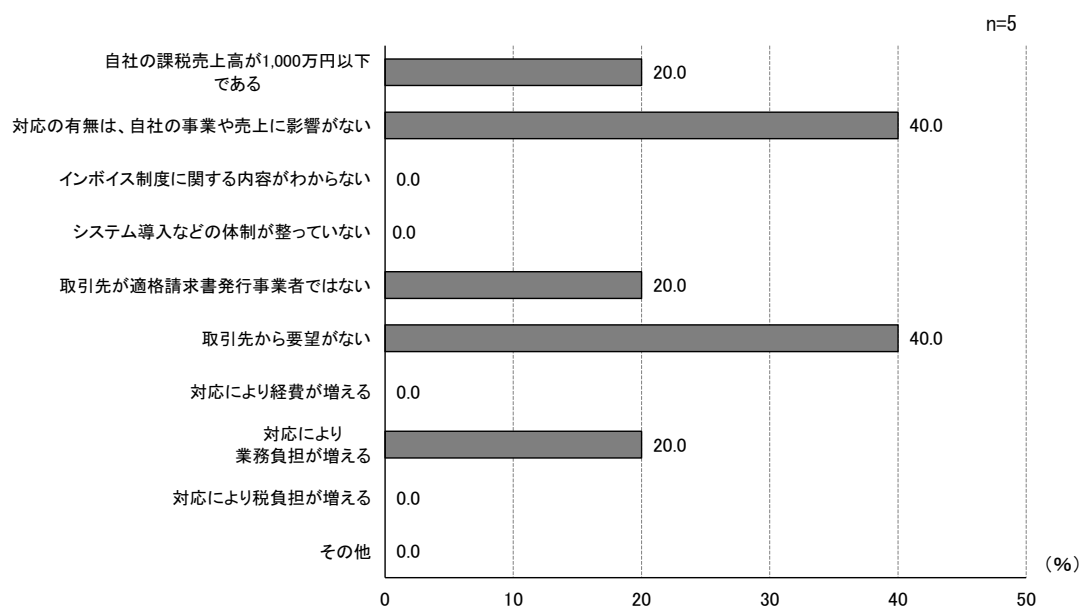
(単位: %)

	請求書の登録番号 や納品日未記載に よる処理遅延	システムの 不具合	仕入先への対応	販売先への 対応	対応するための 経費が増えた	対応のための 業務負担が 増えた	税負担が 増えた	税務申告時期の 対応が不安	その他
全 体 (278) 件	15.5	2.2	28.1	17.3	27.0	69.8	13.3	9.0	9.7
製 造 業 (49) 件	22.4	6.1	26.5	14.3	30.6	77.6	18.4	6.1	8.2
卸 売 業 (55) 件	16.4	1.8	29.1	20.0	25.5	70.9	9.1	9.1	12.7
小 売 業 (29) 件	13.8	0.0	27.6	13.8	31.0	55.2	6.9	10.3	6.9
サービス業 (49) 件	2.0	0.0	24.5	16.3	32.7	85.7	14.3	2.0	6.1
建 設 業 (67) 件	22.4	1.5	29.9	14.9	17.9	58.2	11.9	14.9	11.9
情報通信業 (29) 件	10.3	3.4	31.0	27.6	31.0	69.0	20.7	10.3	10.3

問3. 検討中もしくは対応していない理由や懸念点

検討中もしくは対応していない理由や懸念点については、「対応の有無は、自社の事業や売上に影響がない」「取引先から要望がない」がともに 40.0%と最も高く、「自社の課税売上高が 1,000 万円以下である」「取引先が適格請求書発行事業者ではない」「対応により業務負担が増える」がいずれも 20.0%となった。

業種別では、卸売業では「対応の有無は、自社の事業や売上に影響がない」が、小売業では「対応の有無は、自社の事業や売上に影響がない」「取引先が適格請求書発行事業者ではない」「取引先から要望がない」が、情報通信業では「自社の課税売上高が 1,000 万円以下である」「取引先から要望がない」「対応により業務負担が増える」が示された。



(単位: %)

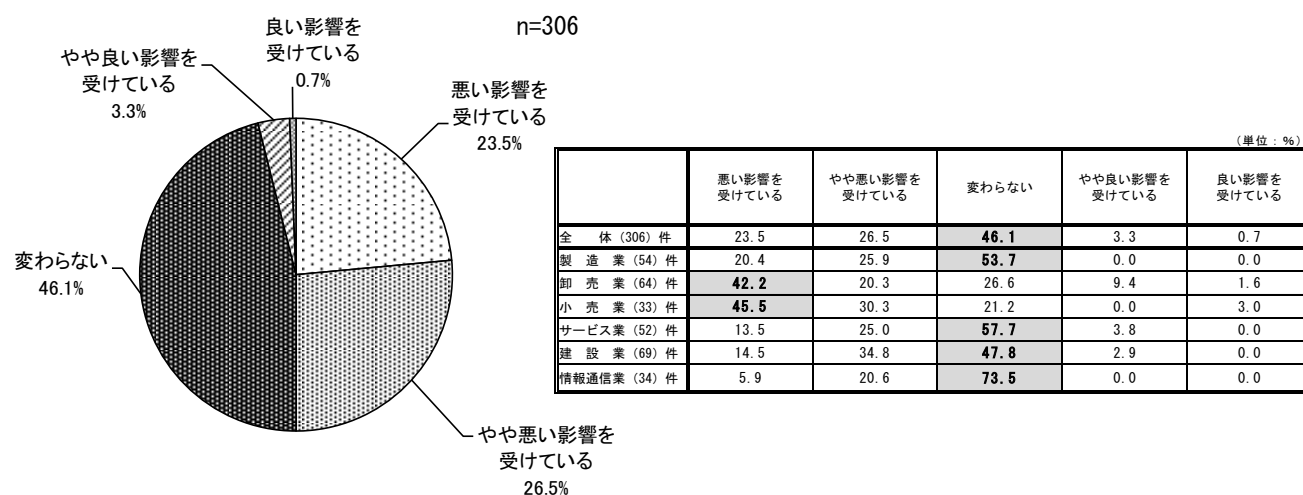
	自社の課税売上高が1,000万円以下である	対応の有無は、自社の事業や売上に影響がない	インボイス制度に関する内容がわからない	システム導入などの体制が整っていない	取引先が適格請求書発行事業者ではない	取引先から要望がない	対応により経費が増える	対応により業務負担が増える	対応により税負担が増える	その他
全 体 (5) 件	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
製 造 業 (0) 件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸 売 業 (1) 件	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小 売 業 (2) 件	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 (0) 件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建 設 業 (0) 件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業 (2) 件	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問4. 円安・物価高騰等の影響

(円安の影響)

円安の影響による貴社の収益の見込みについては、「変わらない」が 46.1%、「やや悪い影響を受けている」が 26.5%、「悪い影響を受けている」が 23.5%となっている。

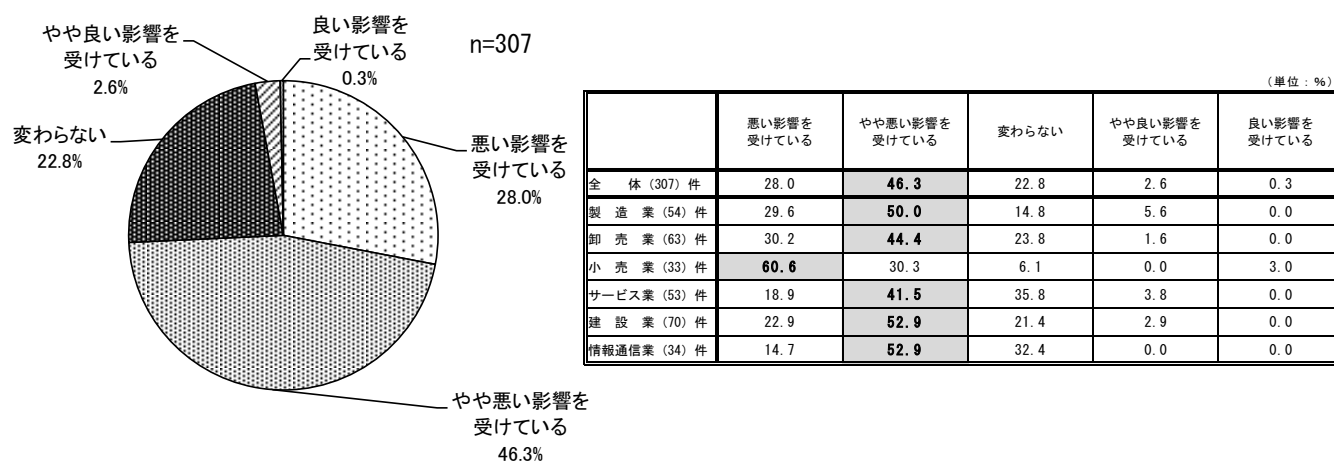
業種別にみると、卸売業、小売業では「悪い影響を受けている」が最も高くなっている。製造業、サービス業、建設業、情報通信業では「変わらない」が最も高くなっている。



(物価高騰等の影響)

物価高騰等の影響による貴社の収益の見込みについては、「やや悪い影響を受けている」が 46.3%、「悪い影響を受けている」が 28.0%、「変わらない」が 22.8%、となっている。

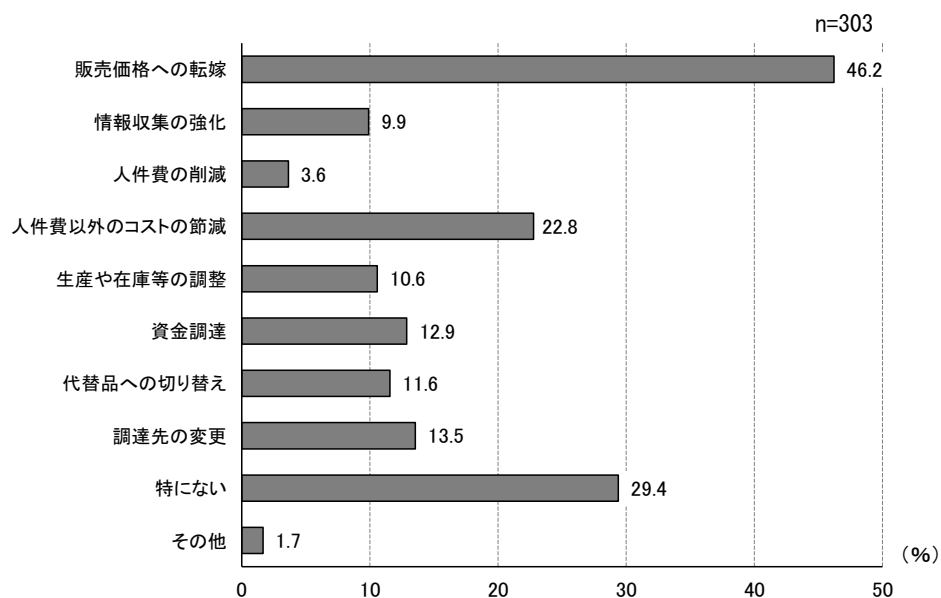
業種別にみると、小売業では「悪い影響を受けている」が最も高くなっている。小売業以外の業種では「やや悪い影響を受けている」が最も高くなっている。



問5. 円安・物価高騰等について行っている対策

円安・物価高騰等への対策については、「販売価格への転嫁」が46.2%、「人件費以外のコストの節減」が22.8%、「調達先の変更」が13.5%となっている。一方で「特にない」は29.4%であった。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業では「販売価格への転嫁」が最も高くなっている。サービス業、建設業、情報通信業では「特にない」が最も高くなっており、次いで「販売価格への転嫁」が高い。



(単位: %)

	販売価格への転嫁	情報収集の強化	人件費の削減	人件費以外のコストの節減	生産や在庫等の調整	資金調達	代替品への切り替え	調達先の変更	特にない	その他
全 体 (303) 件	46.2	9.9	3.6	22.8	10.6	12.9	11.6	13.5	29.4	1.7
製 造 業 (54) 件	46.3	9.3	5.6	25.9	20.4	16.7	18.5	9.3	27.8	5.6
卸 売 業 (63) 件	66.7	11.1	1.6	15.9	19.0	12.7	9.5	11.1	22.2	1.6
小 売 業 (33) 件	72.7	12.1	9.1	27.3	9.1	24.2	21.2	27.3	9.1	0.0
サービス業 (52) 件	34.6	3.8	3.8	23.1	3.8	5.8	3.8	9.6	46.2	0.0
建 設 業 (68) 件	29.4	13.2	2.9	20.6	5.9	11.8	13.2	20.6	30.9	0.0
情報通信業 (33) 件	33.3	9.1	0.0	30.3	0.0	9.1	3.0	3.0	36.4	3.0

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和5年10月～12月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-41	-17	-52	-20	-58	-70
売上額		-32	-31	-27	-25	-46	-39
受注残		-28	-39	-16	-24	-43	-28
収益		-38	-14	-45	-36	-48	-61
販売価格		7	14	0	9	28	-22
原材料価格		59	42	55	55	95	42
原材料在庫		13	29	21	7	4	-5
資金繰り		-20	-7	-13	-20	-41	-21
雇用	残業時間	-15	8	-23	-40	0	-22
	人手	-18	-23	-36	20	-40	0
同期比	売上額	-14	0	-21	20	-30	-44
	収益	-27	0	-29	-10	-50	-56
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	59	39	71	50	67	75
	②原材料高	41	46	29	30	67	38
	③人手不足	24	46	36	0	11	13
	④利幅の縮小	20	15	29	50	0	0
	⑤仕入先からの値上げ要請	20	23	7	30	11	38
重点経営施策	①経費を節減する	46	31	50	40	60	56
	②販路を広げる	39	31	36	40	20	78
	③人材を確保する	34	62	43	10	30	11
	④新製品・技術を開発する	20	31	21	10	10	22
	⑤提携先を見つける	14	8	14	20	30	0
借入の難易度		2	15	0	0	-10	0

[来期の景況見通し]

業況		-46	-21	-68	-44	-51	-56
売上額		-24	-12	-31	-22	-39	-23
受注残		-17	-2	-28	-4	-33	-24
収益		-37	-17	-50	-36	-40	-54
販売価格		-5	-4	-15	-8	13	-18
原材料価格		48	35	41	43	81	34
原材料在庫		11	27	13	1	11	4
資金繰り		-29	0	-31	-38	-52	-20
雇用	残業時間	-16	-8	0	-20	-30	-33
	人手	-14	-15	-29	20	-40	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-8	-29	15	-36
売上額		5	-49	42	-11
収益		-14	-41	13	-35
販売価格		40	21	61	18
仕入価格		72	91	76	54
在庫		6	3	0	18
資金繰り		-16	-24	2	-45
雇用	残業時間	5	-11	19	-11
	人手	-50	-44	-71	0
同期比	売上額	26	-67	71	11
	収益	3	-67	33	0
	販売価格	67	44	91	33
経営上の問題点	①仕入先からの値上げ要請	40	44	55	0
	②人件費の増加	40	22	65	0
	③人手不足	37	11	60	11
	④売上の停滞・減少	32	56	5	67
	⑤利幅の縮小	24	33	15	33
重点経営施策	①経費を節減する	47	44	50	43
	②人材を確保する	44	22	65	14
	③品揃えを改善する	28	33	15	57
	④宣伝・広報を強化する	22	22	25	14
	⑤店舗・設備を改装する	22	11	30	14
借入の難易度		-21	-33	-15	-22

[来期の景況見通し]

業況		0	-23	14	-11
売上額		15	-55	48	17
収益		3	-56	36	4
販売価格		36	36	43	23
仕入価格		64	83	68	39
在庫		4	1	1	10
資金繰り		-9	-22	10	-36
雇用	残業時間	3	-22	14	0
	人手	-44	-22	-67	-11

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4 1～3月期		R4 4～6月期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		対 前期比	R6 1～3月期
項目																			
業況	良い	18.9	8.7	11.0	8.1	13.9	16.3	9.9	14.3	15.8	8.8	14.8	14.5	9.1	14.0	14.3	9.1		10.4
	普通	23.0	26.1	24.4	36.5	27.8	26.3	35.8	30.0	22.4	36.3	34.1	28.9	33.3	33.7	28.6	40.9		31.2
	悪い	58.1	65.2	64.6	55.4	58.3	57.5	54.3	55.7	61.8	55.0	51.1	56.6	57.6	52.3	57.1	50.0		58.4
	D・I	-39.2	-56.5	-53.7	-47.3	-44.4	-41.3	-44.4	-41.4	-46.1	-46.3	-36.4	-42.1	-48.5	-38.4	-42.9	-40.9		-48.1
	修正値	-46.5	-57.5	-48.2	-48.8	-31.0	-31.7	-44.6	-38.2	-52.3	-44.9	-30.8	-43.9	-37.6	-33.1	-40.9	-38.2	-3.0	-45.9
	傾向値	-54.0		-52.4		-50.3		-47.3		-46.3		-45.0		-43.3		-43.6			
売上額	増加	23.6	19.4	14.6	8.2	19.4	25.9	19.8	18.6	13.2	18.8	17.0	13.2	14.9	21.8	26.0	22.4		23.4
	変らず	22.2	22.2	28.0	39.7	31.9	34.6	33.3	30.0	28.9	32.5	31.8	42.1	34.3	34.5	27.3	37.3		29.9
	減少	54.2	58.3	57.3	52.1	48.6	39.5	46.9	51.4	57.9	48.8	51.1	44.7	50.7	43.7	46.8	40.3		46.8
	D・I	-30.6	-38.9	-42.7	-43.8	-29.2	-13.6	-27.2	-32.9	-44.7	-30.0	-34.1	-31.6	-35.8	-21.8	-20.8	-17.9		-23.4
	修正値	-34.6	-40.7	-29.6	-39.3	-17.3	-6.3	-37.3	-36.5	-46.7	-28.5	-22.0	-26.5	-26.1	-20.7	-32.1	-23.5	-6.0	-23.6
	傾向値	-42.0		-40.7		-37.7		-34.0		-34.2		-34.9		-34.6		-34.7			
受注残	増加	12.5	11.3	15.9	9.6	20.8	17.3	15.2	18.6	14.5	9.1	13.8	17.1	7.5	11.5	20.8	11.9		20.8
	変らず	38.9	43.7	36.6	43.8	38.9	38.3	46.8	35.7	40.8	42.9	39.1	42.1	56.7	42.5	37.7	49.3		40.3
	減少	48.6	45.1	47.6	46.6	40.3	44.4	38.0	45.7	44.7	48.1	47.1	40.8	35.8	46.0	41.6	38.8		39.0
	D・I	-36.1	-33.8	-31.7	-37.0	-19.4	-27.2	-22.8	-27.1	-30.3	-39.0	-33.3	-23.7	-28.4	-34.5	-20.8	-26.9		-18.2
	修正値	-40.1	-32.4	-27.1	-37.2	-10.5	-22.1	-27.0	-29.3	-32.2	-34.4	-28.4	-23.9	-21.8	-31.5	-28.4	-30.0	-7.0	-17.0
	傾向値	-40.6		-39.6		-34.2		-28.7		-26.8		-26.3		-27.6		-28.4			
収益	増加	18.9	18.1	15.9	5.5	15.3	17.3	19.8	14.3	14.5	12.8	18.2	7.9	10.4	17.2	20.8	11.9		18.2
	変らず	29.7	25.0	19.5	39.7	26.4	32.1	29.6	25.7	21.1	34.6	34.1	40.8	32.8	37.9	28.6	46.3		28.6
	減少	51.4	56.9	64.6	54.8	58.3	50.6	50.6	60.0	64.5	52.6	47.7	51.3	56.7	44.8	50.6	41.8		53.2
	D・I	-32.4	-38.9	-48.8	-49.3	-43.1	-33.3	-30.9	-45.7	-50.0	-39.7	-29.5	-43.4	-46.3	-27.6	-29.9	-29.9		-35.1
	修正値	-38.8	-41.3	-36.2	-45.8	-30.5	-23.7	-40.3	-47.7	-53.2	-41.9	-20.1	-39.3	-35.4	-24.2	-38.4	-32.6	-3.0	-36.8
	傾向値	-42.8		-41.5		-40.9		-39.4		-41.0		-40.8		-38.8		-39.0			
価格動向	販売価格	0.0	-9.9	3.7	8.1	16.7	13.6	19.8	7.1	21.3	14.3	19.3	10.7	6.0	17.2	13.0	1.5		-5.2
	修正値	-2.0	-10.3	4.3	3.3	15.5	12.9	12.0	6.4	18.1	11.7	19.7	6.0	6.4	15.2	7.4	3.8	1.0	-4.6
	傾向値	-14.3		-7.8		-0.8		6.7		12.7		17.3		17.9		15.7			
	原材料価格	64.9	65.3	87.8	73.0	80.6	80.2	83.8	72.9	81.6	69.2	68.2	60.5	56.7	60.9	61.0	50.7		44.2
	修正値	58.2	69.8	80.4	67.6	78.5	73.7	81.2	65.7	77.4	73.1	66.3	59.1	58.6	58.8	58.5	48.7	0.0	47.8
在庫・資金繰り	傾向値	53.6		63.6		72.8		77.8		81.3		81.0		75.5		69.7			
	原材料在庫数量	-2.7	-8.5	2.4	-9.6	2.8	-1.2	7.6	4.3	2.6	6.4	9.1	6.6	13.4	11.5	11.8	13.4		10.5
	修正値	-1.1	-6.7	1.9	-9.9	1.1	-1.1	8.6	4.2	3.9	6.3	8.5	6.1	11.2	11.6	12.5	11.6	1.0	10.8
	資金繰り	-27.4	-37.5	-28.0	-31.5	-36.1	-22.2	-34.6	-35.2	-40.8	-38.0	-20.5	-25.0	-31.3	-28.7	-18.2	-28.4		-28.6
	修正値	-31.0	-39.7	-24.5	-34.1	-32.3	-17.7	-33.6	-31.3	-42.2	-38.8	-18.3	-27.9	-28.7	-25.1	-19.6	-26.7	9.0	-28.5
前年同期比	売上額	-25.4		-34.1		-35.2		-36.7		-24.6		-4.9		-36.0		-14.3			
	収益	-31.7		-43.9		-45.1		-45.9		-45.9		-18.3		-39.2		-26.8			
雇用	残業時間	-11.7	-10.6	-27.2	-33.3	-12.5	-18.8	-23.3	-8.5	-16.4	-6.9	-19.5	-23.0	-17.6	-12.3	-14.5	-2.0		-16.1
	人手	1.7	-6.1	-7.4	15.0	-2.8	-10.0	5.1	-4.2	0.0	3.4	-23.2	3.3	-9.6	-23.5	-17.9	-21.2		-14.3
借入金	借入難易度	1.6		1.2		-1.4		-11.7		-10.2		-3.7		-2.0		1.8			
	借入をした(%)	27.0	17.2	24.7	18.3	31.8	24.4	29.8	16.7	30.4	15.4	20.7	26.3	19.2	18.5	28.6	13.7		24.1
	借入をしない(%)	73.0	82.8	75.3	81.7	68.2	75.6	70.2	83.3	69.6	84.6	79.3	73.7	80.8	81.5	71.4	86.3		75.9
有効回答事業所数		74		83		72		81		76		88		67		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-24.2	-14.1	-7.4	-21.0	-12.9	-8.8	-10.0	-14.9	5.1	-5.1	-13.6	5.2	-3.9	-11.3	-20.0	-11.8		-18.2
	実施した	25.8	26.2	29.1	29.5	30.6	30.9	36.1	31.9	27.1	31.0	40.3	30.5	30.0	35.1	32.7	42.9		32.7
	事業用地・建物	1.6	4.6	3.8	1.6	2.8	3.7	4.9	1.4	3.4	6.9	3.9	5.1	0.0	7.8	3.6	4.1		5.8
	機械・設備の新・増設	12.9	9.2	15.2	13.1	12.5	12.3	13.1	8.7	10.2	6.9	11.7	16.9	10.0	10.4	9.1	12.2		17.3
	機械・設備の更改	4.8	10.8	10.1	9.8	9.7	16.0	23.0	13.0	11.9	13.8	16.9	8.5	16.0	14.3	10.9	16.3		9.6
	事務機器	11.3	9.2	11.4	9.8	12.5	8.6	11.5	14.5	11.9	10.3	19.5	8.5	12.0	7.8	14.5	12.2		9.6
	車両	12.9	7.7	2.5	11.5	8.3	2.5	4.9	10.1	3.4	6.9	11.7	8.5	4.0	9.1	9.1	14.3		5.8
	その他	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.7	3.4	0.0	1.7	2.0	0.0	5.5	0.0		3.8
	実施しない	74.2	73.8	70.9	70.5	69.4	69.1	63.9	68.1	72.9	69.0	59.7	69.5	70.0	64.9	67.3	57.1		67.3
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	68.3		60.5		54.2		58.9		53.6		48.1		62.0		59.3			
	人手不足	11.7		13.2		13.9		12.5		17.9		22.8		16.0		24.1			
	大手企業との競争の激化	0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0			
	同業者間の競争の激化	5.0		5.3		1.4		3.6		3.6		8.9		2.0		0.0			
	親企業による選別の強化	3.3		0.0		1.4		1.8		0.0		2.5		0.0		3.7			
	輸入製品との競争の激化	1.7		0.0		0.0		1.8		1.8		0.0		2.0		0.0			
	合理化の不足	5.0		7.9		4.2		1.8		0.0		6.3		6.0		1.9			
	利幅の縮小	13.3		10.5		15.3		14.3		14.3		16.5		14.0		20.4			
	原材料高	51.7		63.2		51.4		44.6		48.2		51.9		44.0		40.7			
	販売納入先からの値下げ要請	1.7		2.6		1.4		1.8		0.0		5.1		2.0		3.7			
	仕入先からの値上げ要請	25.0		30.3		27.8		21.4		37.5		24.1		20.0		20.4			
	人件費の増加	5.0		3.9		9.7		8.9		12.5		7.6		18.0		11.1			
	人件費以外の経費増加	13.3		11.8		12.5		14.3		10.7		12.7		10.0		18.5			
	工場・機械の狭小・老朽化	13.3		13.2		18.1		26.8		12.5		20.3		16.0		18.5			
	生産能力の不足	5.0		7.9		6.9		12.5		8.9		8.9		6.0		11.1			
	下請の確保難	0.0		2.6		6.9		1.8		1.8		7.6		6.0		5.6			
	代金回収の悪化	0.0		1.3		0.0		1.8		1.8		1.3		0.0		0.0			
	地価の高騰	0.0		0.0		1.4		1.8		1.8		1.3		2.0		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	0.0		1.3		4.2		7.1		1.8		1.3		2.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.7		2.6		4.2		3.6		1.8		2.5		8.0		0.0			
	為替レートの変動	1.7		3.9		4.2		7.1		5.4		2.5		4.0		3.7			
	その他	3.3		10.5		6.9		1.8		0.0		5.1		2.0		0.0			
	問題なし	3.3		0.0		2.8		1.8		5.4		2.5		4.0		3.7			
重点経営施策（％）	販路を広げる	48.3		52.6		57.4		62.1		49.1		49.4		48.0		39.3			
	経費を節減する	50.0		40.8		38.2		48.3		40.4		41.8		38.0		46.4			
	情報力を強化する	23.3		13.2		23.5		31.0		21.1		21.5		20.0		8.9			
	新製品・技術を開発する	21.7		25.0		19.1		29.3		28.1		21.5		16.0		19.6			
	不採算部門を整理・縮小する	0.0		6.6		5.9		5.2		5.3		10.1		8.0		5.4			
	提携先を見つける	13.3		10.5		7.4		10.3		8.8		11.4		10.0		14.3			
	機械化を推進する	10.0		10.5		4.4		3.4		7.0		10.1		8.0		8.9			
	人材を確保する	18.3		19.7		25.0		13.8		26.3		30.4		24.0		33.9			
	パート化を図る	3.3		3.9		2.9		0.0		1.8		0.0		0.0		3.6			
	教育訓練を強化する	16.7		13.2		8.8		10.3		12.3		12.7		14.0		12.5			
	労働条件を改善する	8.3		3.9		5.9		3.4		3.5		5.1		10.0		7.1			
	工場・機械を増設・移転する	6.7		7.9		8.8		8.6		10.5		11.4		12.0		8.9			
	不動産の有効活用を図る	5.0		3.9		5.9		3.4		5.3		1.3		6.0		3.6			
	その他	1.7		1.3		1.5		3.4		1.8		1.3		2.0		0.0			
	特になし	5.0		6.6		8.8		3.4		8.8		7.6		8.0		5.4			
有効回答事業所数		74		83		72		81		76		88		67		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
業況	良い	8.2	10.1	11.7	12.2	17.3	12.9	20.0	12.2	18.8	16.4	23.9	16.5	21.3	21.8	29.6	17.7		23.6
	普通	17.8	32.9	24.5	28.4	22.7	28.0	28.0	27.0	33.8	31.5	29.5	38.0	31.3	43.7	31.0	39.2		41.7
	悪い	74.0	57.0	63.8	59.5	60.0	59.1	52.0	60.8	47.5	52.1	46.6	45.6	47.5	34.5	39.4	43.0		34.7
	D・I	-65.8	-46.8	-52.1	-47.3	-42.7	-46.2	-32.0	-48.6	-28.8	-35.6	-22.7	-29.1	-26.3	-12.6	-9.9	-25.3		-11.1
	修正値	-58.7	-45.5	-49.7	-38.4	-43.4	-43.8	-38.9	-50.1	-18.9	-38.5	-22.7	-21.9	-28.3	-14.1	-18.8	-26.1	9.0	-19.2
	傾向値	-51.9		-53.8		-54.5		-50.9		-43.5		-35.2		-29.5		-24.7			
売上額	増加	17.6	19.2	30.9	24.7	27.6	30.1	33.3	26.7	26.3	24.7	35.2	22.5	28.8	41.4	39.7	24.4		31.9
	変らず	16.2	33.3	13.8	32.9	28.9	26.9	32.0	29.3	28.8	35.6	25.0	38.8	32.5	31.0	23.3	38.5		20.8
	減少	66.2	47.4	55.3	42.5	43.4	43.0	34.7	44.0	45.0	39.7	39.8	38.8	38.8	27.6	37.0	37.2		47.2
	D・I	-48.6	-28.2	-24.5	-17.8	-15.8	-12.9	-1.3	-17.3	-18.8	-15.1	-4.5	-16.3	-10.0	13.8	2.7	-12.8		-15.3
	修正値	-42.6	-22.2	-19.8	-12.2	-15.3	-16.5	-15.4	-21.9	-9.4	-10.6	-1.8	-12.3	-10.6	6.4	-11.2	-14.7	-1.0	-13.3
	傾向値	-34.4		-35.1		-33.0		-26.2		-18.8		-12.6		-9.4		-8.1			
収益	増加	13.5	21.8	24.5	17.6	19.7	23.7	29.3	20.0	18.8	21.9	23.9	16.3	23.8	31.0	28.8	22.8		25.0
	変らず	18.9	25.6	21.3	32.4	27.6	30.1	29.3	33.3	36.3	34.2	25.0	42.5	37.5	26.4	31.5	38.0		27.8
	減少	67.6	52.6	54.3	50.0	52.6	46.2	41.3	46.7	45.0	43.8	51.1	41.3	38.8	42.5	39.7	39.2		47.2
	D・I	-54.1	-30.8	-29.8	-32.4	-32.9	-22.6	-12.0	-26.7	-26.3	-21.9	-27.3	-25.0	-15.0	-11.5	-11.0	-16.5		-22.2
	修正値	-46.4	-25.2	-27.9	-27.7	-31.1	-26.0	-25.3	-28.8	-15.3	-18.9	-25.9	-20.9	-13.4	-14.6	-24.0	-17.9	-11.0	-22.6
	傾向値	-38.6		-40.2		-39.6		-34.9		-28.7		-24.9		-22.4		-20.0			
価格動向	販売価格	18.7	6.3	38.3	33.8	43.4	40.4	36.0	45.3	27.8	15.1	38.6	13.9	20.0	31.0	37.0	11.4		24.7
	// 修正値	14.6	5.7	34.6	24.2	36.7	37.8	34.4	40.6	26.6	20.6	33.4	9.7	16.6	26.5	33.6	8.2	17.0	27.8
	// 傾向値	6.5		14.3		23.3		31.2		35.2		36.4		33.5		30.7			
	仕入価格	58.7	50.6	77.7	68.0	80.3	76.3	69.3	77.3	67.5	53.4	69.3	55.0	52.5	62.1	60.3	53.2		41.7
	// 修正値	57.9	49.8	68.7	60.9	72.8	72.9	68.0	70.7	68.7	55.0	64.4	50.8	48.3	60.0	59.6	49.9	11.0	45.0
	// 傾向値	43.0		53.1		63.3		69.9		72.6		72.6		68.1		63.5			
在庫・資金繰り	在庫数量	8.2	6.4	9.6	5.4	9.2	4.3	5.4	9.3	6.3	8.3	6.8	1.3	16.3	5.7	11.1	11.4		4.2
	// 修正値	6.1	5.6	8.3	6.6	8.5	3.4	9.6	8.7	5.7	8.0	5.9	4.1	15.0	4.7	15.3	10.0	0.0	4.1
	資金繰り	-40.0	-29.1	-20.2	-26.7	-13.3	-17.0	-20.0	-20.0	-5.0	-10.8	-20.5	-15.0	-20.0	-20.7	-12.3	-12.7		-11.0
	// 修正値	-37.8	-32.1	-17.5	-26.1	-11.4	-13.9	-23.4	-15.8	-4.4	-17.0	-16.2	-14.5	-19.3	-15.6	-14.9	-9.9	4.0	-16.2
前年同期比	売上額	-44.0		-8.7		-18.7		0.0		-16.9		4.8		0.0		9.1			
	収益	-48.0		-25.8		-36.0		-25.7		-18.1		-20.5		-24.3		-9.1			
	販売価格	22.7		53.3		43.4		50.0		55.6		53.0		35.7		60.6			
雇用	残業時間	-2.7	-3.8	-21.3	0.0	-6.8	-10.6	6.8	0.0	-7.1	1.4	7.2	-14.3	1.4	3.7	3.0	-5.8		-6.1
	人手	-13.5	-16.5	-19.1	-13.5	-15.8	-17.0	-32.0	-21.1	-26.4	-27.0	-20.5	-27.8	-31.0	-23.2	-22.4	-28.6		-16.4
借入金	借入難易度	-10.8		-2.2		3.9		-5.6		-8.6		-8.5		-4.2		-6.0			
	借入をした(%)	31.1	18.4	30.9	24.3	33.3	26.6	31.9	17.3	27.5	24.7	31.7	17.9	21.7	24.7	32.3	17.4		21.2
	借入をしない(%)	68.9	81.6	69.1	75.7	66.7	73.4	68.1	82.7	72.5	75.3	68.3	82.1	78.3	75.3	67.7	82.6		78.8
有効回答事業所数		76		94		76		75		80		88		80		73			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-4.1	-12.0	-8.6	-2.8	-8.5	-10.8	-14.7	-4.2	-10.1	-14.9	-10.1	-13.0	-10.0	-10.1	-7.6	-11.6		-6.1
	実施した	35.2	34.2	30.1	25.0	27.4	27.5	29.2	27.8	38.0	37.5	33.3	35.8	38.6	35.1	35.4	37.9		33.3
	事業用地・建物	1.4	4.1	0.0	0.0	5.5	1.1	2.8	4.2	2.8	2.8	2.5	1.5	1.4	1.3	3.1	4.5		3.2
	機械・設備の新・増設	2.8	4.1	4.3	2.8	0.0	6.6	6.9	4.2	9.9	8.3	7.4	4.5	8.6	7.8	7.7	7.6		7.9
	機械・設備の更改	7.0	11.0	3.2	4.2	6.8	6.6	6.9	4.2	4.2	8.3	3.7	6.0	4.3	3.9	4.6	4.5		3.2
	事務機器	21.1	16.4	20.4	19.4	17.8	14.3	15.3	9.7	22.5	19.4	14.8	26.9	27.1	18.2	21.5	16.7		17.5
	車両	11.3	9.6	11.8	8.3	5.5	7.7	6.9	9.7	9.9	9.7	7.4	4.5	10.0	11.7	9.2	12.1		12.7
	その他	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	4.4	2.8	1.4	0.0	5.6	3.7	4.5	1.4	1.3	3.1	3.0		1.6
	実施しない	64.8	65.8	69.9	75.0	72.6	72.5	70.8	72.2	62.0	62.5	66.7	64.2	61.4	64.9	64.6	62.1		66.7
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	67.6		59.3		62.9		42.3		59.2		48.1		47.8		36.5			
	人手不足	8.1		11.6		11.4		18.3		16.9		21.0		19.4		23.8			
	同業者間の競争の激化	23.0		15.1		8.6		15.5		11.3		13.6		14.9		11.1			
	輸入製品との競争の激化	0.0		3.5		7.1		2.8		4.2		3.7		1.5		1.6			
	流通経路の変化による競争の激化	2.7		3.5		5.7		7.0		1.4		0.0		3.0		3.2			
	合理化の不足	2.7		1.2		2.9		1.4		2.8		1.2		6.0		4.8			
	小口注文・多頻度配送の増加	8.1		2.3		2.9		8.5		8.5		9.9		6.0		7.9			
	利幅の縮小	29.7		26.7		30.0		33.8		28.2		24.7		26.9		31.7			
	取扱商品の陳腐化	6.8		5.8		5.7		2.8		7.0		8.6		6.0		7.9			
	販売商品の不足	4.1		9.3		11.4		8.5		7.0		8.6		4.5		4.8			
	販売納入先からの値下げ要請	1.4		3.5		1.4		2.8		2.8		1.2		0.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	36.5		39.5		42.9		33.8		29.6		34.6		35.8		15.9			
	人件費の増加	8.1		5.8		2.9		7.0		12.7		14.8		9.0		14.3			
	人件費以外の経費の増加	9.5		4.7		4.3		5.6		9.9		11.1		10.4		12.7			
	取引先の減少	18.9		11.6		11.4		14.1		19.7		13.6		11.9		9.5			
	店舗の狭小・老朽化	0.0		1.2		0.0		0.0		1.4		2.5		4.5		4.8			
	代金回収の悪化	4.1		1.2		0.0		4.2		2.8		2.5		3.0		6.3			
	地価の高騰	1.4		1.2		1.4		1.4		1.4		2.5		3.0		3.2			
	駐車場の確保難	1.4		2.3		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		3.2			
	天候の不順	0.0		1.2		2.9		0.0		1.4		2.5		3.0		3.2			
	地場産業の衰退	1.4		1.2		2.9		1.4		1.4		0.0		0.0		3.2			
	為替レートの変動	18.9		32.6		31.4		26.8		18.3		28.4		40.3		34.9			
	大手企業・工場の縮小・撤退	4.1		5.8		4.3		4.2		2.8		2.5		4.5		4.8			
	その他	6.8		2.3		1.4		4.2		2.8		6.2		4.5		3.2			
	問題なし	4.1		3.5		2.9		4.2		1.4		0.0		1.5		3.2			
重点経営施策（％）	販路を広げる	64.9		63.4		66.7		57.5		72.5		59.5		57.1		47.8			
	経費を削減する	40.5		44.1		50.0		34.2		42.0		39.2		42.9		34.3			
	品揃えを充実する	20.3		15.1		16.7		15.1		20.3		11.4		8.6		14.9			
	情報力を強化する	27.0		33.3		31.9		26.0		29.0		31.6		35.7		34.3			
	新しい事業を始める	17.6		16.1		12.5		17.8		14.5		19.0		17.1		17.9			
	提携先を見つける	14.9		10.8		5.6		12.3		10.1		10.1		8.6		6.0			
	機械化を推進する	2.7		2.2		0.0		0.0		0.0		3.8		5.7		0.0			
	人材を確保する	17.6		14.0		19.4		30.1		18.8		26.6		24.3		25.4			
	パート化を図る	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5			
	教育訓練を強化する	9.5		7.5		6.9		8.2		7.2		5.1		12.9		14.9			
	流通経路の見直しをする	6.8		4.3		4.2		2.7		4.3		3.8		7.1		4.5			
	取引先を支援する	5.4		1.1		0.0		4.1		1.4		5.1		2.9		6.0			
	輸入品の取扱いを増やす	4.1		1.1		1.4		2.7		2.9		1.3		1.4		10.4			
	労働条件を改善する	2.7		2.2		1.4		4.1		8.7		8.9		4.3		3.0			
	不動産の有効活用を図る	2.7		2.2		1.4		1.4		4.3		3.8		4.3		1.5			
	その他	1.4		3.2		4.2		4.1		2.9		0.0		0.0		0.0			
	特になし	5.4		7.5		5.6		8.2		4.3		6.3		4.3		6.0			
有効回答事業所数		76		94		76		75		80		88		80		73			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
業況	良い	1.5	13.6	17.6	19.1	5.7	18.8	36.4	13.0	29.2	27.3	46.4	34.7	32.5	31.3	47.7	40.3		34.4
	普通	22.1	24.2	29.4	20.6	27.1	29.4	20.8	30.4	22.2	24.7	28.6	29.2	35.1	45.8	24.6	39.0		34.4
	悪い	76.5	62.1	52.9	60.3	67.1	51.8	42.9	56.5	48.6	48.1	25.0	36.1	32.5	22.9	27.7	20.8		31.3
	D・I	-75.0	-48.5	-35.3	-41.2	-61.4	-32.9	-6.5	-43.5	-19.4	-20.8	21.4	-1.4	0.0	8.4	20.0	19.5		3.1
	修正値	-71.8	-48.3	-32.3	-37.2	-55.6	-29.5	-28.6	-45.6	-9.8	-23.0	9.3	0.5	7.0	2.5	-7.6	8.5	-15.0	-0.4
	傾向値	-61.0		-57.9		-52.4		-48.0		-37.6		-23.6		-8.8		2.2			
売上額	増加	8.8	6.1	41.7	35.3	22.9	33.3	57.1	37.1	38.9	27.3	56.0	51.4	40.3	38.6	63.1	58.4		34.4
	変らず	17.6	36.4	26.2	26.5	31.4	28.6	19.5	35.7	18.1	28.6	27.4	20.8	24.7	36.1	13.8	26.0		23.4
	減少	73.5	57.6	32.1	38.2	45.7	38.1	23.4	27.1	43.1	44.2	16.7	27.8	35.1	25.3	23.1	15.6		42.2
	D・I	-64.7	-51.5	9.5	-2.9	-22.9	-4.8	33.8	10.0	-4.2	-16.9	39.3	23.6	5.2	13.3	40.0	42.9		-7.8
	修正値	-50.0	-41.5	4.3	-4.0	-23.9	-3.2	-2.2	-9.6	30.1	0.9	27.2	24.1	6.4	10.4	4.5	12.2	-2.0	14.6
	傾向値	-50.0		-41.0		-26.7		-16.2		-3.5		7.8		15.0		19.3			
収益	増加	1.5	1.5	31.8	17.9	17.1	28.2	50.6	25.7	27.8	23.4	45.2	40.3	27.3	34.9	46.9	46.8		27.0
	変らず	25.0	39.4	37.6	35.8	40.0	29.4	24.7	41.4	29.2	28.6	34.5	27.8	31.2	37.3	20.3	31.2		28.6
	減少	73.5	59.1	30.6	46.3	42.9	42.4	24.7	32.9	43.1	48.1	20.2	31.9	41.6	27.7	32.8	22.1		44.4
	D・I	-72.1	-57.6	1.2	-28.4	-25.7	-14.1	26.0	-7.1	-15.3	-24.7	25.0	8.3	-14.3	7.2	14.1	24.7		-17.5
	修正値	-56.7	-48.0	-5.7	-26.8	-30.3	-14.0	-8.0	-23.0	27.5	-9.4	12.3	11.5	-16.4	2.8	-13.9	-1.1	3.0	3.1
	傾向値	-50.8		-42.6		-30.7		-22.2		-10.6		-0.5		3.9		3.9			
価格動向	販売価格	7.4	0.0	31.8	13.4	31.4	34.1	57.1	42.9	36.1	28.6	45.2	40.3	48.1	24.1	53.8	37.7		33.8
	修正値	8.7	0.4	27.8	6.6	26.0	34.0	43.7	32.7	40.2	30.5	40.2	35.3	43.0	24.9	39.6	27.1	-3.0	35.6
	傾向値	-7.4		0.9		12.4		25.3		35.5		40.8		44.6		46.2			
	仕入価格	64.7	43.9	82.4	59.7	74.3	80.0	83.1	71.4	77.8	51.3	89.3	73.6	84.4	77.1	78.5	76.6		56.9
	修正値	65.3	41.9	72.4	61.5	72.9	70.7	76.0	62.9	78.9	54.7	78.9	74.0	81.8	65.8	72.4	66.9	-9.0	63.5
	傾向値	34.3		49.1		62.8		73.0		77.7		80.2		82.4		83.1			
在庫・資金繰り	在庫数量	1.5	9.1	10.6	0.0	12.9	4.7	18.7	4.3	11.1	13.3	10.7	9.7	7.8	3.6	9.2	7.8		6.2
	修正値	3.9	7.8	8.7	0.4	14.7	4.5	14.3	6.2	14.1	10.2	9.6	10.1	10.8	3.5	5.5	9.1	-5.0	4.0
	資金繰り	-32.4	-35.8	-14.1	-29.4	-14.3	-20.0	-11.7	-15.7	-11.1	-10.4	-11.9	-5.6	-14.3	-14.5	-13.8	-9.1		-9.2
前年同期比	修正値	-25.1	-34.7	-16.8	-25.5	-16.4	-21.0	-15.1	-19.6	-1.3	-10.3	-14.2	0.4	-18.4	-14.9	-16.2	-15.1	2.0	-9.4
	売上額	-63.2		15.2		-2.3		20.9		17.5		42.0		36.4		25.6			
	収益	-62.2		0.0		-31.8		0.0		10.0		18.0		2.3		2.6			
雇用	販売価格	-8.1		41.3		50.0		53.7		45.0		58.0		61.4		66.7			
	残業時間	-24.3	-13.2	4.3	-8.1	-2.3	0.0	9.8	9.3	2.5	0.0	8.2	5.0	-2.3	6.3	5.1	2.3		2.6
	人手	-24.3	-30.8	-39.6	-27.0	-35.6	-41.7	-42.9	-34.1	-37.5	-36.6	-50.0	-37.5	-54.5	-46.9	-50.0	-54.5		-43.6
借入金	借入難易度	-16.2		-8.9		-13.3		-10.3		-7.7		-22.4		-17.5		-21.1			
	借入をした(%)	21.6	24.3	17.0	9.1	18.6	15.6	41.9	18.2	42.5	13.5	34.7	15.8	18.2	15.2	21.1	12.2		14.3
	借入をしない(%)	78.4	75.7	83.0	90.9	81.4	84.4	58.1	81.8	57.5	86.5	65.3	84.2	81.8	84.8	78.9	87.8		85.7
有効回答事業所数		68		85		70		77		72		84		77		65			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-13.5	-13.5	-12.8	-13.5	-6.8	-4.3	-4.7	-12.8	-9.5	-14.3	-10.3	-11.4	-16.7	-18.4	-11.4			-21.1
	実施した	27.8	29.7	42.6	28.6	40.5	43.2	35.9	48.7	43.6	30.8	41.7	36.8	39.5	40.4	51.3	30.8		42.9
	事業用地・建物	0.0	8.1	4.3	5.7	2.4	6.8	2.6	7.7	2.6	2.6	6.3	2.6	4.7	4.3	2.6	2.6		2.9
	機械・設備の新・増設	11.1	10.8	31.9	2.9	23.8	31.8	23.1	28.2	23.1	17.9	22.9	18.4	23.3	27.7	33.3	20.5		28.6
	機械・設備の更改	13.9	13.5	23.4	17.1	21.4	18.2	12.8	10.3	17.9	10.3	31.3	10.5	23.3	21.3	30.8	25.6		25.7
	事務機器	2.8	13.5	2.1	5.7	7.1	0.0	5.1	7.7	7.7	2.6	10.4	13.2	7.0	10.6	5.1	5.1		8.6
	車両	13.9	10.8	6.4	8.6	7.1	9.1	7.7	7.7	7.7	5.1	2.1	5.3	2.3	6.4	5.1	2.6		2.9
	その他	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	4.5	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	5.1	0.0		2.9
	実施しない	72.2	70.3	57.4	71.4	59.5	56.8	64.1	51.3	56.4	69.2	58.3	63.2	60.5	59.6	48.7	69.2		57.1
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	86.1		57.4		69.8		56.1		39.5		29.2		37.2		31.6			
	人手不足	27.8		40.4		32.6		36.6		44.7		56.3		46.5		36.8			
	同業者間の競争の激化	5.6		6.4		7.0		12.2		2.6		2.1		2.3		0.0			
	大型店との競争の激化	0.0		2.1		2.3		0.0		0.0		2.1		2.3		5.3			
	輸入製品との競争の激化	0.0		2.1		2.3		2.4		0.0		0.0		2.3		2.6			
	利幅の縮小	16.7		14.9		20.9		17.1		28.9		12.5		20.9		23.7			
	取扱商品の陳腐化	5.6		4.3		2.3		2.4		2.6		8.3		2.3		5.3			
	販売商品の不足	2.8		4.3		2.3		0.0		7.9		2.1		4.7		5.3			
	販売納入先からの値下げ要請	2.8		0.0		0.0		0.0		2.6		0.0		0.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	38.9		48.9		51.2		36.6		42.1		43.8		37.2		39.5			
	人件費の増加	11.1		25.5		16.3		26.8		21.1		47.9		46.5		39.5			
	人件費以外の経費の増加	11.1		17.0		16.3		14.6		23.7		27.1		11.6		21.1			
	取引先の減少	5.6		6.4		4.7		4.9		13.2		4.2		11.6		7.9			
	商圏人口の減少	5.6		4.3		2.3		4.9		2.6		0.0		4.7		5.3			
	商店街の集客力の低下	11.1		6.4		7.0		7.3		13.2		6.3		7.0		7.9			
	店舗の狭小・老朽化	8.3		2.1		7.0		7.3		0.0		8.3		4.7		10.5			
	代金回収の悪化	5.6		2.1		0.0		0.0		2.6		2.1		0.0		5.3			
	地価の高騰	0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		4.2		4.7		2.6			
	駐車場の確保難	0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	2.8		10.6		18.6		12.2		10.5		12.5		27.9		13.2			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		0.0		0.0			
重点経営施策（％）	その他	2.8		4.3		2.3		12.2		5.3		6.3		2.3		7.9			
	問題なし	0.0		2.1		2.3		0.0		0.0		0.0		2.3		0.0			
	品揃えを改善する	37.8		26.7		22.0		21.4		31.6		27.1		18.2		27.8			
	経費を節減する	64.9		55.6		68.3		59.5		42.1		47.9		59.1		47.2			
	宣伝・広報を強化する	16.2		24.4		34.1		31.0		26.3		27.1		20.5		22.2			
	新しい事業を始める	18.9		24.4		14.6		11.9		13.2		20.8		9.1		16.7			
	店舗・設備を改装する	10.8		8.9		14.6		4.8		18.4		18.8		15.9		22.2			
	仕入先を開拓・選別する	13.5		15.6		14.6		16.7		21.1		16.7		15.9		19.4			
	営業時間を延長する	10.8		4.4		0.0		4.8		5.3		2.1		2.3		2.8			
	売れ筋商品を取扱う	18.9		8.9		17.1		4.8		10.5		4.2		15.9		13.9			
	商店街事業を活性化させる	2.7		6.7		0.0		9.5		10.5		4.2		4.5		2.8			
	機械化を推進する	0.0		8.9		14.6		14.3		5.3		2.1		15.9		16.7			
	人材を確保する	29.7		33.3		24.4		38.1		44.7		50.0		50.0		44.4			
	パート化を図る	5.4		4.4		2.4		4.8		2.6		8.3		4.5		5.6			
	教育訓練を強化する	0.0		4.4		14.6		11.9		10.5		12.5		4.5		8.3			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	2.7		0.0		2.4		4.8		5.3		0.0		6.8		5.6			
	その他	5.4		4.4		2.4		0.0		2.6		6.3		6.8		0.0			
	特になし	2.7		4.4		4.9		4.8		0.0		4.2		2.3		2.8			
有効回答事業所数		68		85		70		77		72		84		77		65			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
業況	良い	22.4	12.3	18.3	14.7	17.6	19.5	24.1	14.1	20.0	24.7	29.9	13.5	33.3	25.0	31.8	28.4		24.2
	普通	31.6	41.1	31.7	38.7	47.1	40.2	41.8	50.6	49.3	48.1	40.2	56.8	37.3	51.1	50.0	39.2		57.6
	悪い	46.1	46.6	50.0	46.7	35.3	40.2	34.2	35.3	30.7	27.3	29.9	29.7	29.3	23.9	18.2	32.4		18.2
	D・I	-23.7	-34.2	-31.7	-32.0	-17.6	-20.7	-10.1	-21.2	-10.7	-2.6	0.0	-16.2	4.0	1.1	13.6	-4.1		6.1
	修正値	-21.8	-38.2	-25.7	-26.4	-18.1	-18.8	-16.4	-19.4	-9.0	-11.4	3.7	-9.0	-0.5	-4.7	2.2	-2.8	3.0	-5.5
	傾向値	-45.4		-37.4		-30.1		-23.6		-19.2		-13.6		-6.9		-1.2			
売上額	増加	27.3	16.2	29.3	25.0	22.4	28.4	30.4	22.4	21.3	28.2	34.1	25.7	34.7	27.3	30.8	31.1		23.1
	変らず	29.9	43.2	30.5	35.5	51.8	39.5	44.3	52.9	45.3	42.3	30.7	44.6	45.3	47.7	46.2	41.9		47.7
	減少	42.9	40.5	40.2	39.5	25.9	32.1	25.3	24.7	33.3	29.5	35.2	29.7	20.0	25.0	23.1	27.0		29.2
	D・I	-15.6	-24.3	-11.0	-14.5	-3.5	-3.7	5.1	-2.4	-12.0	-1.3	-1.1	-4.1	14.7	2.3	7.7	4.1		-6.2
	修正値	-9.3	-20.6	-8.4	-10.2	-0.2	-9.4	-9.8	-6.5	-3.2	1.6	1.0	0.9	12.7	-8.6	-5.8	-0.5	-19.0	-1.7
	傾向値	-30.8		-23.2		-14.7		-8.1		-5.8		-4.1		-0.6		2.0			
収益	増加	28.6	13.5	27.2	23.7	21.2	24.4	26.6	20.0	18.9	23.1	26.1	18.9	28.0	19.3	28.8	24.3		15.2
	変らず	28.6	44.6	29.6	42.1	49.4	40.2	39.2	51.8	45.9	41.0	39.8	52.7	46.7	55.7	50.0	45.9		57.6
	減少	42.9	41.9	43.2	34.2	29.4	35.4	34.2	28.2	35.1	35.9	34.1	28.4	25.3	25.0	21.2	29.7		27.3
	D・I	-14.3	-28.4	-16.0	-10.5	-8.2	-11.0	-7.6	-8.2	-16.2	-12.8	-8.0	-9.5	2.7	-5.7	7.6	-5.4		-12.1
	修正値	-12.3	-28.3	-9.3	-4.5	-5.7	-14.8	-19.0	-10.7	-12.1	-13.1	-2.7	-5.8	1.0	-12.6	-5.7	-8.8	-7.0	-10.8
	傾向値	-34.0		-25.6		-17.7		-12.6		-11.8		-11.0		-8.6		-5.4			
価格動向	料金価格	6.6	-1.4	15.9	9.3	12.9	7.3	27.8	16.5	14.7	19.2	11.4	14.7	17.3	6.9	36.4	18.9		22.7
	〃 修正値	4.2	-1.2	14.8	7.0	12.4	8.2	24.2	12.3	13.7	17.8	11.4	12.7	15.6	8.7	28.8	13.9	13.0	20.7
	〃 傾向値	-5.3		0.4		6.0		12.0		16.8		17.3		17.3		18.9			
	材料価格	41.9	22.2	53.1	39.2	32.1	48.1	54.4	34.5	46.7	44.9	51.2	45.3	52.1	44.2	56.1	55.6		47.0
	〃 修正値	35.5	20.4	47.0	33.4	36.2	45.1	53.2	36.5	41.6	44.4	45.6	40.3	55.6	41.9	54.1	54.9	-2.0	48.2
	〃 傾向値	20.7		29.2		36.0		41.7		46.0		46.3		48.6		51.3			
在庫・資金繰り	資金繰り	-13.0	-20.3	-11.0	-18.4	-10.6	-17.1	-15.2	-10.6	-6.7	-14.1	-2.3	-5.3	1.3	-9.1	3.0	0.0		-1.5
	〃 修正値	-9.4	-23.9	-6.4	-14.2	-12.3	-14.3	-19.3	-11.0	-4.5	-18.2	0.8	-3.4	-1.6	-8.3	-2.8	-2.1	-1.0	-6.2
前年同期比	売上額	-12.9		3.7		3.1		1.5		-1.8		14.7		25.4		15.1			
	収益	-16.1		-7.2		-4.6		-13.8		-12.3		4.0		20.3		9.4			
雇用	残業時間	-12.9	-10.1	-8.4	-11.5	-12.3	-4.8	7.7	-12.3	-17.5	4.7	-13.3	-17.5	1.7	-8.0	5.7	6.9		-1.9
	人手	-41.9	-49.3	-43.9	-32.8	-41.5	-46.3	-49.2	-49.2	-45.6	-56.3	-45.3	-49.1	-52.5	-44.0	-46.2	-60.3		-42.3
借入金	借入難易度	5.0		0.0		3.1		-1.6		1.8		2.7		12.3		13.2			
	借入をした(%)	35.0	7.7	22.5	20.7	16.9	17.9	13.8	8.3	12.7	12.5	18.7	10.7	19.6	12.2	18.0	7.1		12.0
	借入をしない(%)	65.0	92.3	77.5	79.3	83.1	82.1	86.2	91.7	87.3	87.5	81.3	89.3	80.4	87.8	82.0	92.9		88.0
有効回答事業所数		77		83		85		79		75		88		75		66			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4 1～3月期		R4 4～6月期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		対 前期比	R6 1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-19.7	-16.2	-15.7	-13.3	-6.2	-18.3	-10.8	-7.7	-3.5	-12.3	-5.3	-1.8	-11.9	-5.3	-15.1	-8.6		-13.2
	実施した	36.1	31.3	33.8	33.9	33.3	32.5	32.8	33.9	32.7	32.3	33.3	30.9	30.5	27.8	38.5	34.5		33.3
	事業用地・建物	4.9	6.0	3.8	6.8	6.3	2.5	4.7	8.1	7.3	3.1	5.3	5.5	3.4	5.6	5.8	0.0		5.9
	機械・設備の新・増設	9.8	10.4	6.3	13.6	15.9	6.3	12.5	12.9	10.9	9.2	9.3	9.1	5.1	8.3	13.5	1.8		9.8
	機械・設備の更改	9.8	13.4	16.3	11.9	7.9	13.8	6.3	8.1	10.9	7.7	9.3	7.3	6.8	11.1	11.5	12.7		11.8
	事務機器	21.3	9.0	15.0	15.3	14.3	12.5	12.5	16.1	14.5	10.8	17.3	12.7	16.9	6.9	15.4	20.0		9.8
	車両	14.8	11.9	16.3	10.2	12.7	18.8	10.9	9.7	14.5	15.4	17.3	20.0	16.9	13.9	21.2	16.4		21.6
	その他	1.6	1.5	2.5	3.4	1.6	1.3	1.6	1.6	3.6	3.1	2.7	3.6	6.8	2.8	5.8	9.1		2.0
	実施しない	63.9	68.7	66.3	66.1	66.7	67.5	67.2	66.1	67.3	67.7	66.7	69.1	69.5	72.2	61.5	65.5		66.7
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	63.8		45.7		53.1		45.3		36.8		38.4		27.6		27.5			
	人手不足	37.9		43.2		32.8		48.4		43.9		50.7		55.2		54.9			
	同業者間の競争の激化	17.2		19.8		23.4		17.2		21.1		19.2		17.2		17.6			
	大手企業との競争の激化	3.4		1.2		3.1		0.0		5.3		5.5		1.7		5.9			
	合理化の不足	6.9		3.7		9.4		4.7		7.0		4.1		5.2		0.0			
	利幅の縮小	19.0		18.5		17.2		14.1		22.8		17.8		10.3		9.8			
	取扱事務の陳腐化	1.7		0.0		0.0		3.1		1.8		2.7		0.0		0.0			
	材料価格の上昇	22.4		22.2		17.2		28.1		31.6		26.0		36.2		17.6			
	料金の値下げ要請	3.4		3.7		1.6		1.6		3.5		0.0		1.7		2.0			
	人件費の増加	22.4		19.8		28.1		26.6		33.3		38.4		32.8		39.2			
	人件費以外の経費の増加	1.7		11.1		9.4		6.3		12.3		13.7		25.9		23.5			
	技術力の不足	10.3		7.4		7.8		7.8		1.8		11.0		5.2		2.0			
	取引先の減少	15.5		12.3		10.9		10.9		10.5		6.8		8.6		2.0			
	商圏人口の減少	0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		1.4		1.7		2.0			
	地価の高騰	0.0		0.0		1.6		1.6		0.0		0.0		1.7		2.0			
	駐車場の確保難	0.0		1.2		1.6		3.1		5.3		1.4		6.9		7.8			
	店舗・設備の狭小・老朽化	0.0		4.9		3.1		3.1		0.0		2.7		0.0		2.0			
	代金回収の悪化	0.0		1.2		1.6		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0			
	天候の不順	3.4		4.9		3.1		6.3		0.0		2.7		1.7		5.9			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.7		0.0		0.0		1.6		0.0		1.4		1.7		0.0			
	その他	10.3		2.5		6.3		4.7		3.5		5.5		3.4		2.0			
	問題なし	5.2		7.4		6.3		3.1		3.5		2.7		5.2		5.9			
重点経営施策（％）	販路を広げる	34.4		41.0		47.7		39.7		47.4		43.1		44.1		35.3			
	経費を節減する	41.0		48.2		49.2		47.6		35.1		37.5		33.9		45.1			
	宣伝・広告を強化する	8.2		13.3		13.8		17.5		14.0		15.3		13.6		15.7			
	新しい事業を始める	21.3		13.3		15.4		9.5		12.3		16.7		10.2		17.6			
	店舗・設備を改装する	3.3		8.4		3.1		1.6		1.8		2.8		1.7		5.9			
	提携先を見つける	11.5		9.6		4.6		6.3		15.8		20.8		6.8		11.8			
	技術力を強化する	19.7		15.7		13.8		22.2		12.3		13.9		18.6		9.8			
	機械化を促進する	8.2		8.4		4.6		7.9		8.8		5.6		10.2		2.0			
	人材を確保する	39.3		44.6		44.6		54.0		47.4		44.4		55.9		56.9			
	パート化を図る	3.3		0.0		0.0		1.6		3.5		0.0		1.7		2.0			
	教育訓練を強化する	14.8		20.5		16.9		15.9		26.3		15.3		22.0		15.7			
	労働条件を改善する	11.5		13.3		15.4		11.1		14.0		20.8		22.0		7.8			
	不動産の有効活用を図る	3.3		2.4		0.0		3.2		0.0		0.0		1.7		0.0			
	その他	1.6		1.2		0.0		0.0		3.5		1.4		3.4		0.0			
	特になし	6.6		2.4		4.6		4.8		7.0		2.8		5.1		7.8			
有効回答事業所数		77		83		85		79		75		88		75		66			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4 1～3月期		R4 4～6月期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		対 前期比	R6 1～3月期
業 況	良い	18.4	14.9	10.8	10.7	12.7	19.6	11.4	12.7	16.0	11.7	16.9	13.2	22.7	15.7	17.6	22.4		11.0
	普通	32.9	40.5	29.4	34.7	34.2	31.4	36.7	45.6	38.7	40.3	33.7	31.6	40.0	42.7	44.6	34.2		49.3
	悪い	48.7	44.6	59.8	54.7	53.2	49.0	51.9	41.8	45.3	48.1	49.4	55.3	37.3	41.6	37.8	43.4		39.7
	D・I	-30.3	-29.7	-49.0	-44.0	-40.5	-29.4	-40.5	-29.1	-29.3	-36.4	-32.6	-42.1	-14.7	-25.8	-20.3	-21.1		-28.8
	修正値	-38.4	-37.0	-35.6	-38.3	-32.6	-17.9	-43.9	-32.2	-36.7	-40.1	-19.5	-36.2	-11.9	-17.4	-26.9	-26.0	-15.0	-33.9
	傾向値	-42.6		-40.2		-38.3		-38.6		-40.0		-37.8		-32.5		-26.7			
売 上 額	増加	18.2	20.3	9.8	14.7	19.0	23.5	15.2	19.0	18.4	9.0	19.1	21.1	25.3	23.6	27.0	17.3		12.2
	変らず	36.4	31.1	28.4	36.0	30.4	29.4	39.2	30.4	38.2	46.2	18.0	26.3	37.3	30.3	32.4	42.7		47.3
	減少	45.5	48.6	61.8	49.3	50.6	47.1	45.6	50.6	43.4	44.9	62.9	52.6	37.3	46.1	40.5	40.0		40.5
	D・I	-27.3	-28.4	-52.0	-34.7	-31.6	-23.5	-30.4	-31.6	-25.0	-35.9	-43.8	-31.6	-12.0	-22.5	-13.5	-22.7		-28.4
	修正値	-36.4	-33.7	-32.5	-12.9	-26.2	-20.6	-38.6	-39.1	-33.6	-39.6	-23.8	-13.9	-12.2	-19.4	-24.3	-29.0	-12.0	-32.9
	傾向値	-35.0		-34.8		-33.5		-33.7		-35.0		-33.7		-30.3		-25.7			
受 注 残	増加	10.5	13.7	9.9	10.7	7.6	19.8	10.1	13.9	7.9	10.3	15.9	15.8	20.0	20.5	16.2	25.3		16.2
	変らず	48.7	43.8	36.6	40.0	38.0	33.7	55.7	40.5	51.3	57.7	34.1	34.2	42.7	38.6	51.4	37.3		50.0
	減少	40.8	42.5	53.5	49.3	54.4	46.5	34.2	45.6	40.8	32.1	50.0	50.0	37.3	40.9	32.4	37.3		33.8
	D・I	-30.3	-28.8	-43.6	-38.7	-46.8	-26.7	-24.1	-31.6	-32.9	-21.8	-34.1	-34.2	-17.3	-20.5	-16.2	-12.0		-17.6
	修正値	-32.0	-31.8	-29.7	-25.6	-41.4	-24.5	-34.6	-38.2	-35.4	-24.9	-21.1	-21.4	-14.4	-17.6	-28.5	-21.0	-14.0	-22.0
	傾向値	-29.9		-29.5		-31.5		-34.9		-36.5		-35.7		-30.8		-26.1			
施 工 高	増加	18.2	19.2	11.0	10.5	20.3	25.0	19.2	16.5	19.7	10.4	15.7	17.1	24.0	25.8	21.6	24.0		18.9
	変らず	35.1	32.9	26.0	34.2	31.6	31.0	42.3	39.2	39.5	51.9	25.8	28.9	46.7	30.3	40.5	41.3		41.9
	減少	46.8	47.9	63.0	55.3	48.1	44.0	38.5	44.3	40.8	37.7	58.4	53.9	29.3	43.8	37.8	34.7		39.2
	D・I	-28.6	-28.8	-52.0	-44.7	-27.8	-19.0	-19.2	-27.8	-21.1	-27.3	-42.7	-36.8	-5.3	-18.0	-16.2	-10.7		-20.3
	修正値	-39.2	-32.7	-30.9	-26.5	-20.6	-19.0	-30.4	-35.5	-32.4	-29.8	-18.0	-17.9	-4.1	-19.7	-27.2	-20.7	-23.0	-24.0
	傾向値	-34.8		-35.4		-33.4		-31.7		-31.0		-28.9		-24.9		-21.7			
収 益	増加	23.4	16.2	12.7	13.2	15.2	20.6	12.7	11.4	11.8	10.3	16.9	10.5	20.0	21.3	20.3	14.9		13.5
	変らず	27.3	33.8	26.5	25.0	36.7	33.3	32.9	43.0	39.5	37.2	21.3	32.9	34.7	28.1	37.8	39.2		45.9
	減少	49.4	50.0	60.8	61.8	48.1	46.1	54.4	45.6	48.7	52.6	61.8	56.6	45.3	50.6	41.9	45.9		40.5
	D・I	-26.0	-33.8	-48.0	-48.7	-32.9	-25.5	-41.8	-34.2	-36.8	-42.3	-44.9	-46.1	-25.3	-29.2	-21.6	-31.1		-27.0
	修正値	-34.5	-37.9	-29.9	-33.2	-25.9	-23.3	-48.7	-41.5	-42.8	-43.6	-27.8	-32.3	-24.8	-27.8	-31.1	-38.0	-6.0	-30.2
	傾向値	-36.0		-34.5		-32.7		-34.5		-38.5		-39.5		-38.2		-34.7			
価 格 動 向	請負価格	-23.4	-24.3	-34.7	-27.6	-22.8	-23.8	-12.8	-21.5	-10.5	-22.1	-20.2	-21.1	-13.3	-12.4	-6.8	-5.3		-5.4
	〃 修正値	-28.2	-28.0	-29.0	-21.1	-18.2	-20.3	-17.2	-23.8	-15.3	-25.5	-13.8	-15.7	-11.3	-10.0	-11.1	-9.1	0.0	-9.9
	〃 傾向値	-26.4		-27.3		-28.0		-25.4		-21.8		-18.4		-15.4		-13.5			
	材料価格	61.6	58.3	80.6	68.5	82.1	81.6	83.1	80.8	71.1	67.5	61.4	68.4	69.9	58.6	66.2	60.3		64.9
	〃 修正値	57.6	53.8	75.3	62.8	75.7	76.9	77.8	76.3	70.0	65.0	60.0	65.2	66.5	56.5	61.9	57.9	-5.0	64.3
	〃 傾向値	42.8		53.7		65.1		73.8		78.0		76.8		72.9		69.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-2.8	-7.0	-18.3	-5.6	-1.3	-18.3	1.3	-9.3	-8.0	1.3	-1.2	-5.3	-2.7	-4.8	-8.2	-2.7		-6.9
	〃 修正値	1.1	-7.1	-15.9	-3.6	-4.3	-15.0	-0.6	-10.8	-4.0	-1.1	1.9	-2.9	-5.2	-1.2	-8.5	-3.6	-3.0	-8.6
	資金繰り	-30.3	-28.4	-27.0	-30.7	-25.0	-27.0	-32.9	-32.5	-26.3	-25.3	-16.9	-26.3	-12.0	-15.7	-24.3	-20.0		-27.0
	〃 修正値	-30.0	-29.1	-23.9	-27.1	-26.9	-24.8	-31.2	-34.0	-25.7	-28.1	-15.9	-23.4	-16.2	-15.0	-21.9	-20.0	-6.0	-28.3
前 年 同 期 比	売上額	-22.4		-34.3		-35.0		-31.9		-27.9		-31.7		-10.8		-8.3			
	収益	-29.7		-39.0		-46.3		-35.7		-36.8		-35.7		-26.2		-22.2			
雇 用	残業時間	-14.7	-21.6	-28.7	-27.0	-21.3	-15.8	-9.7	-13.8	-11.8	-12.5	-20.2	-23.5	-10.9	-4.8	-6.9	-7.8		-18.1
	人手	-35.5	-37.8	-29.4	-28.0	-32.5	-40.2	-56.9	-43.8	-45.6	-48.6	-41.7	-51.5	-64.6	-46.4	-59.7	-64.6		-54.2
借 入 金	借入難易度	-2.8		2.0		-3.8		-2.9		-6.1		-1.2		4.8		-2.9			
	借入をした(%)	33.3	22.9	31.3	12.7	35.1	25.3	38.9	17.8	31.7	17.2	28.9	18.0	30.6	17.5	29.6	24.2		22.9
	借入をしない(%)	66.7	77.1	68.7	87.3	64.9	74.7	61.1	82.2	68.3	82.8	71.1	82.0	69.4	82.5	70.4	75.8		77.1
有効回答事業所数		77		102		80		80		76		89		76		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4		R4		R4		R4		R5		R5		R5		R5		対	R6
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-10.8	-14.1	-17.3	-8.0	-5.4	-12.4	-10.1	-8.2	-9.0	-8.7	-17.1	-10.4	-11.3	-17.1	-11.8	-11.3		-13.2
	実施した	25.0	28.4	39.0	25.4	35.9	29.8	33.8	20.0	30.9	26.1	33.3	24.6	33.8	30.9	35.3	27.0		33.8
	事業用地・建物	5.6	3.0	4.0	4.2	1.3	3.2	4.2	0.0	2.9	1.4	3.6	4.6	6.2	6.2	2.9	3.2		6.2
	機械・設備の新・増設	5.6	4.5	9.0	4.2	11.5	6.4	9.9	4.0	8.8	4.3	11.9	4.6	4.6	6.2	7.4	6.3		7.7
	機械・設備の更改	2.8	6.0	7.0	2.8	10.3	6.4	8.5	6.7	10.3	10.1	3.6	6.2	7.7	6.2	5.9	1.6		9.2
	事務機器	12.5	14.9	13.0	12.7	15.4	11.7	12.7	10.7	10.3	8.7	13.1	10.8	10.8	9.9	14.7	9.5		10.8
	車両	11.1	11.9	23.0	9.9	19.2	18.1	12.7	9.3	10.3	11.6	13.1	9.2	18.5	13.6	22.1	12.7		15.4
	その他	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	0.0	2.8	1.3	1.5	2.9	2.4	0.0	1.5	2.5	2.9	1.6		1.5
	実施しない	75.0	71.6	61.0	74.6	64.1	70.2	66.2	80.0	69.1	73.9	66.7	75.4	66.2	69.1	64.7	73.0		66.2
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	45.3		53.6		53.2		46.4		41.2		42.2		41.5		34.3			
	人手不足	38.7		34.0		35.4		44.9		44.1		45.8		63.1		52.2			
	大手企業との競争の激化	1.3		0.0		3.8		0.0		1.5		1.2		0.0		0.0			
	同業者間の競争の激化	18.7		13.4		12.7		10.1		10.3		13.3		13.8		11.9			
	親企業による選別の強化	5.3		4.1		1.3		2.9		2.9		1.2		1.5		1.5			
	合理化の不足	0.0		1.0		0.0		4.3		4.4		3.6		4.6		1.5			
	利幅の縮小	33.3		35.1		30.4		27.5		23.5		25.3		29.2		11.9			
	材料価格の上昇	54.7		56.7		63.3		53.6		60.3		44.6		41.5		47.8			
	下請の確保難	16.0		16.5		11.4		23.2		22.1		26.5		23.1		32.8			
	駐車場・資材置場の確保難	2.7		2.1		3.8		2.9		2.9		4.8		3.1		6.0			
	人件費の増加	6.7		4.1		8.9		20.3		19.1		15.7		16.9		22.4			
	人件費以外の経費の増加	9.3		8.2		10.1		8.7		8.8		14.5		6.2		11.9			
	技術力の不足	4.0		8.2		12.7		5.8		2.9		4.8		10.8		6.0			
	代金回収の悪化	1.3		0.0		2.5		0.0		1.5		2.4		0.0		0.0			
	天候の不順	1.3		4.1		3.8		1.4		0.0		7.2		3.1		0.0			
	地場産業の衰退	1.3		2.1		1.3		2.9		1.5		1.2		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.7		2.1		1.3		0.0		0.0		1.2		1.5		0.0			
	その他	1.3		2.1		3.8		0.0		4.4		2.4		3.1		4.5			
	問題なし	2.7		1.0		1.3		2.9		1.5		2.4		1.5		1.5			
重点経営施策（％）	販路を広げる	35.5		27.3		27.8		38.9		31.3		29.3		32.3		24.3			
	経費を節減する	38.2		41.4		40.5		50.0		40.3		36.6		30.8		37.1			
	情報力を強化する	25.0		20.2		25.3		13.9		17.9		20.7		20.0		17.1			
	新しい工法を導入する	3.9		4.0		7.6		5.6		3.0		2.4		6.2		4.3			
	新しい事業を始める	6.6		7.1		3.8		6.9		4.5		11.0		10.8		7.1			
	技術力を高める	25.0		31.3		29.1		18.1		25.4		28.0		35.4		27.1			
	人材を確保する	50.0		46.5		40.5		47.2		50.7		45.1		53.8		58.6			
	パート化を図る	0.0		2.0		0.0		1.4		1.5		1.2		1.5		1.4			
	教育訓練を強化する	14.5		12.1		15.2		13.9		11.9		11.0		6.2		12.9			
	労働条件を改善する	7.9		9.1		5.1		9.7		11.9		20.7		20.0		20.0			
	不動産の有効活用を図る	1.3		2.0		2.5		5.6		6.0		4.9		1.5		1.4			
	その他	2.6		0.0		0.0		0.0		1.5		1.2		1.5		1.4			
	特になし	7.9		10.1		7.6		8.3		7.5		6.1		7.7		8.6			
有効回答事業所数		77		102		80		80		76		89		76		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4 1～3月期		R4 4～6月期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		対 前期比	R6 1～3月期
項目																			
業況	良い			30.0		23.7	24.3	18.0	20.3	21.9	24.6	23.1	23.4	12.1	22.1	16.4	10.3		9.1
	普通			48.6		49.2	54.3	62.3	54.2	54.7	57.4	53.8	62.5	65.5	53.2	65.5	63.8		72.7
	悪い			21.4		27.1	21.4	19.7	25.4	23.4	18.0	23.1	14.1	22.4	24.7	18.2	25.9		18.2
	D・I			8.6		-3.4	2.9	-1.6	-5.1	-1.6	6.6	0.0	9.4	-10.3	-2.6	-1.8	-15.5		-9.1
	修正値			8.6		-3.4	2.9	-1.6	-5.1	-1.6	6.6	0.0	9.4	-10.3	-2.6	-1.8	-15.5	9.0	-9.1
	傾向値																		
売上額	増加			30.4		30.5	36.8	24.6	25.4	21.5	31.1	23.1	18.8	19.0	28.6	27.3	13.8		25.9
	変らず			40.6		42.4	36.8	54.1	49.2	56.9	55.7	46.2	60.9	62.1	46.8	54.5	65.5		57.4
	減少			29.0		27.1	26.5	21.3	25.4	21.5	13.1	30.8	20.3	19.0	24.7	18.2	20.7		16.7
	D・I			1.4		3.4	10.3	3.3	0.0	0.0	18.0	-7.7	-1.6	0.0	3.9	9.1	-6.9		9.3
	修正値			1.4		3.4	10.3	3.3	0.0	0.0	18.0	-7.7	-1.6	0.0	3.9	9.1	-6.9	9.0	9.3
	傾向値																		
収益	増加			31.4		25.4	32.4	18.0	23.7	23.4	18.0	16.9	18.5	17.2	22.1	14.8	8.6		18.5
	変らず			40.0		40.7	39.7	59.0	44.1	54.7	65.6	46.8	63.1	65.5	49.4	64.8	70.7		61.1
	減少			28.6		33.9	27.9	23.0	32.2	21.9	16.4	36.4	18.5	17.2	28.6	20.4	20.7		20.4
	D・I			2.9		-8.5	4.4	-4.9	-8.5	1.6	1.6	-19.5	0.0	0.0	-6.5	-5.6	-12.1		-1.9
	修正値			2.9		-8.5	4.4	-4.9	-8.5	1.6	1.6	-19.5	0.0	0.0	-6.5	-5.6	-12.1	-6.0	-1.9
	傾向値																		
価格動向	システム提供価格			7.4		0.0	0.0	15.5	7.0	15.9	13.8	10.4	19.0	6.9	9.2	9.1	0.0		9.1
	〃 修正値			7.4		0.0	0.0	15.5	7.0	15.9	13.8	10.4	19.0	6.9	9.2	9.1	0.0	2.0	9.1
	〃 傾向値																		
	人件費			32.9		27.1	23.5	23.0	30.5	18.5	27.9	35.9	33.8	32.8	29.9	25.5	32.8		25.5
	〃 修正値			32.9		27.1	23.5	23.0	30.5	18.5	27.9	35.9	33.8	32.8	29.9	25.5	32.8	-7.0	25.5
	〃 傾向値																		
在庫・資金繰り	資金繰り			-5.7		-3.4	-8.8	-4.9	-6.8	-1.5	-8.2	-6.4	0.0	-13.8	-6.5	-7.3	-17.2		-10.9
	〃 修正値			-5.7		-3.4	-8.8	-4.9	-6.8	-1.5	-8.2	-6.4	0.0	-13.8	-6.5	-7.3	-17.2	7.0	-10.9
前年同期比	売上額			16.7		3.1		5.9		12.5		11.5		-2.4		8.6			
	収益			12.5		-15.6		-20.6		12.5		-5.0		-14.3		-11.8			
雇用	残業時間			-2.1		-6.5	0.0	0.0	3.2	7.5	5.7	1.6	10.0	0.0	0.0	-5.7	-7.1		2.9
	人手			-40.4		-34.4	-44.7	-57.1	-37.5	-67.5	-62.9	-52.5	-57.5	-66.7	-54.1	-51.4	-69.0		-48.6
借入金	借入難易度			-13.0		0.0		-11.8		-2.6		3.3		-4.8		-2.9			
	借入をした(%)			33.3		28.1	16.7	14.3	16.1	22.5	12.1	32.8	15.0	27.5	18.6	17.1	12.5		14.7
	借入をしない(%)			66.7		71.9	83.3	85.7	83.9	77.5	87.9	67.2	85.0	72.5	81.4	82.9	87.5		85.3
有効回答事業所数				71		59		61		65		78		58		55			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R4 1～3月期		R4 4～6月期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		対 前期 比	R6 1～3月期
項目																			
設備 投資 動向（％）	現在の設備			-14.9		-9.4	-17.0	-17.1	-9.4	-22.5	-20.0	-1.7	-22.5	-9.8	-5.0	-17.6	-7.3		-17.6
	実施した			42.2		43.8	43.5	32.4	46.7	50.0	31.4	33.3	52.5	29.3	38.3	26.5	25.6		12.1
	事業用地・建物			8.9		0.0	13.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	5.0	0.0	3.3	0.0	2.6		0.0
	機械・設備の新・増設			8.9		9.4	17.4	11.8	10.0	12.5	14.3	6.7	12.5	4.9	6.7	11.8	2.6		6.1
	機械・設備の更改			13.3		18.8	13.0	11.8	23.3	7.5	17.1	3.3	17.5	9.8	5.0	11.8	12.8		6.1
	事務機器			26.7		18.8	26.1	17.6	20.0	35.0	8.6	28.3	40.0	22.0	28.3	8.8	15.4		6.1
	車両			4.4		0.0	2.2	2.9	0.0	10.0	0.0	1.7	0.0	2.4	1.7	2.9	0.0		0.0
	その他			4.4		6.3	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	3.3	2.9	0.0		0.0
	実施しない			57.8		56.3	56.5	67.6	53.3	50.0	68.6	66.7	47.5	70.7	61.7	73.5	74.4		87.9
経営上 の問題点（％）	売上の停滞・減少			33.3		35.5		32.3		28.2		47.5		42.9		31.4			
	人手不足			40.0		48.4		58.1		59.0		55.9		57.1		51.4			
	同業者間の競争の激化			20.0		16.1		16.1		7.7		10.2		4.8		5.7			
	大手企業との競争の激化			2.2		0.0		3.2		7.7		3.4		2.4		5.7			
	利幅の縮小			17.8		19.4		6.5		12.8		13.6		23.8		17.1			
	取扱サービスの陳腐化			15.6		3.2		3.2		12.8		6.8		4.8		0.0			
	合理化の不足			0.0		3.2		0.0		5.1		1.7		4.8		11.4			
	料金の値下げ要請			0.0		0.0		0.0		2.6		3.4		0.0		0.0			
	人件費の増加			24.4		41.9		19.4		43.6		35.6		28.6		42.9			
	通信価格の上昇			0.0		0.0		0.0		2.6		1.7		7.1		8.6			
	技術力の不足			26.7		38.7		12.9		15.4		13.6		14.3		11.4			
	取引先の減少			8.9		9.7		6.5		12.8		10.2		16.7		11.4			
	人件費以外の経費の増加			20.0		9.7		16.1		20.5		18.6		26.2		17.1			
	地価の高騰			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.9			
	駐車場の確保難			2.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	代金回収の悪化			2.2		0.0		3.2		0.0		1.7		0.0		0.0			
	設備の狭小・老朽化			4.4		0.0		9.7		2.6		3.4		4.8		0.0			
	大手企業の縮小・撤退			6.7		0.0		3.2		2.6		6.8		2.4		0.0			
	為替レートの変動			8.9		6.5		6.5		5.1		5.1		9.5		11.4			
重点 経営 施策（％）																			
	その他			0.0		0.0		6.5		0.0		6.8		9.5		2.9			
	問題なし			4.4		3.2		6.5		0.0		0.0		2.4		0.0			
	販路を広げる			50.0		58.6		50.0		38.5		45.0		41.5		25.7			
	経費を節減する			15.2		20.7		9.4		10.3		15.0		17.1		17.1			
	宣伝・広告を強化する			15.2		20.7		6.3		5.1		8.3		7.3		2.9			
	新しい事業を始める			23.9		27.6		15.6		25.6		30.0		22.0		11.4			
	設備を改装する			4.3		3.4		3.1		7.7		1.7		0.0		0.0			
	提携先を見つける			15.2		10.3		12.5		17.9		16.7		12.2		20.0			
	技術力を強化する			50.0		44.8		25.0		51.3		51.7		46.3		40.0			
	人材を確保する			54.3		51.7		62.5		66.7		60.0		56.1		71.4			
	パート化を図る			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	教育訓練を強化する			21.7		24.1		28.1		15.4		20.0		14.6		20.0			
	労働条件を改善する			6.5		3.4		12.5		7.7		8.3		12.2		2.9			
	不動産の有効活用を図る			0.0		0.0		0.0		0.0		1.7		0.0		0.0			
	その他			0.0		3.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	特になし			2.2		0.0		6.3		2.6		1.7		4.9		5.7			
有効回答事業所数				71		59		61		65		78		58		55			

調査の概要

1. 調査時期 令和5年10～12月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	77
卸売業	102	73
小売業	102	65
サービス業	102	66
建設業	102	74
情報通信業	102	55
合計	612	410